

太宰府まちづくり市民意識調査

報 告 書

平成 24 年 3 月

太 宰 府 市

目 次

第1章 調査の概要

1. 調査の目的	1
2. 調査の性格	1
(1) 調査地域	1
(2) 調査対象	1
(3) 調査対象者数	1
(4) 抽出方法	1
(5) 調査方法	1
(6) 調査期間	1
(7) 回収状況	1
3. 調査項目	2
4. 調査結果利用上の注意	3

第2章 調査結果の分析

第1節 回答者の属性	5
1. 性別（問1）	5
2. 年齢（問2）	6
3. 世帯構成（問3）	7
4. 職業（問4）	8
5. 通勤・通学先（問4付問1）	9
6. 小学校区（問5）	10
7. 居住年数（問6）	11
8. 居住形態（問7）	12
第2節 住みやすさについて	13
1. 太宰府市の住みやすさ（問8）	13
2. 継続居住意向（問9）	14
3. 住み続けたい理由（問9付問1）	15
4. 住み続けたくない理由（問9付問2）	17
第3節 日頃の暮らし、行動について	19
1. 総合計画前期基本計画の施策に対する考え方（問10）	19
2. 子育て支援の推進	24
(1) 子育てのしやすさ（問11）	24
(2) 子育てに対する不安や負担感（問12）	25

3. 高齢者福祉の推進	26
(1) 生きがいの有無 (問 13)	26
(2) 高齢者福祉サービスの充実度 (問 14)	27
4. 障がい福祉の推進	28
(1) 障がい者福祉サービスの充実度 (問 15)	28
(2) 公共施設の配慮に対する意識 (問 16)	29
(3) 民間施設の配慮に対する意識 (問 17)	30
5. 地域福祉の推進 (問 18)	31
6. 生涯健康づくりの推進	32
(1) 健康状態 (問 19)	32
(2) 健康増進の取り組み状況 (問 20)	33
(3) 健康診査の受診状況 (問 21)	34
7. 防災・消防体制の整備充実 (問 22)	35
8. 防犯・暴力追放運動の推進	37
(1) 防犯面の安心度 (問 23)	37
(2) 防犯上危険と思う場所 (問 23 付問 1)	38
9. 安全な消費生活の推進	39
(1) 不当請求や不適切な取引行為の被害状況 (問 24)	39
(2) 不当請求や不適切な取引行為の具体的な被害 (問 24 付問 1)	40
10. 人権を尊重するまちづくりの推進	41
(1) 人権侵害の経験と内容 (問 25、付問 1)	41
(2) 人権問題への認識 (問 26)	42
(3) 同和地区に対する差別の認識 (問 27)	43
(4) 結婚を決めるときの家柄、血筋に対する考え方 (問 28)	44
11. 男女共同参画の推進	45
(1) 固定的性別役割分担に対する考え方 (問 29)	45
(2) 男女間の地位の平等感 (問 30)	46
12. 生涯学習の推進	47
(1) 生涯学習の取り組み状況 (問 31)	47
(2) 運動・スポーツの実施頻度 (問 32)	48
13. 文化芸術の振興 (問 33)	49
14. 生活環境の向上	50
(1) 自宅周辺の衛生環境 (問 34)	50
(2) 環境マナーの順守 (問 35)	51
(3) 美化活動への参加状況 (問 36)	52
15. 自然共生社会の構築 (問 37)	53
16. 循環型社会の構築 (問 38)	54
17. 低炭素社会の構築	55
(1) 省エネルギー・省資源の活動について (問 39)	55
(2) 二酸化炭素削減や大気汚染対策の実践 (問 40)	56

18. 環境教育・学習の推進（問 41）	57
19. 未来に伝える景観づくり	58
(1) 美しい自然に対する意識（問 42）	58
(2) 美しい歴史的景観に対する意識（問 43）	59
(3) 良好なまちなみに対する意識（問 44）	60
20. 計画的なまちづくりの推進	61
(1) 住環境の快適さについての認識（問 45）	61
(2) 商業施設等の利便性に対する意識（問 46）	62
21. 地域交通体系の整備	63
(1) バスの利便性に対する意識（問 47）	63
(2) 鉄道の利便性に対する意識（問 48）	64
(3) 道路の円滑性に対する意識（問 49）	65
(4) 交通手段（問 50）	66
22. 産業の振興（問 51）	67
23. 文化遺産の保存と活用（問 52）	68
24. 観光基盤の整備充実	69
(1) 観光客への意識（問 53）	69
(2) 観光客との交流について（問 54）	70
25. 国際交流・友好都市交流の推進	71
(1) 外国人との交流（問 55）	71
(2) 姉妹都市・友好都市の認識（問 56）	72
(3) 姉妹都市・友好都市との交流頻度（問 57）	73
(4) 外国人や留学生との交流方法（問 58）	74
26. 市民参画の推進	75
(1) 自治会活動への参加（問 59）	75
(2) ボランティア活動への参加（問 60）	76
第 4 節 行政サービスについて	77
1. 情報の共有化と活用	77
(1) 市民と行政の情報の共有（問 61）	77
(2) 広報広聴機能の充実（問 62）	78
(3) 情報公開・提供に対する意識（問 63）	81
(4) パソコンの有無（問 64）	82
(5) パソコンによるインターネット利用の有無（問 64 付問 1）	83
(6) 携帯電話の有無（問 65）	84
(7) 携帯電話によるインターネット利用の有無（問 65 付問 1）	85
2. 市民のための行政運営	86
(1) 行財政改革（問 66）	86
(2) 市職員の応対や行動に対する意識（問 67）	87
(3) 市役所窓口の利用の有無（問 68）	88
(4) 事務処理の迅速性に対する意識（問 68 付問 1）	89

(5) 職員の対応・姿勢に対する満足度（問 68 付問 2）	90
3. 広域連携の推進（問 69）	91
第 5 節 まちづくりに対する自由意見	92

◎附属資料

使用した調査票	99
---------	----

第1章 調査の概要

第 1 章 調査の概要

1. 調査の目的

市民の声を市政に生かし市民参画の行政を進めていくため、市民の生活実態や問題意識、現状の施策に対する評価、今後のまちづくりに対する期待などを把握し、今度のまちづくりの基礎資料とする目的で実施した。

2. 調査の性格

(1) 調査地域

太宰府市全域

(2) 調査対象

太宰府市内に居住する 20 歳以上の市民

(3) 調査対象者数

1,000 サンプル

(4) 抽出方法

住民基本台帳による無作為二段階抽出

(5) 調査方法

郵送法（お礼兼督促状 1 回郵送）

(6) 調査期間

配 布：平成 24 年 3 月 2 日（金）発送

投函締切：平成 24 年 3 月 22 日（木）

(7) 回収状況

回 収 数：501 件（回収率 50.1%）

うち有効回収数：501 件

3. 調査項目

1. 回答者の属性	問1	性別		
	問2	年齢		
	問3	世帯構成		
	問4	職業		
	問4付問1	通勤・通学先		
	問5	小学校区		
	問6	居住年数		
2. 住みやすさについて	問7	居住形態		
	問8	太宰府市の住みやすさ		
	問9	継続居住意向		
3. 日頃の暮らし、行動について	問9付問1	住み続けたい理由		
	問9付問2	住み続けたくない理由		
	総合計画前期基本計画の施策に対する考え方	問10	総合計画前期基本計画の施策に対する考え方（全34項目）	
	子育て支援の推進	問11	子育てのしやすさ	
		問12	子育てに対する不安や負担感	
	高齢者福祉の推進	問13	生きがいの有無	
		問14	高齢者福祉サービスの充実度	
	障がい福祉の推進	問15	障がい者福祉サービスの充実度	
		問16	公共施設の配慮に対する意識	
		問17	民間施設の配慮に対する意識	
	地域福祉の推進	問18	地域での福祉活動	
	生涯健康づくりの推進	問19	健康状態	
		問20	健康増進の取り組み状況	
		問21	健康診査の受診状況	
	防災・消防体制の整備充実	問22	災害に対する取り組み状況	
	防犯・暴力追放運動の推進	問23	防犯面の安心度	
		問23付問1	防犯上危険と思う場所	
	安全な消費生活の推進	問24、付問1	不当請求や不適正な取引行為の被害状況	
	人権を尊重するまちづくりの推進	問25、付問1	人権侵害の経験と内容	
		問26	人権問題への認識	
		問27	同和地区に対する差別の認識	
		問28	結婚を決める時の家柄、血筋に対する考え方	
	男女共同参画の推進	問29	固定的性別役割分担に対する考え方	
		問30	男女間の地位の平等感	
	生涯学習の推進	問31	生涯学習の取り組み状況	
		問32	運動・スポーツの実施頻度	
	文化芸術の振興	問33	文化芸術活動の状況	
	生活環境の向上	問34	自宅周辺の衛生環境	
		問35	環境マナーの順守	
		問36	美化活動への参加状況	
	自然共生社会の構築	問37	緑の保全と創造	
	循環型社会の構築	問38	堆肥化への取り組み状況	
	低炭素社会の構築	問39	省エネルギー・省資源の活動について	
		問40	二酸化炭素削減や大気汚染対策の実践	
	環境教育・学習の推進	問41	環境に関する学習会への参加	
	未来に伝える景観づくり	問42	美しい自然に対する意識	
		問43	美しい歴史的景観に対する意識	
		問44	良好なまちなみに対する意識	
	計画的なまちづくりの推進	問45	住環境の快適さについての認識	
		問46	商業施設等の利便性に対する意識	
	地域交通体系の整備	問47	バスの利便性に対する意識	
		問48	鉄道の利便性に対する意識	
		問49	道路の円滑性に対する意識	
		問50	交通手段	
	産業の振興	問51	産業の振興	
	文化遺産の保存と活用	問52	歴史文化遺産についての意識	
	観光基盤の整備充実	問53	観光客への意識	
		問54	観光客との交流について	
	国際交流・友好都市交流の推進	問55	外国人との交流	
		問56	姉妹都市・友好都市の認識	
		問57	姉妹都市・友好都市との交流頻度	
		問58	外国人や留学生との交流方法	
	市民参画の推進	問59	自治会活動への参加	
		問60	ボランティア活動への参加	
	4. 行政サービスについて	情報の共有化と活用	問61	市民と行政の情報共有
			問62	広報広聴機能の充実
			問63	情報公開・提供に対する意識
			問64	パソコンの有無
			問64付問1	パソコンによるインターネット利用の有無
			問65	携帯電話の有無
			問65付問1	携帯電話によるインターネット利用の有無
		市民のための行政運営	問66	行財政改革
			問67	市職員の応対や行動に対する意識
			問68	市役所窓口の利用の有無
		問68付問1	事務処理の迅速性に対する意識	
		問68付問2	職員への対応・姿勢に対する満足度	
	広域連携の推進	問69	広域連携の推進	

4. 調査結果利用上の注意

- (1) 集計は原則として小数点以下第2位を四捨五入している。したがって、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- (2) 2つ以上の回答を要する（複数回答）質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 数表、図表、文中に示す「N」は、比率算出上の基数（標本数）である。
- (4) 付問は前問で特定の回答をした一部の回答者のみに対して続けて行った質問である。この場合の回答者は設問回答の該当者のみである。
- (5) 平成22年度に実施した前回調査、平成21年度に実施した前々回調査と比較検討が可能な設問については前回・前々回結果も掲載しているが、実際に比較検討する際には、前回・前々回調査と今回調査では調査対象が若干異なっていることを留意する必要がある。また、一部の質問文や選択肢では、前回調査とは文言が変更になっているものもある。

第2章 調査結果の分析

第2章 調査結果の分析

第1節 回答者の属性

1. 性別（問1）

- 回答者の性別は「男性」に比べ、「女性」の割合がやや高い。
- 「男性」は年齢が上がるにつれ多くなり、反対に「女性」は年齢が上がるほど少なくなる。

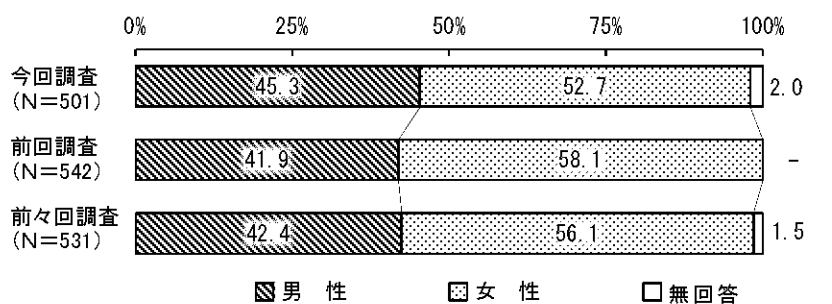
「男性」45.3%、「女性」52.7%と女性の方が7.4ポイント多い。

経年比較でみると、男性と女性の差がやや縮まっている。

年代別にみると、男性は20歳代で47.7%、70歳以上で53.7%と年代が上がるにつれ割合が高くなっている。反対に、女性は20歳代が52.3%、70歳以上が41.5%と年代が上がるにつれて低くなっている。

小学校区別にみると、太宰府東小学校区の「男性」、太宰府南小学校区の「女性」が3割台にとどまっている。

問1. あなたの性別についてお選びください。



		標本数	男性 (%)	女性 (%)	無回答 (%)
全体		501	45.3	52.7	2.0
年代別	20歳代	44	47.7	52.3	-
	30歳代	93	38.7	61.3	-
	40歳代	75	41.3	56.0	2.7
	50歳代	75	41.3	57.3	1.3
	60歳代	128	50.0	49.2	0.8
	70歳以上	82	53.7	41.5	4.9
	無回答	4	-	50.0	50.0
	小学校区別	太宰府小学校区	47	55.3	44.7
太宰府東小学校区		38	36.8	55.3	7.9
太宰府南小学校区		41	63.4	34.1	2.4
水城小学校区		72	40.3	56.9	2.8
水城西小学校区		64	40.6	59.4	-
太宰府西小学校区		67	50.7	49.3	-
国分小学校区		84	51.2	47.6	1.2
わからない		71	31.0	69.0	-
無回答		17	41.2	41.2	17.6

2. 年齢（問2）

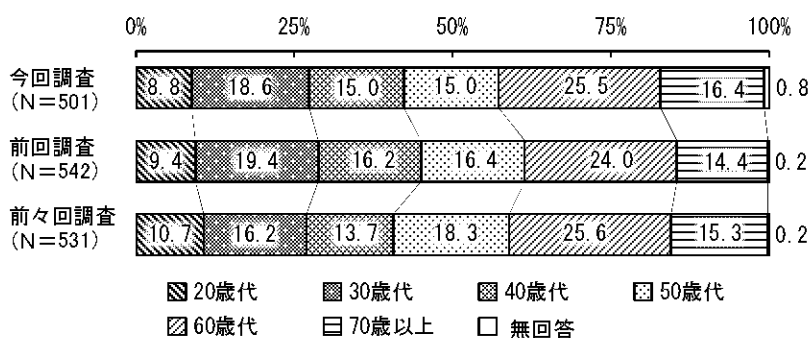
●前回調査に比べ「60歳代」「70歳以上」の割合が増え、その他の年代の割合が減少している。

回答者の年齢は「60歳代」が25.5%、次いで「30歳代」18.6%、「70歳以上」16.4%、「40歳代」・「50歳代」15.0%、「20歳代」が8.8%となっている。

経年比較でみると、前回調査に比べ「60歳代」と「70歳以上」の割合が増え、その他の年代は減少している。

小学校区別にみると、国分小学校区で「70歳以上」が20.0%で、「60歳代」（19.0%）を合わせると約4割と高齢者の占める割合が高い。

問2. あなたの年齢を次の中からお選びください。（平成24年3月末時点で）



		標本数	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
全体		501	44	93	75	75	128	82	4
		100.0	8.8	18.6	15.0	15.0	25.5	16.4	0.8
小学校区別	太宰府小学校区	47	5.0	7.0	6.0	13.0	11.0	5.0	1.0
	太宰府東小学校区	38	2.0	2.0	7.0	3.0	17.0	7.0	
	太宰府南小学校区	41	1.0	5.0	6.0	2.0	9.0	18.0	
	水城小学校区	72	6.0	14.0	16.0	8.0	11.0	16.0	
	水城西小学校区	64	7.0	17.0	13.0	8.0	17.0	2.0	
	太宰府西小学校区	67	5.0	6.0	12.0	11.0	31.0	2.0	
	国分小学校区	84	8.0	22.0	6.0	9.0	19.0	20.0	
	わからない	71	10.0	19.0	9.0	16.0	10.0	6.0	
	無回答	17		1.0		5.0	3.0	6.0	

3. 世帯構成（問3）

- 「2世代世帯」が約5割、「夫婦のみ」の世帯が約3割。
- 60歳以上では「夫婦のみ」の世帯が「2世代世帯」を上回る。

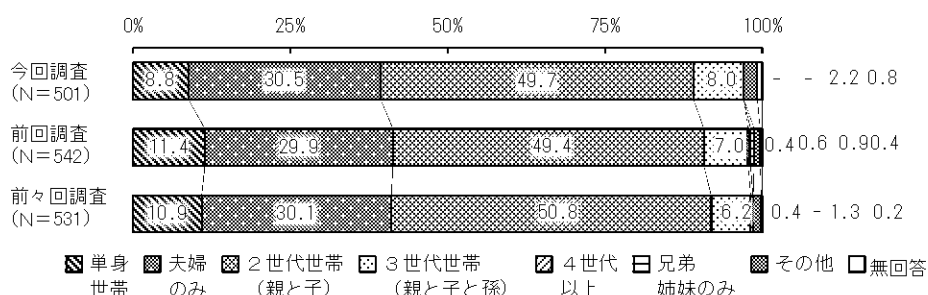
「2世代世帯（親と子）」が49.7%と最も多く、次いで「夫婦のみ」が30.5%、「単身世帯」が8.8%、「3世代世帯（親と子と孫）」が8.0%となっている。

経年比較でみると、前回調査と比べ、「夫婦のみ」の世帯が微増し、「単身世帯」が2.6ポイント減少している。

年代別にみると20歳代・30歳代では「2世代世帯（親と子）」が7割以上を占めているが、60歳以上になると「夫婦のみ」の世帯が4割台となり、「2世代世帯（親と子）」を上回る。また70歳以上で「単身世帯」が18.3%と20歳代（2.3%）の約8倍となっている。

小学校区別にみると、水城西小学校区では「2世代世帯（親と子）」が67.2%と他の小学校区に比べて高く、「単身世帯」は、他の小学校区に比べ最も低くなっている。

問3. あなたの世帯構成について次の中からお選びください。



		標本数	単身世帯	夫婦のみ	(2世代世帯 (親と子))	(3世代世帯 (親と子と孫))	4世代以上	兄弟姉妹のみ	その他	無回答
全体		501	44	153	249	40	-	-	11	4
		100.0	8.8	30.5	49.7	8.0	-	-	2.2	0.8
性別	男性	227	8.8	34.4	46.3	8.8	-	-	1.3	0.4
	女性	264	9.1	28.0	53.0	6.8	-	-	3.0	-
	無回答	10	-	10.0	40.0	20.0	-	-	-	30.0
年代別	20歳代	44	2.3	13.6	72.7	9.1	-	-	2.3	-
	30歳代	93	6.5	14.0	75.3	2.2	-	-	2.2	-
	40歳代	75	2.7	21.3	61.3	10.7	-	-	2.7	1.3
	50歳代	75	14.7	30.7	49.3	2.7	-	-	2.7	-
	60歳代	128	7.0	46.1	37.5	7.8	-	-	1.6	-
	70歳以上	82	18.3	41.5	19.5	17.1	-	-	2.4	1.2
	無回答	4	-	50.0	-	-	-	-	-	50.0
小学校区別	太宰府小学校区	47	19.1	21.3	53.2	4.3	-	-	2.1	-
	太宰府東小学校区	38	7.9	28.9	44.7	18.4	-	-	-	-
	太宰府南小学校区	41	4.9	31.7	48.8	9.8	-	-	4.9	-
	水城小学校区	72	5.6	30.6	54.2	8.3	-	-	-	1.4
	水城西小学校区	64	3.1	25.0	67.2	4.7	-	-	-	-
	太宰府西小学校区	67	9.0	37.3	43.3	9.0	-	-	1.5	-
	国分小学校区	84	4.8	26.2	53.6	11.9	-	-	3.6	-
	わからない	71	18.3	36.6	38.0	1.4	-	-	5.6	-
	無回答	17	5.9	47.1	23.5	5.9	-	-	-	17.6

4. 職業（問4）

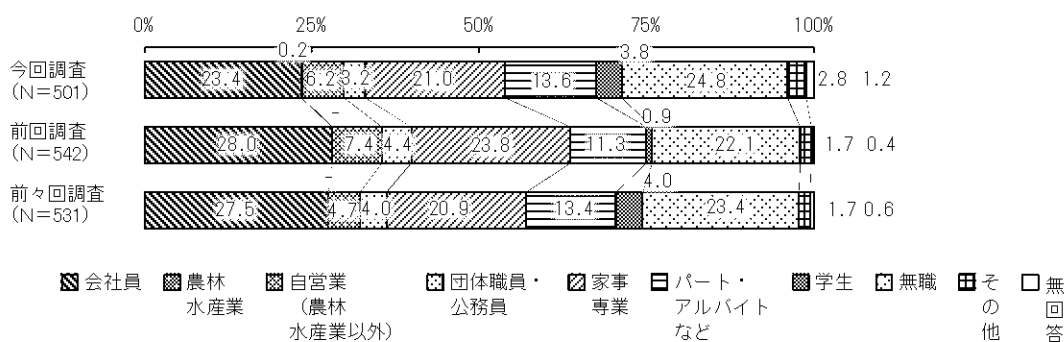
●職業は「無職」（24.8%）、「会社員」（23.4%）、「家事専業」（21.0%）が主である。

職業は「無職」24.8%、「会社員」23.4%、「家事専業」21.0%が2割台と高い。
 経年比較でみると、前回調査に比べ「会社員」の割合が減り、「パート・アルバイトなど」、「無職」の割合がやや増えている。

性別にみると、男性は「会社員」（38.3%）、「無職」（31.7%）、女性は「家事専業」（38.6%）、「パート・アルバイトなど」（21.2%）という回答がそれぞれ多くなっており、職業における男女差が大きいことがうかがえる。

性別・年代別にみると「会社員」は男性の30歳代（28.0%）、「無職」は60歳以上で3割以上と多い。「家事専業」は女性の30歳代（30.0%）、「パート・アルバイトなど」は40歳代（16.0%）が他の年代に比べ高い。

問4. あなたのご職業を次の中からお選びください。（2つ以上あるときは主なもの1つ）



		標本数	会社員	農林水産業	自営業 (農林水産業以外)	団体職員・公務員	家事専業	パート・アルバイトなど	学生	無職	その他	無回答
全体		501	117	1	31	16	105	68	19	124	14	6
性別	男性	227	38.3	0.4	8.4	4.8	1.3	5.3	6.2	31.7	2.6	0.9
	女性	264	11.0	-	4.5	1.9	38.6	21.2	1.9	18.2	2.3	0.4
	無回答	10	10.0	-	-	-	-	-	-	40.0	20.0	30.0
性別・年代別	男性:20歳代	21	3.0	-	-	-	-	3.0	14.0	-	1.0	-
	男性:30歳代	36	28.0	-	3.0	2.0	-	-	-	2.0	1.0	-
	男性:40歳代	31	19.0	-	5.0	2.0	-	2.0	-	1.0	2.0	-
	男性:50歳代	31	21.0	-	-	5.0	1.0	-	-	4.0	-	-
	男性:60歳代	64	16.0	-	7.0	2.0	1.0	6.0	-	31.0	1.0	-
	男性:70歳代以上	44	-	1.0	4.0	-	1.0	1.0	-	34.0	1.0	2.0
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女性:20歳代	23	3.0	-	-	1.0	8.0	5.0	5.0	1.0	-	-
	女性:30歳代	57	8.0	-	-	2.0	30.0	10.0	-	4.0	3.0	-
	女性:40歳代	42	9.0	-	2.0	2.0	10.0	16.0	-	2.0	1.0	-
女性:50歳代	43	7.0	-	4.0	-	13.0	14.0	-	4.0	1.0	-	
女性:60歳代	63	2.0	-	6.0	-	25.0	11.0	-	17.0	1.0	1.0	
女性:70歳代以上	34	-	-	-	-	15.0	-	-	19.0	-	-	
無回答	2	-	-	-	-	1.0	-	-	1.0	-	-	
小学校区別	太宰府小学校区	47	25.5	-	10.6	2.1	17.0	17.0	4.3	17.0	6.4	-
	太宰府東小学校区	38	10.5	-	5.3	2.6	23.7	18.4	2.6	31.6	5.3	-
	太宰府南小学校区	41	17.1	-	7.3	2.4	12.2	12.2	-	48.8	-	-
	水城小学校区	72	23.6	-	8.3	-	34.7	9.7	4.2	15.3	2.8	1.4
	水城西小学校区	64	25.0	-	1.6	7.8	21.9	18.8	7.8	14.1	3.1	-
	太宰府西小学校区	67	22.4	-	13.4	6.0	17.9	10.4	3.0	22.4	3.0	1.5
	国分小学校区	84	26.2	1.2	4.8	1.2	20.2	10.7	4.8	29.8	-	1.2
	わからない	71	32.4	-	1.4	2.8	16.9	15.5	2.8	23.9	4.2	-
	無回答	17	5.9	-	-	5.9	17.6	11.8	-	41.2	-	17.6

5. 通勤・通学先（問4付問1）

- 通勤・通学先は「福岡市」が35.3%、「太宰府市」が22.6%。
- 「春日市」や「大野城市」への通勤・通学が増加。

通勤・通学先は「福岡市」が35.3%と最も多く、次いで「太宰府市」が22.6%、「それ以外の福岡県内市町村」が11.1%となっている。

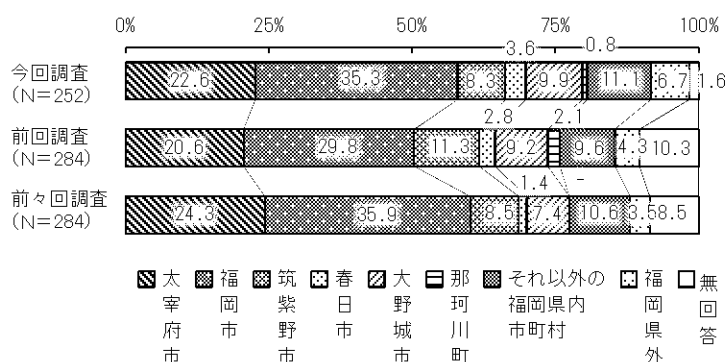
経年比較でみると、「春日市」や「大野城市」でやや増加がみられる。

性別でみると、男性は「福岡市」(22.5%)や「太宰府市」(10.1%)が多く、女性は「福岡市」(14.0%)、「太宰府市」(12.9%)への通勤・通学が多い。

年代別でみると、70歳以上以外のいずれの年代においても、「福岡市」が最も多くなっており、70歳以上では「太宰府市」が最も多くなっている。

小学校区別にみると太宰府東小学校区と太宰府南小学校区では「太宰府市」への通勤・通学が15.8%、12.2%と「福岡市」(13.2%、7.3%)を上回っている。

問4付問1【問4で5・8・9と答えた方以外で】通勤先または通学先の所在地を次の中からお選びください。



		標本数	太宰府市	福岡市	筑紫野市	春日市	大野城市	那珂川町	内的那珂川町	福岡県外	無回答
全体		252	57	89	21	9	25	2	28	17	4
性別	男性	227	10.1	22.5	4.4	1.8	4.8	0.9	7.9	5.7	41.9
	女性	264	12.9	14.0	4.2	1.9	4.9	-	3.4	1.5	57.2
	無回答	10	-	10.0	-	-	10.0	-	10.0	-	70.0
年代別	20歳代	44	13.6	31.8	2.3	-	4.5	-	11.4	11.4	25.0
	30歳代	93	15.1	19.4	6.5	3.2	7.5	-	4.3	3.2	40.9
	40歳代	75	13.3	30.7	4.0	5.3	8.0	-	8.0	4.0	26.7
	50歳代	75	10.7	18.7	6.7	2.7	6.7	1.3	8.0	6.7	38.7
	60歳代	128	10.2	14.8	3.1	-	3.1	0.8	5.5	0.8	61.7
	70歳以上	82	6.1	1.2	2.4	-	1.2	-	-	-	89.0
	無回答	4	25.0	-	-	-	-	-	-	-	75.0
小学校区別	太宰府小学校区	47	6.4	17.0	6.4	2.1	6.4	-	6.4	10.6	44.7
	太宰府東小学校区	38	15.8	13.2	-	2.6	5.3	-	5.3	-	57.9
	太宰府南小学校区	41	12.2	7.3	9.8	-	2.4	-	4.9	2.4	61.0
	水城小学校区	72	8.3	27.8	1.4	1.4	2.8	-	4.2	1.4	52.8
	水城西小学校区	64	10.9	17.2	10.9	3.1	6.3	-	6.3	4.7	40.6
	太宰府西小学校区	67	16.4	17.9	4.5	3.0	4.5	-	1.5	4.5	47.8
	国分小学校区	84	11.9	19.0	-	-	6.0	1.2	7.1	3.6	51.2
	わからない	71	11.3	19.7	4.2	-	7.0	1.4	8.5	1.4	46.5
無回答	17	5.9	-	-	11.8	-	-	5.9	-	76.5	

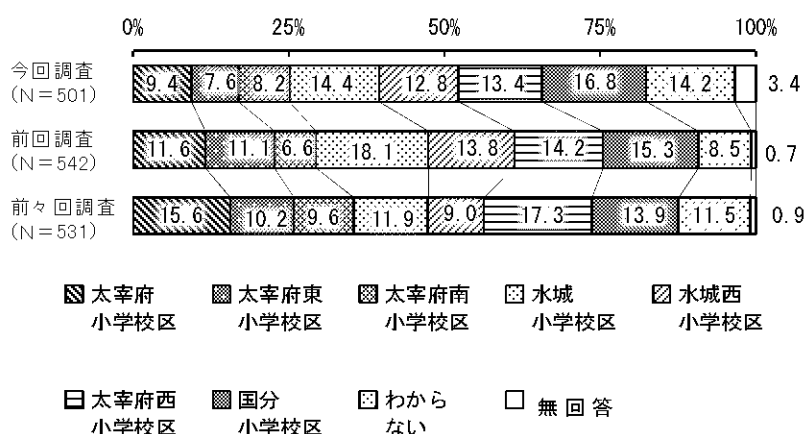
6. 小学校区（問5）

●住んでいる小学校区は「国分小学校区」（16.8%）、「水城小学校区」（14.4%）。

住んでいる小学校区は「国分小学校区」が16.8%と最も多く、次いで「水城小学校区」（14.4%）、「太宰府西小学校区」（13.4%）となっている。

経年比較でみると、過去2回の調査に比べ「太宰府小学校区」と「太宰府西小学校区」が減少している。また、「国分小学校区」の割合が少しずつ高くなっている。

問5. あなたの住んでいる小学校区を次の中からお選びください。



		標本数	学太校幸区府小	小太学幸校府区東	小太学幸校府区南	校水区域小学	学水校城區西小	小太学幸校府区西	校国区分小学	いわから	無回答
全体		501	47	38	41	72	64	67	84	71	17
		100.0	9.4	7.6	8.2	14.4	12.8	13.4	16.8	14.2	3.4
性別	男性	227	11.5	6.2	11.5	12.8	11.5	15.0	18.9	9.7	3.1
	女性	264	8.0	8.0	5.3	15.5	14.4	12.5	15.2	18.6	2.7
	無回答	10	-	30.0	10.0	20.0	-	-	10.0	-	30.0
年代別	20歳代	44	11.4	4.5	2.3	13.6	15.9	11.4	18.2	22.7	-
	30歳代	93	7.5	2.2	5.4	15.1	18.3	6.5	23.7	20.4	1.1
	40歳代	75	8.0	9.3	8.0	21.3	17.3	16.0	8.0	12.0	-
	50歳代	75	17.3	4.0	2.7	10.7	10.7	14.7	12.0	21.3	6.7
	60歳代	128	8.6	13.3	7.0	8.6	13.3	24.2	14.8	7.8	2.3
	70歳以上	82	6.1	8.5	22.0	19.5	2.4	2.4	24.4	7.3	7.3
無回答		4	-	-	-	25.0	-	-	-	25.0	50.0

7. 居住年数（問6）

- 居住年数が『5年未満』が4割以上を占めている。
- 40歳代、60歳以上を除くいずれの年代でも「3年未満」が最も多い。

居住年数は「3年未満」が27.7%と最も多く、次いで「3年以上～5年未満」が18.0%と『5年未満』で4割以上を占め、今回調査の回答者は居住年数が短い人が多い。

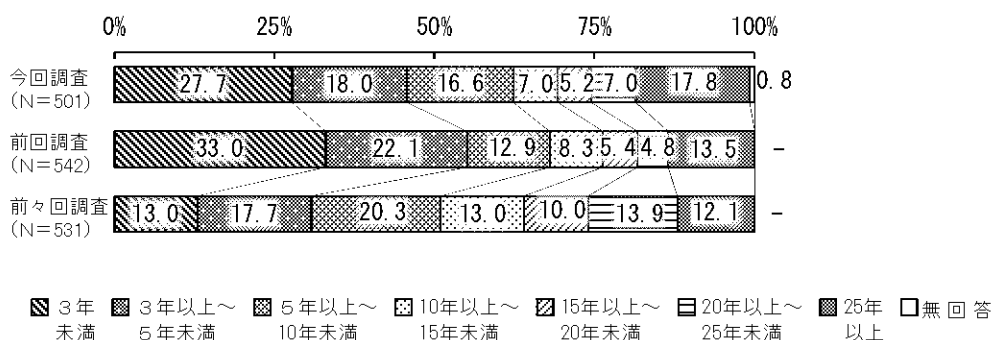
経年比較でみると、過去2回の調査に比べ「25年以上」の割合が増加している。

性別でみると、男性では「25年以上」（22.0%）、女性では「3年未満」（35.6%）の居住者が多い。

年代別にみると、40歳代と60歳以上を除く年代で「3年未満」が最も多く、特に30歳代で約5割となっている。40歳代では「5年～10年未満」が36.0%と最も多く、他の年代と比べても最も多くなっている。

小学校区別にみると、太宰府小学校区で『5年未満』が5割を超えており、居住年数が短い人が多い。一方、「25年以上」においては太宰府南小学校区で46.3%、次いで国分小学校区（22.6%）、太宰府西小学校区（22.4%）となっている。

問6. あなたは太宰府市に住んで何年になりますか。（平成23年3月末時点で）次の中からお選びください。



		標本数	3年未満	3年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～15年未満	15年以上～20年未満	20年以上～25年未満	25年以上	無回答
全体		501 100.0	139 27.7	90 18.0	83 16.6	35 7.0	26 5.2	35 7.0	89 17.8	4 0.8
性別	男性	227	19.4	15.0	17.2	10.1	7.0	8.4	22.0	0.9
	女性	264	35.6	20.8	15.9	4.2	3.8	5.7	14.0	-
	無回答	10	10.0	10.0	20.0	10.0	-	10.0	20.0	20.0
年代別	20歳代	44	34.1	6.8	4.5	9.1	11.4	31.8	2.3	-
	30歳代	93	48.4	35.5	11.8	2.2	-	-	1.1	1.1
	40歳代	75	26.7	21.3	36.0	5.3	1.3	2.7	6.7	-
	50歳代	75	37.3	17.3	24.0	6.7	5.3	4.0	5.3	-
	60歳代	128	16.4	14.1	14.8	13.3	9.4	6.3	25.0	0.8
	70歳以上	82	11.0	7.3	7.3	3.7	4.9	9.8	56.1	-
	無回答	4	25.0	25.0	-	-	-	-	-	50.0
小学校区別	太宰府小学校区	47	34.0	19.1	19.1	4.3	6.4	6.4	10.6	-
	太宰府東小学校区	38	18.4	10.5	23.7	10.5	7.9	13.2	15.8	-
	太宰府南小学校区	41	22.0	12.2	7.3	2.4	7.3	2.4	46.3	-
	水城小学校区	72	36.1	9.7	19.4	11.1	1.4	5.6	16.7	-
	水城西小学校区	64	17.2	21.9	23.4	4.7	3.1	12.5	17.2	-
	太宰府西小学校区	67	26.9	9.0	16.4	11.9	4.5	9.0	22.4	-
	国分小学校区	84	20.2	19.0	14.3	6.0	9.5	8.3	22.6	-
	わからない	71	46.5	35.2	11.3	1.4	1.4	1.4	2.8	-
	無回答	17	11.8	23.5	11.8	17.6	11.8	-	-	23.5

8. 居住形態（問7）

●「持ち家・分譲マンション」が約6割、「賃貸住宅・アパート」が3割以上。

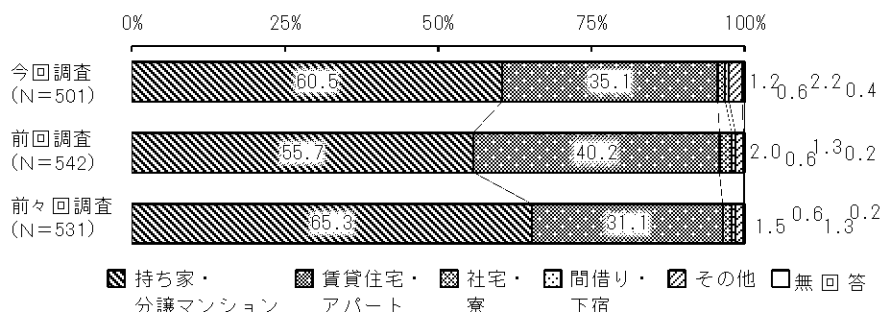
住居形態は「持ち家・分譲マンション」が60.5%と最も多く、次いで「賃貸住宅・アパート」が35.1%となっている。

前回調査に比べ「持ち家・分譲マンション」の割合が増加し、「賃貸住宅・アパート」の割合が減少している。

年代別にみると、「持ち家・分譲マンション」の割合は年齢が高い層で高くなり、60歳以上では7割を超えている。反対に「賃貸住宅・アパート」は年齢が低い層で高くなり、30歳代以下で5割以上となっている。

小学校区別にみると、水城小学校区では「賃貸住宅・アパート」が約6割を占めているが、その他の小学校区では「持ち家・分譲マンション」が最も多く、特に太宰府南小学校区では92.7%となっている。

問7. あなたのお住まいを次の中から選びください。



		標本数	分譲マンション	賃貸住宅・アパート	社宅・寮	間借り・下宿	その他	無回答
全体		501	303	176	6	3	11	2
性別	男性	227	65.6	30.0	1.3	0.9	2.2	-
	女性	264	56.1	40.5	1.1	0.4	1.9	-
	無回答	10	60.0	10.0	-	-	10.0	20.0
年代別	20歳代	44	47.7	50.0	-	2.3	-	-
	30歳代	93	32.3	64.5	2.2	-	1.1	-
	40歳代	75	60.0	32.0	1.3	1.3	5.3	-
	50歳代	75	56.0	40.0	2.7	-	1.3	-
	60歳代	128	75.8	21.1	0.8	0.8	1.6	-
	70歳以上	82	81.7	14.6	-	-	3.7	-
	無回答	4	25.0	25.0	-	-	-	50.0
小学校区別	太宰府小学校区	47	66.0	25.5	2.1	2.1	4.3	-
	太宰府東小学校区	38	78.9	13.2	2.6	5.3	-	-
	太宰府南小学校区	41	92.7	7.3	-	-	-	-
	水城小学校区	72	37.5	59.7	2.8	-	-	-
	水城西小学校区	64	68.8	29.7	-	-	1.6	-
	太宰府西小学校区	67	62.7	32.8	-	-	4.5	-
	国分小学校区	84	73.8	23.8	1.2	-	1.2	-
	わからない	71	29.6	66.2	1.4	-	2.8	-
	無回答	17	47.1	29.4	-	-	11.8	11.8

2. 継続居住意向（問9）

●「住み続けたい」は約6割。「住み続けたくない」（11.8%）は前回調査より微減。

太宰府市に今後も「住み続けたい」が62.5%で「住み続けたくない」（11.8%）を50.7ポイント上回っている。「わからない」は24.2%である。

前回調査と比較すると「住み続けたい」は増加し、「住み続けたくない」は減少している。

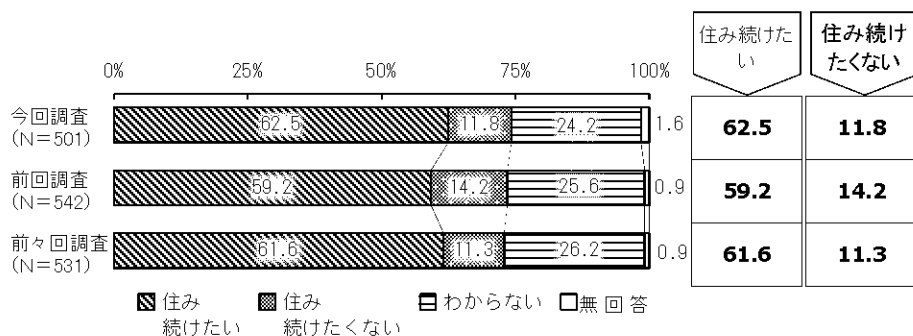
性別にみると、男性の方が「住み続けたい」が65.6%で女性（59.8%）よりも高い。

年代別にみると、どの年代をみても、「住み続けたい」が最も多く、特に60歳以上では「住み続けたい」と回答した人が7割を超えている。

小学校区別にみると、太宰府小学校区、太宰府南小学校区、太宰府西小学校区では「住み続けたい」が約7割と高い。

住みやすさ別にみると、住みやすいと感じている人ほど「住み続けたい」が高く、「住みやすい」と感じている人のうち90.5%が継続して住みたいと回答している。

問9. あなたはこれからも太宰府市に住み続けたいと思いますか。（○は1つ）



		標本数	た住み続け	た住み続け	いわから	無回答
			たい	たくない	ない	
全体		501	313	59	121	8
		100.0	62.5	11.8	24.2	1.6
性別	男性	227	65.6	11.0	22.0	1.3
	女性	264	59.8	12.5	25.8	1.9
	無回答	10	60.0	10.0	30.0	-
年代別	20歳代	44	56.8	9.1	34.1	-
	30歳代	93	50.5	21.5	28.0	-
	40歳代	75	60.0	10.7	26.7	2.7
	50歳代	75	53.3	16.0	26.7	4.0
	60歳代	128	73.4	6.3	20.3	-
	70歳以上	82	74.4	7.3	14.6	3.7
	無回答	4	25.0	25.0	50.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	47	68.1	17.0	14.9	-
	太宰府東小学校区	38	65.8	15.8	15.8	2.6
	太宰府南小学校区	41	68.3	9.8	19.5	2.4
	水城小学校区	72	63.9	8.3	27.8	-
	水城西小学校区	64	59.4	12.5	25.0	3.1
	太宰府西小学校区	67	68.7	4.5	26.9	-
	国分小学校区	84	61.9	13.1	22.6	2.4
	わからない	71	54.9	11.3	32.4	1.4
	無回答	17	41.2	29.4	23.5	5.9
住みやすさ別	住みやすい	158	90.5	2.5	7.0	-
	どちらかといえば住みやすい	200	66.0	4.5	26.5	3.0
	どちらともいえない	77	29.9	15.6	51.9	2.6
	どちらかといえば住みにくい	50	22.0	56.0	22.0	-
	住みにくい	13	7.7	46.2	46.2	-
無回答	3	100.0	-	-	-	

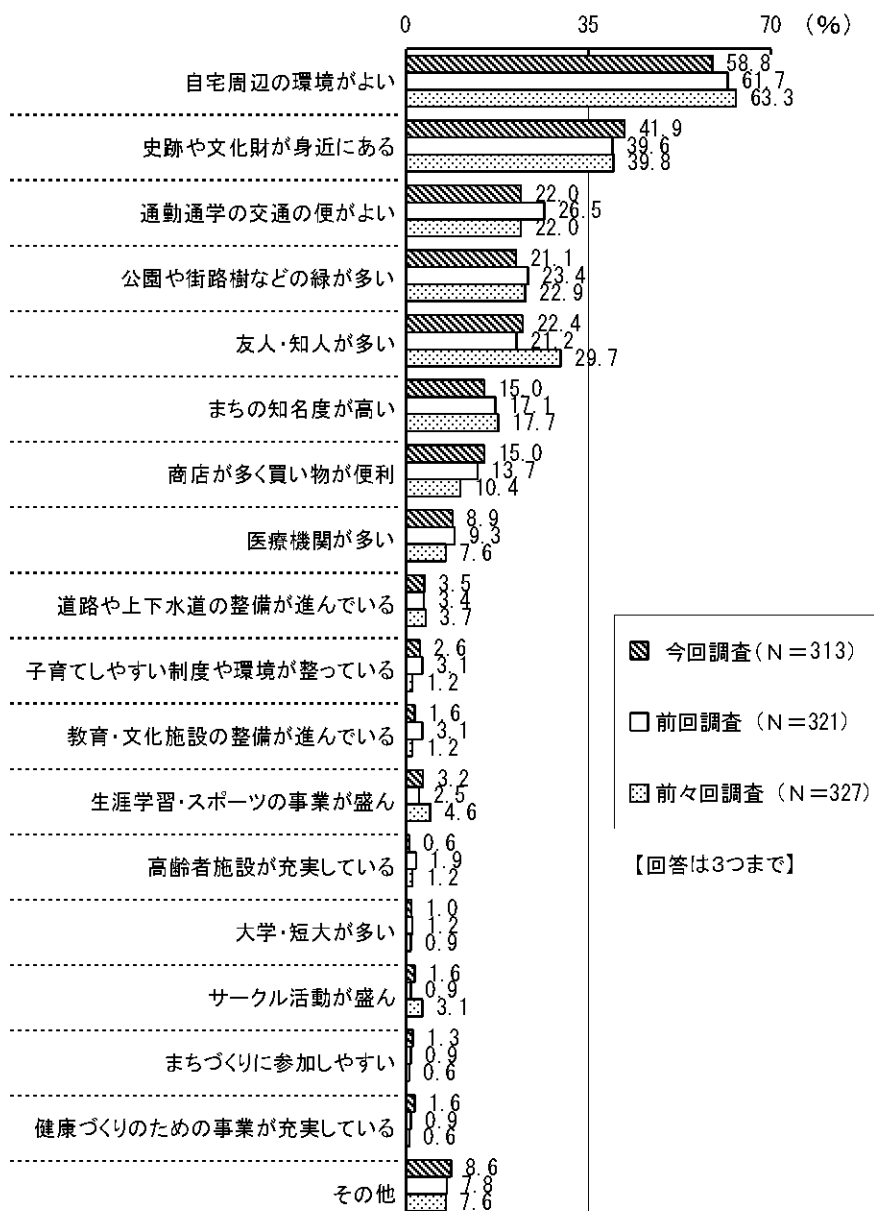
3. 住み続けたい理由（問9付問1）

●住み続けたい理由は「自宅周辺の環境がよい」（58.8%）、「史跡や文化財が身近にある」（41.9%）、「友人・知人が多い」（22.4%）が上位3位。

「住み続けたい」と回答した人（313人）の理由は「自宅周辺の環境がよい」が58.8%と最も高い。次いで「史跡や文化財が身近にある」41.9%、「友人・知人が多い」22.4%の順となっている。

経年比較でみると、上位2位までは変化はないが、前回調査で5位であった「友人・知人が多い」は今回調査では22.4%と3位になっている。

問9付問1. 【住み続けたいと答えた方】におたずねします。「住み続けたい」と思う主な理由は何ですか。（○は3つまで）



*は前々回調査ではなかった項目

第2章 調査結果の分析

性別にみると、男性では3位が「通勤通学の交通の便がよい」であるのに対し女性の3位は「友人・知人が多い」となっている。

年代別にみると、いずれの年代も「自宅周辺の環境がよい」という理由が最も多いが、特に60歳代では43.8%と高い。その他「史跡や文化財が身近にある」は40歳以上で、「通勤通学の交通の便がよい」は40歳代で高い。「友人・知人が多い」は20歳代で25.0%と多い。

小学校区別にみると、いずれの小学校区も「自宅周辺の環境がよい」「史跡や文化財が身近にある」という理由が多い。「自宅周辺の環境がよい」という回答が多いのは太宰府南小学校区(48.8%)、「史跡や文化財が身近にある」という回答が多いのは太宰府小学校区・水城小学校区(31.9%)、「友人・知人が多い」という回答が多いのは太宰府西小学校区(19.4%)である。

(%)

	標本数	友人・知人が多い	自宅周辺の環境がよい	サークル活動が盛ん	すいづくりに参加しやすい	ある	史跡や文化財が身近にある	まちの知名度が高い	大学・短大が多い	よい通勤通学の交通の便が	利便性が高い	商店が多く買い物が便利	生涯学習・スポーツの施設が充実している	高齢者施設が充実している	環境が整っている	子育てしやすい制度や施設が充実している	医療機関が多い	教育・文化施設の整備が進んでいる	健康づくりのための事業が充実している	健康づくりのための事業が充実している	道路や上下水道の整備が進んでいる	公園や街路樹などの緑が多い	その他	無回答
全体	313	70	184	5	4	131	47	3	69	47	10	2	8	28	5	5	11	66	27	-	-	-	-	
性別																								
男性	334	9.0	24.9	0.6	0.3	18.6	7.8	0.6	10.2	6.3	0.9	-	0.6	4.2	0.9	0.6	1.8	9.6	3.3	-	-	-	-	
女性	372	10.5	25.5	0.8	0.8	18.0	5.6	0.3	8.9	6.7	1.9	0.3	1.6	3.8	0.5	0.8	1.3	8.3	4.3	-	-	-	-	
無回答	16	6.3	37.5	-	-	12.5	-	-	12.5	6.3	-	6.3	-	-	-	-	-	18.8	-	-	-	-	-	
年代別																								
20歳代	44	25.0	31.8	-	-	13.6	9.1	-	9.1	6.8	-	-	4.5	4.5	2.3	-	2.3	13.6	4.5	-	-	-	-	
30歳代	93	11.8	30.1	-	-	9.7	6.5	-	19.4	11.8	-	-	3.2	2.2	-	1.1	1.1	5.4	2.2	-	-	-	-	
40歳代	75	9.3	36.0	-	-	26.7	10.7	-	24.0	2.7	2.7	-	1.3	4.0	1.3	-	1.3	9.3	9.3	-	-	-	-	
50歳代	75	5.3	36.0	-	1.3	34.7	9.3	1.3	17.3	4.0	-	-	-	4.0	-	-	-	12.0	2.7	-	-	-	-	
60歳代	128	18.0	43.8	1.6	2.3	34.4	12.5	0.8	9.4	16.4	5.5	-	1.6	9.4	1.6	1.6	2.3	18.8	4.7	-	-	-	-	
70歳以上	82	15.9	39.0	2.4	-	30.5	7.3	1.2	4.9	8.5	1.2	2.4	-	7.3	1.2	2.4	6.1	18.3	9.8	-	-	-	-	
無回答	4	25.0	-	25.0	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
小学校区別																								
太宰府小学校区	47	17.0	38.3	-	2.1	31.9	12.8	-	17.0	6.4	2.1	-	4.3	8.5	-	-	-	8.5	8.5	-	-	-	-	
太宰府東小学校区	38	13.2	36.8	2.6	-	26.3	5.3	-	13.2	21.1	-	-	5.3	7.9	2.6	-	-	10.5	13.2	-	-	-	-	
太宰府南小学校区	41	14.6	48.8	2.4	-	24.4	12.2	2.4	14.6	7.3	2.4	-	4.9	-	-	-	7.3	14.6	-	-	-	-	-	
水城小学校区	72	13.9	33.3	2.8	1.4	31.9	6.9	1.4	9.7	2.8	2.8	-	2.8	6.9	2.8	2.8	4.2	22.2	4.2	-	-	-	-	
水城西小学校区	64	14.1	37.5	-	-	20.3	9.4	1.6	17.2	9.4	3.1	-	1.6	1.6	-	1.6	-	12.5	4.7	-	-	-	-	
太宰府西小学校区	67	19.4	41.8	1.5	1.5	19.4	9.0	-	13.4	17.9	4.5	-	-	9.0	-	-	3.0	11.9	7.5	-	-	-	-	
国分小学校区	84	17.9	33.3	-	1.2	27.4	11.9	-	8.3	4.8	1.2	1.2	-	3.6	2.4	1.2	1.2	11.9	4.8	-	-	-	-	
わからない	71	2.8	33.8	-	-	29.6	9.9	-	18.3	11.3	-	-	1.4	4.2	-	1.4	2.8	12.7	4.2	-	-	-	-	
無回答	17	11.8	23.5	-	-	17.6	-	-	17.6	5.9	-	5.9	-	5.9	-	5.9	-	5.9	-	-	-	-	-	

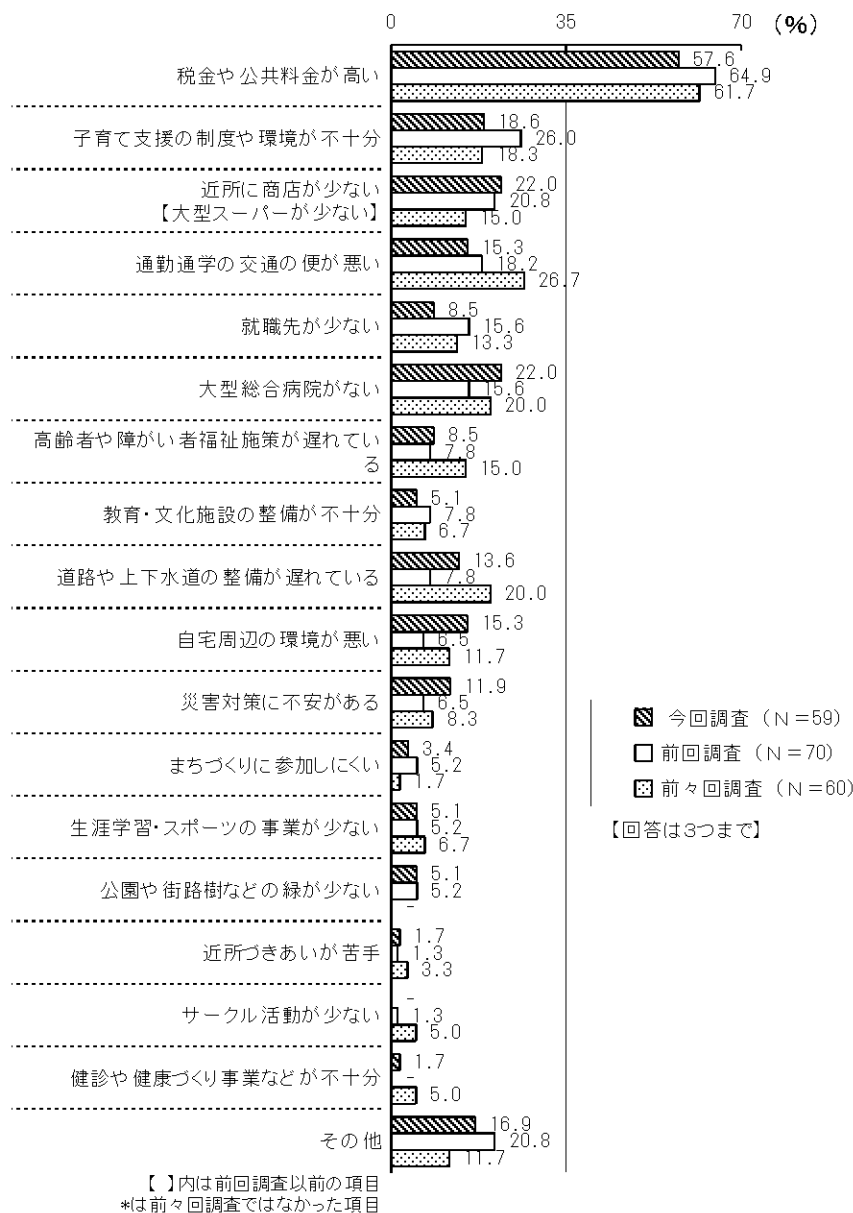
4. 住み続けたくない理由（問9付問2）

●住み続けたくない理由「税金や公共料金が高い」（57.6%）、「大型総合病院がない」・「近所に商店が少ない」（22.0%）が上位3位。

「住み続けたくない」と回答した人（59人）の理由の第1位は「税金や公共料金が高い」で57.6%と最も高い。次いで「近所に商店が少ない」・「大型総合病院がない」22.0%、「子育て支援の制度や環境が不十分」18.6%となっている。

経年比較でみると「近所に商店が少ない」「大型総合病院がない」などが増加し、上位に上がっている。また「子育て支援の制度や環境が不十分」は前回調査に比べ7.4ポイント減少している。反対に、「道路や下水道の整備が遅れている」「自宅周辺の環境が悪い」「災害対策に不安がある」などの理由が前回調査に比べ増加している。

問9付問2. 【住み続けたくないと答えた方】におたずねします。「住み続けたくない」と思う主な理由は何ですか。（○は3つまで）



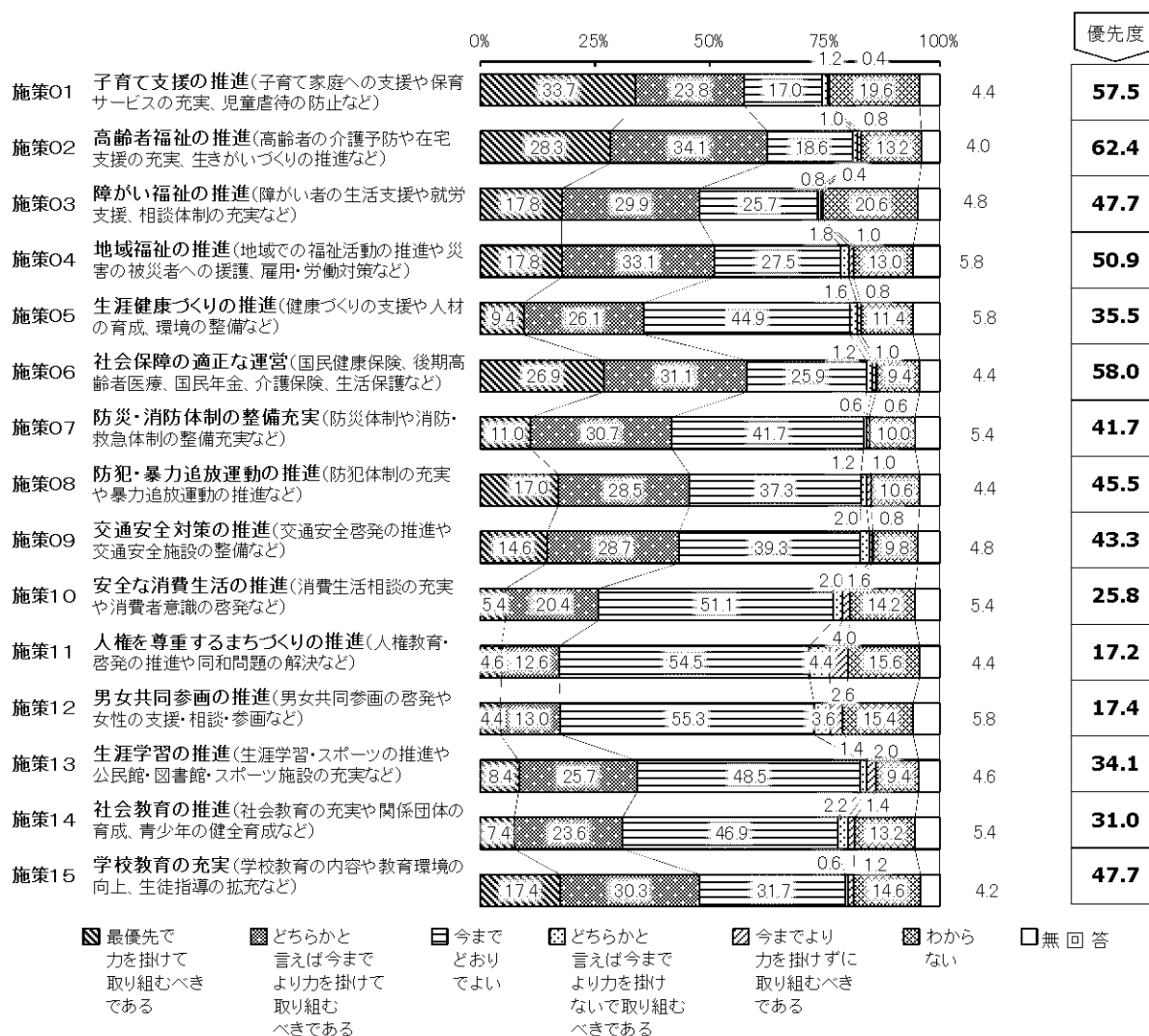
第3節 日頃の暮らし、行動について

1. 総合計画前期基本計画の施策に対する考え方（問10）

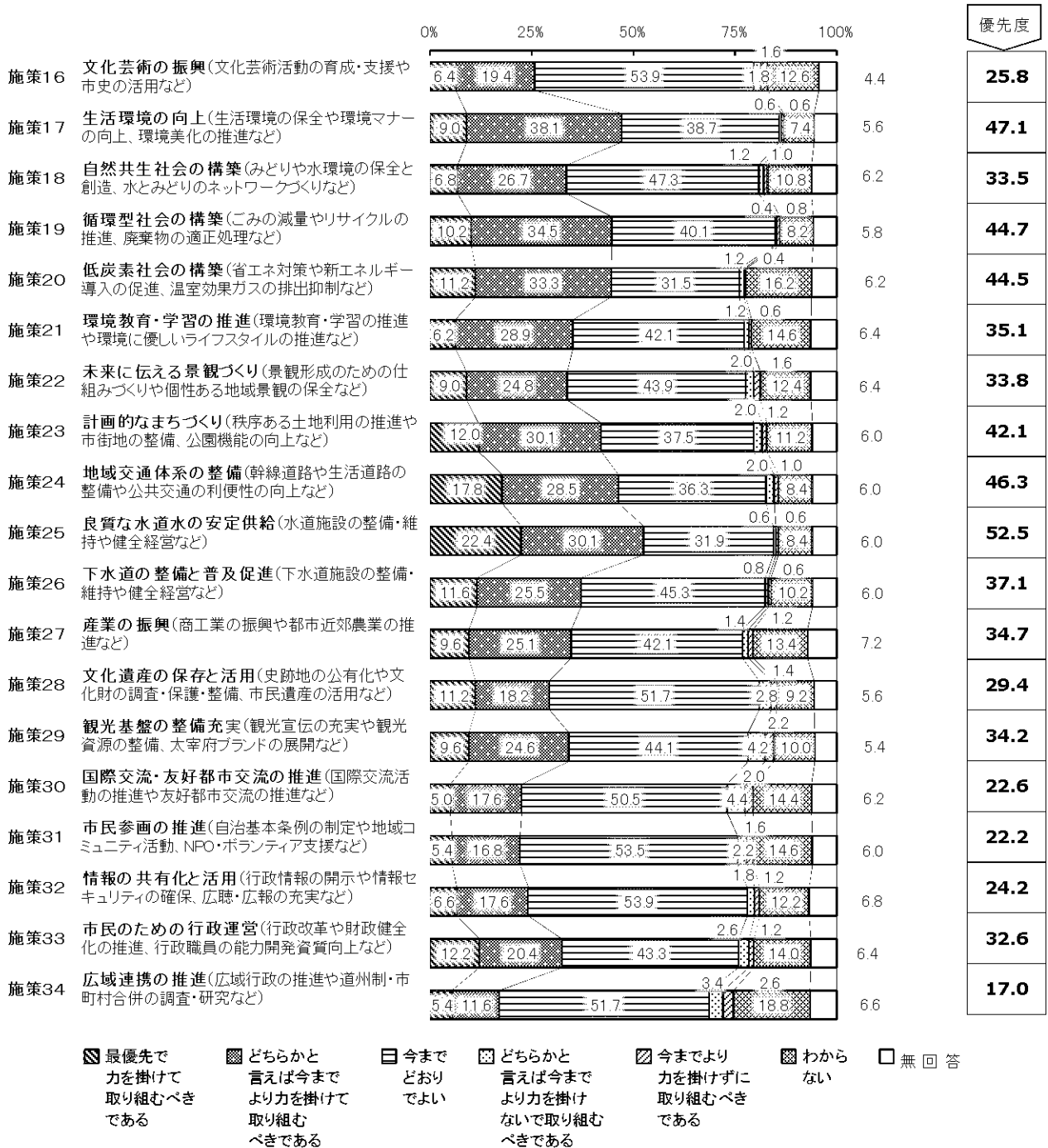
●「施策01 子育て支援策の推進」「施策02 高齢者福祉の推進」「施策06 社会保障の適正な運営」などの優先度が高い。

第五次太宰府市総合計画前期基本計画の施策に掲げた34項目への取り組みについて、「最優先で力を掛けて取り組むべきである」の比率が高いのは「施策01 子育て支援の推進」(33.7%)、「施策02 高齢者福祉の推進」(28.3%)、「施策06 社会保障の適切な運営」(26.9%)などで、この3施策は「どちらかと言えば今までより力を掛けて取り組むべきである」を合わせた優先度も6割前後と高くなっている。

問10. あなたは第五次太宰府市総合計画後期基本計画に掲げた次の34の施策について、今後どのように取り組むべきだと思いますか。(○は施策ごとに1つ)



第2章 調査結果の分析



これらの施策について、性別、年代別、小学校区別に上位項目をみている。

性別にみると、男女ともに男性（63.0%）、女性（62.1%）で「施策 02 高齢者福祉の推進」の優先度が最も高くなっている。

年代別にみると 30 歳代以下では「施策 01 子育て支援の推進」の優先度が高く、40 歳以上では「施策 02 高齢者福祉の推進」や「施策 25 良質な水道水の安定供給」の優先度が高くなっている。

小学校区別にみると、太宰府東小学校区では「施策 02 高齢者福祉の推進」、「施策 06 社会保障の適正な運営」「施策 24 地域交通体系の整備」が同率で第 1 位にあげられている。

第3節 日頃の暮らし、行動について

全体		1位	2位	3位	4位	5位
N=501		施策02 高齢者福祉の推進 62.4	施策06 社会保障の適正な運営 58.0	施策01 子育て支援の推進 57.5	施策25 良質な水道水の安定供給 52.5	施策04 地域福祉の推進 50.9
性別	男性 227	施策02 高齢者福祉の推進 63.0	施策01 子育て支援の推進 58.6	施策06 社会保障の適正な運営 58.1	施策25 良質な水道水の安定供給 56.8	施策04 地域福祉の推進 施策15 学校教育の充実 50.7
	女性 264	施策02 高齢者福祉の推進 62.1	施策06 社会保障の適正な運営 57.6	施策01 子育て支援の推進 57.2	施策04 地域福祉の推進 51.5	施策03 障がい福祉の推進 49.2
年代別	20歳代 44	施策01 子育て支援の推進 70.5	施策04 地域福祉の推進 68.2	施策02 高齢者福祉の推進 施策13 生涯学習の推進 63.6		施策08 防犯・暴力追放運動の推進 施策15 学校教育の充実 61.4
	30歳代 93	施策01 子育て支援の推進 78.5	施策06 社会保障の適正な運営 59.1	施策02 高齢者福祉の推進 57.0	施策04 地域福祉の推進 55.9	施策03 障がい福祉の推進 施策15 学校教育の充実 51.6
	40歳代 75	施策02 高齢者福祉の推進 69.3	施策01 子育て支援の推進 62.7	施策04 地域福祉の推進 施策25 良質な水道水の安定供給 61.3		施策06 社会保障の適正な運営 60.0
	50歳代 75	施策02 高齢者福祉の推進 68.0	施策25 良質な水道水の安定供給 54.7	施策06 社会保障の適正な運営 52.0	施策03 障がい福祉の推進 48.0	施策04 地域福祉の推進 46.7
	60歳代 128	施策02 高齢者福祉の推進 67.2	施策06 社会保障の適正な運営 64.8	施策20 低炭素社会の構築 55.5	施策01 子育て支援の推進 施策25 良質な水道水の安定供給 53.9	
	70歳以上 82	施策25 良質な水道水の安定供給 53.7	施策06 社会保障の適正な運営 施策15 学校教育の充実 51.2		施策02 高齢者福祉の推進 48.8	施策24 地域交通体系の整備 47.6
小学校区別	太宰府小学校区 47	施策01 子育て支援の推進 68.1	施策02 高齢者福祉の推進 66.0	施策06 社会保障の適正な運営 63.8	施策25 良質な水道水の安定供給 61.7	施策04 地域福祉の推進 施策15 学校教育の充実 施策17 生活環境の向上 55.3
	太宰府東小学校区 38	施策02 高齢者福祉の推進 施策06 社会保障の適正な運営 施策24 地域交通体系の整備 52.6			施策01 子育て支援の推進 47.4	施策25 良質な水道水の安定供給 44.7
	太宰府南小学校区 41	施策02 高齢者福祉の推進 75.6	施策25 良質な水道水の安定供給 73.2	施策01 子育て支援の推進 施策06 社会保障の適正な運営 63.4		施策15 学校教育の充実 61.0
	水城小学校区 72	施策06 社会保障の適正な運営 施策25 良質な水道水の安定供給 62.5		施策02 高齢者福祉の推進 施策15 学校教育の充実 59.7		施策01 子育て支援の推進 58.3
	水城西小学校区 64	施策01 子育て支援の推進 71.9	施策02 高齢者福祉の推進 70.3	施策03 障がい福祉の推進 62.5	施策04 地域福祉の推進 60.9	施策15 学校教育の充実 56.3
	太宰府西小学校区 67	施策02 高齢者福祉の推進 67.2	施策06 社会保障の適正な運営 65.7	施策01 子育て支援の推進 59.7	施策04 地域福祉の推進 53.7	施策03 障がい福祉の推進 50.7
	国分小学校区 84	施策02 高齢者福祉の推進 63.1	施策01 子育て支援の推進 60.7	施策06 社会保障の適正な運営 施策15 学校教育の充実 53.6		施策08 防犯・暴力追放運動の推進 施策25 良質な水道水の安定供給 52.4
	わからない 71	施策06 社会保障の適正な運営 60.6	施策02 高齢者福祉の推進 54.9	施策04 地域福祉の推進 45.1	施策03 障がい福祉の推進 施策17 生活環境の向上 43.7	

第2章 調査結果の分析

また、各施策について、第五次総合計画に掲げた成果指標と目標値の今年度の達成状況を整理してみると、以下の表のとおりとなる。

		優先度	指標	基準値 (平成22年度)	目標値 (平成27年度)	今回調査 結果
施策01	子育て支援の推進(子育て家庭への支援や保育サービスの充実、児童虐待の防止など)	57.5% (3位)	子育てをしやすいと感じる保護者の割合	75.0%	70.0%	72.6%
施策02	高齢者福祉の推進(高齢者の介護予防や在宅支援の充実、生きがいづくりの推進など)	62.4% (1位)	生きがいを感じている高齢者の割合	77.8%	85.0%	80.6%
			高齢者福祉サービスが充実していると感じる市民の割合	18.1%	35.0%	19.8%
施策03	障がい福祉の推進(障がい者の生活支援や就労支援、相談体制の充実など)	47.7% (6位)	障がい福祉サービスが充実していると感じる市民の割合	35.9%	33.0%	36.1%
施策04	地域福祉の推進(地域での福祉活動の推進や災害の被災者への援護、雇用・労働対策など)	50.9% (5位)	地域の福祉活動が活発に行われていると感じる市民の割合	34.7%	50.0%	33.7%
施策05	生涯健康づくりの推進(健康づくりの支援や人材の育成、環境の整備など)	35.5% (17位)	健康状態が良好な市民の割合	79.4%	80.0%	80.2%
			健康増進に取り組んでいる市民の割合	54.2%	60.0%	56.1%
施策06	社会保障の適正な運営(国民健康保険、後期高齢者医療、国民年金、介護保険、生活保護など)	58.0% (2位)				
施策07	防災・消防体制の整備充実(防災体制や消防・救急体制の整備充実など)	41.7% (15位)	日頃から災害に備えている市民の割合	40.7%	60.0%	40.0%
施策08	防犯・暴力追放運動の推進(防犯体制の充実や暴力追放運動の推進など)	45.5% (10位)				
施策09	交通安全対策の推進(交通安全啓発の推進や交通安全施設の整備など)	43.3% (13位)				
施策10	安全な消費生活の推進(消費生活相談の充実や消費者意識の啓発など)	25.8% (27位)	この1年間に消費生活に関する不安を感じたりトラブルを受けた市民の割合	14.2%	15.0%	17.2%
施策11	人権を尊重するまちづくりの推進(人権教育・啓発の推進や同和問題の解決など)	17.2% (33位)	この1年間に人権侵害を受けたことがある市民の割合	3.0%	1.0%	3.4%
			同和問題をはじめあらゆる人権が尊重されていると感じる市民の割合	76.2%	90.0%	75.2%
施策12	男女共同参画の推進(男女共同参画の啓発や女性の支援・相談・参画など)	17.4% (32位)	男は仕事、女は家庭という役割分担意識を持たない市民の割合	66.4% (男性66.1%)	65.0% (男性60.0%)	60.8% (男性60.8%)
施策13	生涯学習の推進(生涯学習・スポーツの推進や公民館・図書館・スポーツ施設の充実など)	34.1% (20位)	日頃から学習テーマを持って生涯学習に取り組んでいる市民の割合	15.1%	20.0%	17.2%
			日頃からスポーツに取り組んでいる市民の割合	37.4%	40.0%	40.9%
施策14	社会教育の推進(社会教育の充実や関係団体の育成、青少年の健全育成など)	31.0% (25位)				
施策15	学校教育の充実(学校教育の内容や教育環境の向上、生徒指導の拡充など)	47.7% (6位)				
施策16	文化芸術の振興(文化芸術活動の育成・支援や市史の活用など)	25.8% (27位)	文化芸術活動を月数回以上行っている市民の割合	16.4%	20.0%	16.4%
施策17	生活環境の向上(生活環境の保全や環境マナーの向上、環境美化の推進など)	47.1% (8位)	自宅周辺の環境が清潔で衛生的と感じる市民の割合	77.9%	80.0%	76.8%
			環境マナーが守られていると感じる市民の割合	68.5%	70.0%	67.1%
			地域の美化活動に参加している市民の割合	63.6%	60.0%	66.5%
施策18	自然共生社会の構築(みどりや水環境の保全と創造、水とみどりのネットワークづくりなど)	33.5% (23位)	自然環境が豊かであると感じる市民の割合	89.4%	93.0%	89.2%
施策19	循環型社会の構築(ごみの減量やリサイクルの推進、廃棄物の適正処理など)	44.7% (11位)				
施策20	低炭素社会の構築(省エネ対策や新エネルギー導入の促進、温室効果ガスの排出抑制など)	44.5% (12位)	省エネルギー・省資源を実践している市民の割合	87.1%	90.0%	86.0%
施策21	環境教育・学習の推進(環境教育・学習の推進や環境に優しいライフスタイルの推進など)	35.1% (18位)	環境学習会や環境講演会等に参加したことがある市民の割合	13.5%	25.0%	14.8%

第3節 日頃の暮らし、行動について

		優先度	指標	基準値 (平成21年度)	目標値 (平成27年度)	今回調査 結果
施策22	未来に伝える景観づくり(景観形成のための仕組みづくりや個性ある地域景観の保全など)	33.8% (22位)	自然が美しいと感じる市民の割合	85.2%	85.5%	85.6%
			歴史的景観が美しいと感じる市民の割合	90.8%	91.3%	91.0%
			良好なまちなみと感じる市民の割合	80.1%	80.0%	80.6%
施策23	計画的なまちづくり(秩序ある土地利用の推進や市街地の整備、公園機能の向上など)	42.1% (14位)	道路や公園などの都市基盤が周辺に整えられ、快適で住環境がよいと感じる市民の割合	69.3%	75.0%	70.5%
			商店や学校、病院等が周辺にあり、生活するうえで便利と感じる市民の割合	70.8%	75.0%	70.7%
施策24	地域交通体系の整備(幹線道路や生活道路の整備や公共交通の利便性の向上など)	46.3% (9位)	公共交通機関(鉄道・バス)の利便性に満足を感じる市民の割合	鉄道66.2% バス35.2%	鉄道65.0% バス50.0%	鉄道66.7% バス40.9%
施策25	良質な水道水の安定供給(水道施設の整備・維持や健全経営など)	52.5% (4位)				
施策26	下水道の整備と普及促進(下水道施設の整備・維持や健全経営など)	37.1% (16位)				
施策27	産業の振興(商工業の振興や都市近郊農業の推進など)	34.7 (19位)	主に市内で買物している市民の割合	72.7%	75.0%	69.5%
施策28	文化遺産の保存と活用(史跡地の公有化や文化財の調査・保護・整備、市民遺産の活用など)	29.4% (26位)				
施策29	観光基盤の整備充実(観光宣伝の充実や観光資源の整備、太宰府ブランドの展開など)	34.2% (20位)				
施策30	国際交流・友好都市交流の推進(国際交流活動の推進や友好都市交流の推進など)	22.6% (30位)	日頃から市内在住外国人と交流している市民の割合	4.6%	10.0%	7.0%
			姉妹都市・友好都市を認知している市民の割合	24.6%	50.0%	42.5%
施策31	市民参画の推進(自治基本条例の制定や地域コミュニティ活動、NPO・ボランティア支援など)	22.2% (31位)				
施策32	情報の共有化と活用(行政情報の開示や情報セキュリティの確保、広聴・広報の充実など)	24.2% (29位)	市民と行政の情報共有がなされていると感じる市民の割合	30.6%	50.0%	32.7%
			広報だざいふを読んでいる市民の割合	87.8%	90.0%	84.0%
			市公式ホームページを見ている市民の割合	34.1%	50.0%	32.5%
施策33	市民のための行政運営(行政改革や財政健全化の推進、行政職員の能力開発資質向上など)	32.6% (24位)	効果的に行政運営が行われていると感じる市民の割合	48.5%	80.0%	47.5%
			職員の対応や行動などの仕事に対する取組に満足している市民の割合	60.5%	100%	57.3%
施策34	広域連携の推進(広域行政の推進や道州制・市町村合併の調査・研究など)	17.0% (34位)	広域化により住民サービスが向上したと感じる市民の割合	37.1%	40.0%	37.9%

2. 子育て支援の推進

(1) 子育てのしやすさ (問11)

- 『子育てがしやすい派』は72.6%、『子育てがしにくい派』は26.7%。
- 50歳代、70歳以上では『子育てがしにくい派』が4割以上と多い。

中学生以下の子どもがいる人(135人)で「子育てがしやすい」と思っている人は15.6%で、「どちらかと言えば子育てがしやすい」(57.0%)を合わせた『子育てがしやすい派』は72.6%となっている。反対に「子育てがしにくい」は7.4%で「どちらかと言えば子育てがしにくい」(19.3%)を合わせた『子育てがしにくい派』は26.7%となっている。

経年比較でみると、『子育てがしやすい派』は2.4ポイント減少しているものの7割以上となっている。

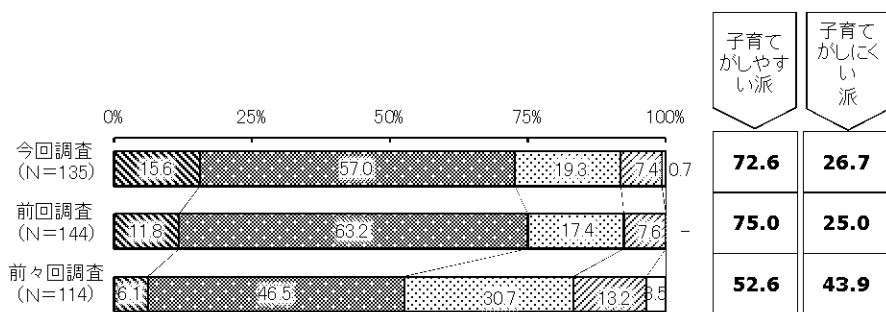
性別でみると、『子育てがしにくい派』は女性が30.1%で男性(20.4%)よりも9.7ポイント高い。

年代別にみると、50歳代、70歳以上で『子育てがしにくい派』が4割以上と他の年代に比べて高い。

小学校区別では、『子育てがしやすい派』は水城小学校区と国分小学校区では8割を超えている。

【次の2問は、中学生までの子どもをお持ちの保護者の方だけにおたずねします。】

問11. あなたは太宰府市では子育てがしやすいと思いますか。(○は1つ)



子育てがしやすい
 どちらかと言えば子育てがしやすい
 どちらかと言えば子育てがしにくい
 子育てがしにくい
 無回答

		標本数	子育てがしやすい (%)	どちらかと言えば子育てがしやすい (%)	どちらかと言えば子育てがしにくい (%)	子育てがしにくい派 (%)	無回答 (%)	子育てがしやすい派 (%)	子育てがしにくい派 (%)
全体		135	15.6	57.0	19.3	7.4	0.7	72.6	26.7
性別	男性	49	16.3	61.2	14.3	6.1	2.0	77.6	20.4
	女性	83	15.7	54.2	21.7	8.4	-	69.9	30.1
	無回答	3	-	66.7	33.3	-	-	66.7	33.3
年代別	20歳代	11	9.1	54.5	18.2	18.2	-	63.6	36.4
	30歳代	64	12.5	53.1	23.4	10.9	-	65.6	34.4
	40歳代	44	25.0	63.6	6.8	2.3	2.3	88.6	9.1
	50歳代	7	14.3	42.9	42.9	-	-	57.1	42.9
	60歳代	7	-	71.4	28.6	-	-	71.4	28.6
	70歳以上	2	-	50.0	50.0	-	-	50.0	50.0
小学校区別	太宰府小学校区	11	18.2	45.5	27.3	-	9.1	63.6	27.3
	太宰府東小学校区	8	37.5	37.5	12.5	12.5	-	75.0	25.0
	太宰府南小学校区	10	10.0	30.0	20.0	40.0	-	40.0	60.0
	水城小学校区	27	14.8	66.7	18.5	-	-	81.5	18.5
	水城西小学校区	25	12.0	56.0	24.0	8.0	-	68.0	32.0
	太宰府西小学校区	18	16.7	61.1	22.2	-	-	77.8	22.2
	国分小学校区	22	9.1	72.7	9.1	9.1	-	81.8	18.2
	わからない	12	25.0	41.7	25.0	8.3	-	66.7	33.3
	無回答	2	-	100.0	-	-	-	100.0	-

(2) 子育てに対する不安や負担感 (問 12)

●子育てに対して『不安派』が54.9%、『安心派』が45.2%。

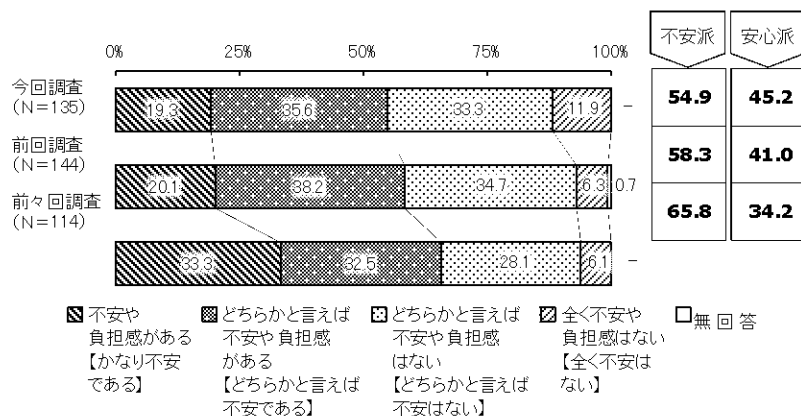
中学生以下の子どもがいる人(135人)の子育てに対する不安や負担感について「不安や負担感がある」は19.3%、「どちらかと言えば不安や負担感がある」が35.6%で、これらを合わせた『不安派』は54.9%となっている。一方、「全く不安や負担感はない」は11.9%で「どちらかと言えば不安や負担感はない」(33.3%)を合わせた『安心派』は45.2%となっている。

経年比較でみると、『不安派』は減少傾向となっている。

性別でみると、男性の『不安派』は55.1%で女性(54.2%)よりも0.9ポイント高い。

年代別にみると、いずれの世代でも『不安派』は5割以上と高くなっているが、特に20歳代と50歳代で6割以上と高い。

問 12. あなたは子育てに関して不安や負担感を感じますか。(○は1つ)



		標本数	不安や負担感がある	どちらかと言えば不安や負担感がある	どちらかと言えば不安や負担感はない	全く不安や負担感はない	無回答	不安派	安心派
全体		135	26	48	45	16	-	74	61
		100.0	19.3	35.6	33.3	11.9	-	54.9	45.2
性別	男性	49	26.5	28.6	32.7	12.2	-	55.1	44.9
	女性	83	14.5	39.8	34.9	10.8	-	54.2	45.8
	無回答	3	33.3	33.3	-	33.3	-	66.7	33.3
年代別	20歳代	11	27.3	36.4	27.3	9.1	-	63.6	36.4
	30歳代	64	15.6	39.1	32.8	12.5	-	54.7	45.3
	40歳代	45	22.2	28.9	35.6	13.3	-	51.1	48.9
	50歳代	7	14.3	57.1	14.3	14.3	-	71.4	28.6
	60歳代	6	33.3	16.7	50.0	-	-	50.0	50.0
	70歳以上	2	-	50.0	50.0	-	-	50.0	50.0
小学校区別	太宰府小学校区	11	18.2	45.5	27.3	-	9.1	63.6	27.3
	太宰府東小学校区	8	37.5	37.5	12.5	12.5	-	75.0	25.0
	太宰府南小学校区	10	10.0	30.0	20.0	40.0	-	40.0	60.0
	水城小学校区	27	14.8	66.7	18.5	-	-	81.5	18.5
	水城西小学校区	25	12.0	56.0	24.0	8.0	-	68.0	32.0
	太宰府西小学校区	18	16.7	61.1	22.2	-	-	77.8	22.2
	国分小学校区	22	9.1	72.7	9.1	9.1	-	81.8	18.2
	わからない	12	25.0	41.7	25.0	8.3	-	66.7	33.3
	無回答	2	-	100.0	-	-	-	100.0	-

3. 高齢者福祉の推進

(1) 生きがいの有無 (問13)

●『充実派』は約8割で、生きがいを「とても感じている」人は増加傾向にある。

65歳以上の人(144人)に生きがいの有無をたずねたところ、「とても感じている」が30.6%、「どちらかと言えば感じている」が50.0%でこれらを合わせた『充実派』は80.6%となっている。一方、「全く感じていない」(3.5%)と「どちらかと言えば感じていない」(11.8%)を合わせた『不満派』は15.3%である。

経年比較でみると、「とても感じている」が増加傾向にある。なお、前回計画と比較して、『不満派』が減少している。

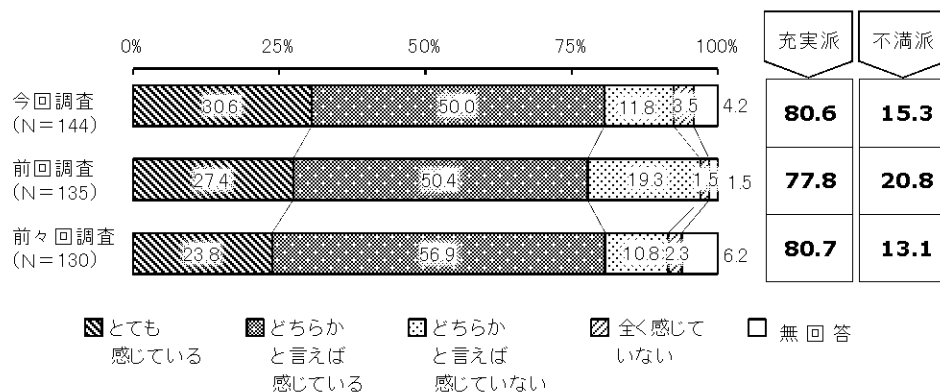
性別でみると、女性に比べ男性の『不満派』が3.3ポイント高くなっている。

年代別にみると、60歳代より70歳以上で『充実派』がやや高い。

小学校区別にみると、太宰府南小学校区・水城小学校区の『充実派』が8割を超えているが、太宰府小学校区では45.5%とめだって低くなっている。

問13. 【65歳以上の方だけにおたずねします】

あなたは日頃から生きがいを感じて生活していますか。(○は1つ)



		標本数	とても感じている	どちらかと言えば感じている	どちらかと言えば感じていない	全く感じていない	無回答	充実派	不満派
全体		144	30.6	50.0	11.8	3.5	4.2	80.6	15.3
性別	男性	81	27.2	53.1	13.6	3.7	2.5	80.2	17.3
	女性	57	36.8	43.9	10.5	3.5	5.3	80.7	14.0
	無回答	6	16.7	66.7	-	-	16.7	83.3	-
60歳代		62	32.3	46.8	12.9	4.8	3.2	79.0	17.7
70歳以上		82	29.3	52.4	11.0	2.4	4.9	81.7	13.4
小学校区別	太宰府小学校区	11	18.2	27.3	18.2	36.4	-	45.5	54.5
	太宰府東小学校区	14	28.6	35.7	7.1	14.3	14.3	64.3	21.4
	太宰府南小学校区	24	41.7	41.7	12.5	4.2	-	83.3	16.7
	水城小学校区	20	40.0	45.0	10.0	-	5.0	85.0	10.0
	水城西小学校区	12	25.0	41.7	25.0	-	-	66.7	25.0
	太宰府西小学校区	17	35.3	23.5	11.8	29.4	-	58.8	41.2
	国分小学校区	30	20.0	43.3	26.7	6.7	-	63.3	33.3
	わからない	9	33.3	55.6	11.1	-	-	88.9	11.1
	無回答	7	28.6	42.9	-	-	28.6	71.4	-

(2) 高齢者福祉サービスの充実度 (問 14)

- 高齢者福祉サービスについて『充実派』は 19.8%、『不足派』は 19.4%。
- 男性や 60 歳以上では『充実派』『不足派』ともに高い。

高齢者福祉サービスの充実度について「そう思う」(1.8%)と「ややそう思う」(18.0%)を合わせた『充実派』が 19.8%、「そう思わない」(3.2%)と「あまりそう思わない」(16.2%)を合わせた『不足派』は 19.4%となっている。全員対象の設問であったが、前問からの続きとみなされているためか 50 歳代までの無回答が多く、高齢者福祉サービスの該当者である 60 歳以上で多く回答されている。

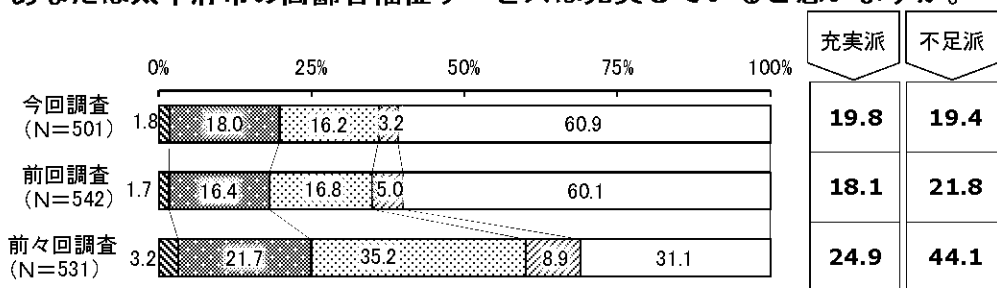
経年比較でみると、『充実派』は前回調査よりもやや増加し、『不足派』は前回調査よりも減少している。

性別にみると、男性は『充実派』『不足派』ともに女性よりも高いが、『不足派』については 22.9%と女性(15.9%)よりも 7ポイント高くなっている。

年代別にみると、30・40・60 歳代で『不足派』が『充実派』より高くなっている。『充実派』は 70 歳以上で 47.6%で最も高くなっている。

小学校区別にみると、太宰府東小学校区と太宰府南小学校区では『不足派』が 3 割以上となり高いが、太宰府南小学校区では『充実派』も約 3 割と他の校区に比べて高くなっている。

問 14. あなたは太宰府市の高齢者福祉サービスは充実していると思いますか。(○は 1 つ)



そう思う
 ややそう思う
 あまりそう思わない
 そう思わない
 無回答

		標本数	そう思う (%)	ややそう思う (%)	あまりそう思わない (%)	そう思わない (%)	無回答 (%)	充実派 (%)	不足派 (%)
全体		501	1.8	18.0	16.2	3.2	60.9	19.8	19.4
性別	男性	227	2.6	18.9	18.9	4.0	55.5	21.6	22.9
	女性	264	1.1	16.7	13.3	2.7	66.3	17.8	15.9
	無回答	10	-	30.0	30.0	-	40.0	30.0	30.0
年代別	20歳代	44	-	13.6	9.1	-	77.3	13.6	9.1
	30歳代	93	-	5.4	7.5	-	87.1	5.4	7.5
	40歳代	75	1.3	12.0	16.0	2.7	68.0	13.3	18.7
	50歳代	75	1.3	5.3	1.3	-	92.0	6.7	1.3
	60歳代	128	1.6	24.2	24.2	6.3	43.8	25.8	30.5
	70歳以上	82	6.1	41.5	30.5	7.3	14.6	47.6	37.8
	無回答	4	-	25.0	25.0	-	50.0	25.0	25.0
小学校区別	太宰府小学校区	47	2.1	10.6	12.8	6.4	68.1	12.8	19.1
	太宰府東小学校区	38	-	15.8	18.4	18.4	47.4	15.8	36.8
	太宰府南小学校区	41	-	29.3	39.0	4.9	26.8	29.3	43.9
	水城小学校区	72	5.6	13.9	12.5	1.4	66.7	19.4	13.9
	水城西小学校区	64	1.6	17.2	12.5	-	68.8	18.8	12.5
	太宰府西小学校区	67	3.0	17.9	13.4	1.5	64.2	20.9	14.9
	国分小学校区	84	-	25.0	20.2	1.2	53.6	25.0	21.4
	わからない	71	-	12.7	8.5	-	78.9	12.7	8.5
	無回答	17	5.9	23.5	17.6	5.9	47.1	29.4	23.5

4. 障がい福祉の推進

(1) 障がい者福祉サービスの充実度 (問 15)

●障がい者福祉サービスについて『不足派』が『充実派』を6.2ポイント上回っている。

障がい者福祉サービスの充実度について「そう思う」(5.4%)と「ややそう思う」(30.7%)を合わせた『充実派』は36.1%である。「そう思わない」(5.2%)と「あまりそう思わない」(37.1%)を合わせた『不足派』は42.3%で『充実派』を6.2ポイント上回っている。

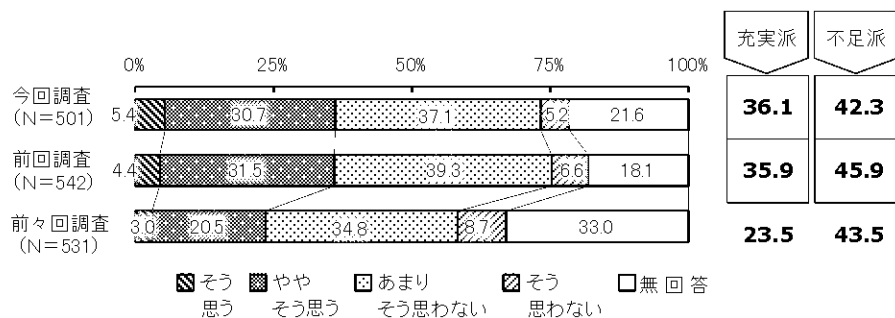
前回調査と比較すると、『充実派』はやや増加し、『不足派』はやや減少している。

性別でみると、高齢者福祉サービスと同様に男性は『充実派』『不足派』ともに女性よりも高く、『不足派』については44.1%と女性(40.9%)よりも3.2ポイントも高い。

年代別にみると、20歳代では『充実派』が47.7%となっているが、30歳代と40歳代では『不足派』が45%を上回っている。

小学校区別にみると、太宰府東小学校区と太宰府南小学校区、国分小学校区では『不足派』が5割を超えている。

問 15. あなたは太宰府市の障がい者福祉サービスは充実していると思いますか。



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	充実派	不足派
全体		501	27	154	186	26	108	181	212
		100.0	5.4	30.7	37.1	5.2	21.6	36.1	42.3
性別	男性	227	7.5	30.0	38.8	5.3	18.5	37.4	44.1
	女性	264	3.4	32.2	36.0	4.9	23.5	35.6	40.9
	無回答	10	10.0	10.0	30.0	10.0	40.0	20.0	40.0
年代別	20歳代	44	2.3	45.5	27.3	-	25.0	47.7	27.3
	30歳代	93	3.2	30.1	41.9	4.3	20.4	33.3	46.2
	40歳代	75	5.3	32.0	44.0	2.7	16.0	37.3	46.7
	50歳代	75	6.7	30.7	34.7	5.3	22.7	37.3	40.0
	60歳代	128	4.7	28.1	37.5	7.8	21.9	32.8	45.3
	70歳以上	82	9.8	26.8	32.9	7.3	23.2	36.6	40.2
	無回答	4	-	25.0	25.0	-	50.0	25.0	25.0
小学校区別	太宰府小学校区	47	4.3	34.0	29.8	8.5	23.4	38.3	38.3
	太宰府東小学校区	38	-	21.1	42.1	13.2	23.7	21.1	55.3
	太宰府南小学校区	41	4.9	31.7	51.2	4.9	7.3	36.6	56.1
	水城小学校区	72	9.7	27.8	36.1	-	26.4	37.5	36.1
	水城西小学校区	64	6.3	34.4	32.8	3.1	23.4	40.6	35.9
	太宰府西小学校区	67	6.0	34.3	31.3	4.5	23.9	40.3	35.8
	国分小学校区	84	6.0	34.5	44.0	6.0	9.5	40.5	50.0
	わからない	71	-	23.9	38.0	5.6	32.4	23.9	43.7
	無回答	17	17.6	35.3	17.6	5.9	23.5	52.9	23.5

(2) 公共施設の配慮に対する意識 (問 16)

●公共施設の配慮について『肯定派』(42.7%)と『否定派』(48.7%)。

公共施設が高齢者や障がい者などに配慮されているかどうかについて「そう思う」(9.4%)と「ややそう思う」(33.3%)を合わせた『肯定派』は42.7%、「そう思わない」(10.6%)と「あまりそう思わない」(38.1%)を合わせた『否定派』は48.7%とやや多い。

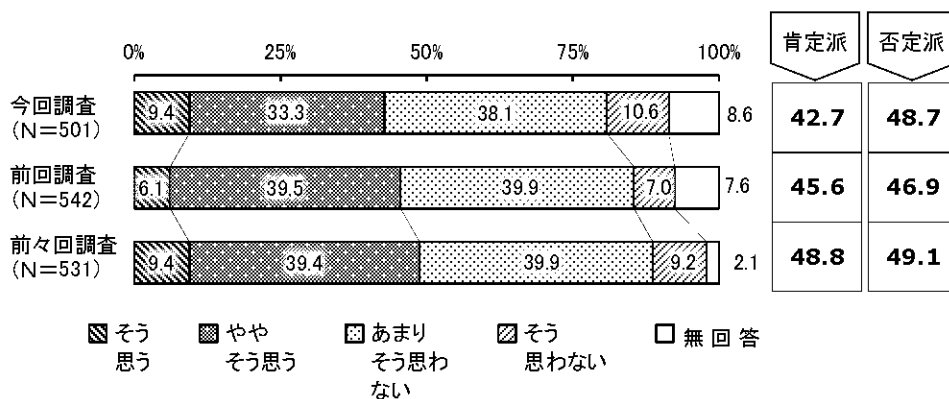
経年比較でみると『肯定派』は減少傾向にある。

性別にみると男性・女性ともに『否定派』が約5割を占めている。

年代別にみると、20歳代で『肯定派』が47.7%と最も高く、40歳代で『否定派』が54.7%と高くなっている。

小学校区別にみると、太宰府南小学校区で『肯定派』が5割を超えている。一方で太宰府東小学校区、水城西小学校区、太宰府西小学校区、国分小学校区では『否定派』が5割を超えている。

問 16. あなたは市内の公共施設(駅、市役所等)が高齢者や障がい者などに配慮されていると思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派	否定派
全体		501	9.4	33.3	38.1	10.6	8.6	42.7	48.7
性別	男性	227	6.1	39.5	39.9	7.0	7.6	45.6	46.9
	女性	264	9.4	39.4	39.9	9.2	2.1	48.8	49.1
	無回答	10	-	-	-	-	-	-	-
年代別	20歳代	44	2.3	45.5	36.4	11.4	4.5	47.7	47.7
	30歳代	93	9.7	31.2	44.1	7.5	7.5	40.9	51.6
	40歳代	75	4.0	36.0	41.3	13.3	5.3	40.0	54.7
	50歳代	75	9.3	36.0	36.0	12.0	6.7	45.3	48.0
	60歳代	128	10.2	30.5	35.9	10.9	12.5	40.6	46.9
	70歳以上	82	17.1	30.5	34.1	9.8	8.5	47.6	43.9
	無回答	4	-	-	50.0	-	50.0	-	50.0
小学校区別	太宰府小学校区	47	6.4	42.6	29.8	8.5	12.8	48.9	38.3
	太宰府東小学校区	38	7.9	31.6	36.8	18.4	5.3	39.5	55.3
	太宰府南小学校区	41	12.2	41.5	34.1	4.9	7.3	53.7	39.0
	水城西小学校区	72	15.3	31.9	40.3	5.6	6.9	47.2	45.8
	水城西小学校区	64	4.7	35.9	40.6	9.4	9.4	40.6	50.0
	太宰府西小学校区	67	10.4	25.4	43.3	9.0	11.9	35.8	52.2
	国分小学校区	84	8.3	32.1	42.9	13.1	3.6	40.5	56.0
	わからない	71	7.0	29.6	36.6	15.5	11.3	36.6	52.1
無回答	17	17.6	41.2	17.6	11.8	11.8	58.8	29.4	

(3) 民間施設の配慮に対する意識 (問 17)

●民間施設の配慮について『否定派』が『肯定派』を約21ポイント上回っている。

民間施設が高齢者や障がい者などに配慮されているかどうかについて「そう思う」(6.4%)と「ややそう思う」(28.3%)を合わせた『肯定派』は34.7%、「そう思わない」(8.6%)と「あまりそう思わない」(47.5%)を合わせた『否定派』は56.1%で民間施設の配慮について『否定派』が『肯定派』を21.4ポイント上回っている。

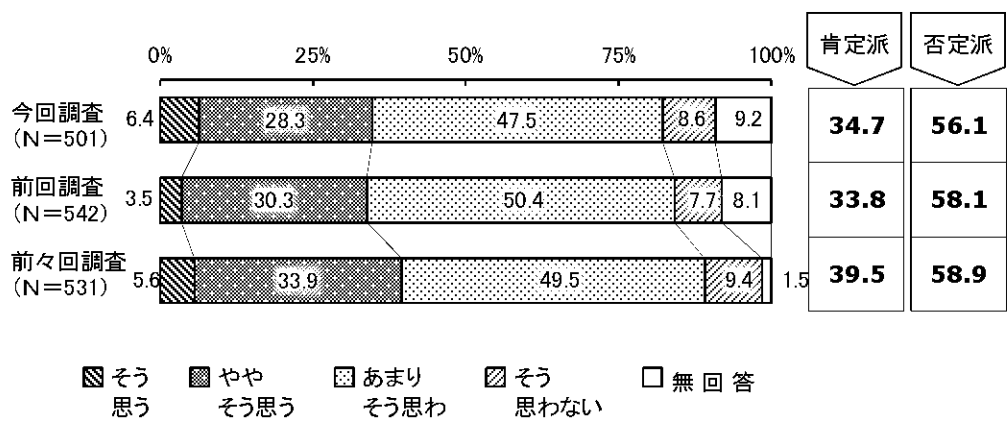
経年比較でみると、大きな変化はないが、『否定派』でやや減少傾向がみられる。

性別でみると、男性・女性ともに『否定派』が5割以上で『肯定派』よりも割合が高い。

年代別みると20歳代と40歳代では『否定派』が6割台と高い。

小学校区別にみると、国分小学校区で『否定派』が66.7%と最も高く、太宰府西小学校区と水城小学校区でも56.7%、58.3%と高い。

問 17. あなたは市内の民間施設（商業施設等）が高齢者や障がい者などに配慮されていると思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わ	そう思わない	無回答	肯定派	否定派
全体		501	6.4	28.3	47.5	8.6	9.2	34.7	56.1
性別	男性	227	7.0	30.0	45.8	9.7	7.5	37.0	55.5
	女性	264	6.1	27.3	49.2	7.2	10.2	33.3	56.4
	無回答	10	-	20.0	40.0	20.0	20.0	20.0	60.0
年代別	20歳代	44	-	34.1	59.1	2.3	4.5	34.1	61.4
	30歳代	93	9.7	30.1	47.3	5.4	7.5	39.8	52.7
	40歳代	75	8.0	26.7	46.7	13.3	5.3	34.7	60.0
	50歳代	75	2.7	32.0	44.0	12.0	9.3	34.7	56.0
	60歳代	128	7.0	28.1	46.1	7.0	11.7	35.2	53.1
	70歳以上	82	7.3	23.2	48.8	9.8	11.0	30.5	58.5
	無回答	4	-	-	25.0	25.0	50.0	-	50.0
小学校区別	太宰府小学校区	47	4.3	34.0	40.4	8.5	12.8	38.3	48.9
	太宰府東小学校区	38	5.3	34.2	42.1	13.2	5.3	39.5	55.3
	太宰府南小学校区	41	12.2	29.3	43.9	7.3	7.3	41.5	51.2
	水城小学校区	72	8.3	26.4	52.8	5.6	6.9	34.7	58.3
	水城西小学校区	64	7.8	32.8	43.8	6.3	9.4	40.6	50.0
	太宰府西小学校区	67	7.5	23.9	50.7	6.0	11.9	31.3	56.7
	国分小学校区	84	3.6	25.0	54.8	11.9	4.8	28.6	66.7
	わからない	71	1.4	26.8	50.7	8.5	12.7	28.2	59.2
	無回答	17	17.6	29.4	17.6	17.6	47.1	35.3	

5. 地域福祉の推進（問18）

●地域での福祉活動が活発に行われているかについて『否定派』は60.7%で、『肯定派』（33.7%）を27ポイント上回っている。

地域での住民相互の支え合いなどによる福祉活動が活発に行われているかどうかについて「そう思う」（5.2%）と「ややそう思う」（28.5%）を合わせた『肯定派』は33.7%、「そう思わない」（11.6%）と「あまりそう思わない」（49.1%）を合わせた『否定派』は60.7%と『否定派』が『肯定派』を27ポイント上回っている。

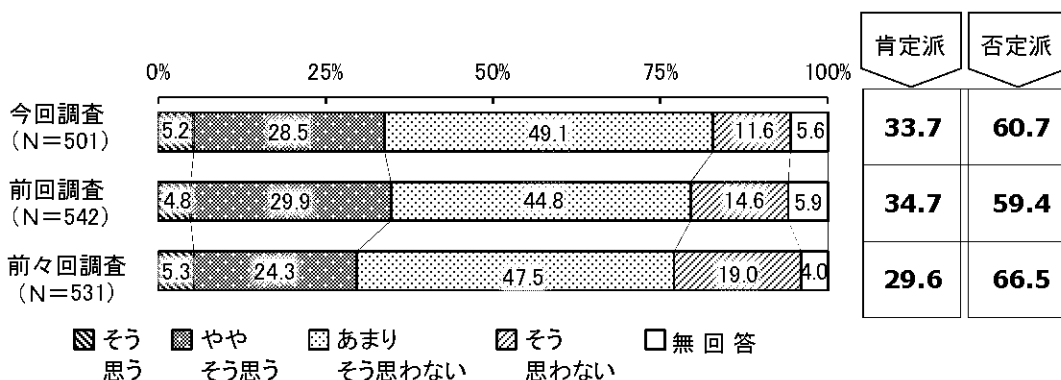
前回調査と比較すると「あまりそう思わない」が4.3ポイント増えており、『否定派』が前回よりも増加している。

性別にみると、男性の方が女性に比べ『否定派』が約5ポイント高い。

年代別にみると、70歳以上で『肯定派』が4割以上と他の年代に比べて高い。

小学校区別にみると、太宰府南小学校区で『肯定派』が4割台と他の小学校区に比べて多い。

問18. あなたがお住まいの地域では、地域での住民相互の支え合いなどによる福祉活動が活発に行われていると思いますか。（○は1つ）



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派	否定派
全体		501	26	143	246	58	28	169	304
性別	男性	227	5.3	27.3	54.2	9.7	3.5	32.6	63.9
	女性	264	4.5	29.2	45.5	13.6	7.2	33.7	59.1
	無回答	10	20.0	40.0	30.0	-	10.0	60.0	30.0
年代別	20歳代	44	4.5	27.3	45.5	18.2	4.5	31.8	63.6
	30歳代	93	4.3	28.0	53.8	11.8	2.2	32.3	65.6
	40歳代	75	5.3	26.7	54.7	9.3	4.0	32.0	64.0
	50歳代	75	4.0	24.0	54.7	12.0	5.3	28.0	66.7
	60歳代	128	3.1	29.7	49.2	12.5	5.5	32.8	61.7
	70歳以上	82	11.0	34.1	36.6	8.5	9.8	45.1	45.1
	無回答	4	-	25.0	25.0	-	50.0	25.0	25.0
小学校区別	太宰府小学校区	47	6.4	21.3	46.8	19.1	6.4	27.7	66.0
	太宰府東小学校区	38	5.3	34.2	50.0	10.5	-	39.5	60.5
	太宰府南小学校区	41	12.2	29.3	53.7	-	4.9	41.5	53.7
	水城小学校区	72	6.9	31.9	50.0	6.9	4.2	38.9	56.9
	水城西小学校区	64	1.6	34.4	42.2	15.6	6.3	35.9	57.8
	太宰府西小学校区	67	3.0	29.9	55.2	7.5	4.5	32.8	62.7
	国分小学校区	84	3.6	29.8	50.0	11.9	4.8	33.3	61.9
	わからない	71	4.2	18.3	50.7	16.9	9.9	22.5	67.6
	無回答	17	11.8	29.4	29.4	17.6	11.8	41.2	47.1

6. 生涯健康づくりの推進

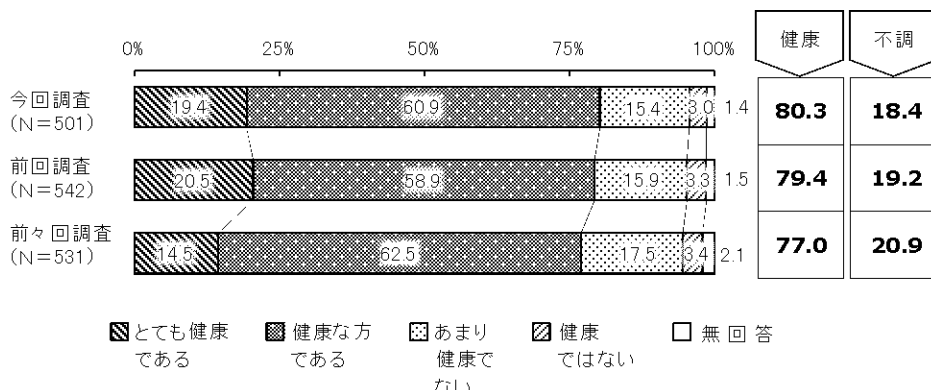
(1) 健康状態 (問 19)

●ここ数週間の健康状態は『健康』が約8割、『不調』が約2割。

ここ数週間の健康状態は「とても健康である」が19.4%、「健康な方である」が60.9%で、これらを合わせた『健康』な人は80.3%となっている。「健康でない」(3.0%)と「あまり健康でない」(15.4%)を合わせた『不調』な人は18.4%である。

経年比較でみると『健康』は毎回増加しており、『不調』と回答する人は減少している。性別でみると、男女ともに約8割が『健康』と回答しており、差はみられない。年代別でみると、年齢が低い層で『健康』と回答している人が多い。

問 19. あなたのここ数週間の健康状態はいかがですか。(○は1つ)



		標本数	とても健康である	健康な方である	あまり健康でない	健康でない	無回答	健康	不調
全体		501	19.4	60.9	15.4	3.0	1.4	80.3	18.4
性別	男性	227	18.9	61.2	14.5	4.8	0.4	80.2	19.4
	女性	264	19.7	59.8	16.7	1.5	2.3	79.5	18.2
	無回答	10	20.0	80.0	-	-	-	100.0	-
年代別	20歳代	44	38.6	45.5	15.9	-	-	84.1	15.9
	30歳代	93	24.7	58.1	15.1	2.2	-	82.8	17.2
	40歳代	75	18.7	65.3	14.7	-	1.3	84.0	14.7
	50歳代	75	14.7	62.7	16.0	4.0	2.7	77.3	20.0
	60歳代	128	15.6	62.5	15.6	4.7	1.6	78.1	20.3
	70歳以上	82	14.6	62.2	15.9	4.9	2.4	76.8	20.7
	無回答	4	-	100.0	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	47	25.5	63.8	4.3	4.3	2.1	89.4	8.5
	太宰府東小学校区	38	23.7	60.5	15.8	-	-	84.2	15.8
	太宰府南小学校区	41	19.5	63.4	12.2	4.9	-	82.9	17.1
	水城小学校区	72	19.4	61.1	16.7	1.4	1.4	80.6	18.1
	水城西小学校区	64	15.6	56.3	21.9	4.7	1.6	71.9	26.6
	太宰府西小学校区	67	22.4	59.7	14.9	1.5	1.5	82.1	16.4
	国分小学校区	84	16.7	65.5	15.5	1.2	1.2	82.1	16.7
	わからない	71	16.9	59.2	16.9	4.2	2.8	76.1	21.1
無回答	17	17.6	52.9	17.6	11.8	-	70.6	29.4	

(2) 健康増進の取り組み状況 (問 20)

●健康増進のための取り組んでいるものが「ある」人は56.1%。健康状態が良好な人ほど「ある」人が多い。

健康増進のために日頃から取り組んでいるものが「ある」人は56.1%と5割以上を占めている。「ない」人は42.1%となっている。

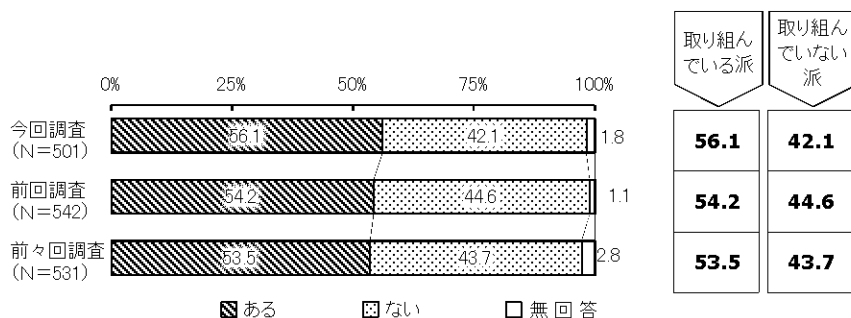
経年比較でみると「ある」と回答する人が1.9ポイント増加している。

性別でみると、男性の方が「ある」と回答する人がやや多い。

年代別にみると、70歳以上で「ある」が最も高く75.6%、60歳代でも68.0%となっており、50歳代以下の年代と比べて高いのがめだっている。

健康状態別にみると、健康状態が良好な人ほど健康増進のための取り組みが「ある」人が多くなっている。

問 20. あなたは健康増進のために日頃から取り組んでいるものがありますか。(○は1つ)



		標本数	ある (%)	ない (%)	無回答 (%)
全体		501	56.1	42.1	1.8
性別	男性	227	59.5	40.1	0.4
	女性	264	53.0	43.9	3.0
	無回答	10	60.0	40.0	-
年代別	20歳代	44	47.7	52.3	-
	30歳代	93	39.8	60.2	-
	40歳代	75	49.3	49.3	1.3
	50歳代	75	45.3	52.0	2.7
	60歳代	128	68.0	30.5	1.6
	70歳以上	82	75.6	19.5	4.9
	無回答	4	75.0	25.0	-
健康状態別	とても健康である	97	62.9	37.1	-
	健康な方である	305	59.0	40.7	0.3
	あまり健康でない	77	45.5	53.2	1.3
	健康ではない	15	33.3	66.7	-
	無回答	7	-	-	100.0
小学校区別	太宰府小学校区	47	48.9	48.9	2.1
	太宰府東小学校区	38	63.2	36.8	-
	太宰府南小学校区	41	53.7	46.3	-
	水城小学校区	72	61.1	37.5	1.4
	水城西小学校区	64	51.6	46.9	1.6
	太宰府西小学校区	67	59.7	38.8	1.5
	国分小学校区	84	56.0	40.5	3.6
	わからない	71	49.3	47.9	2.8
	無回答	17	76.5	23.5	-

(3) 健康診査の受診状況 (問 21)

●この一年間の健康診査の受診率は約7割であるが、女性30歳代の受診率は47.4%と他の年代に比べ低い。

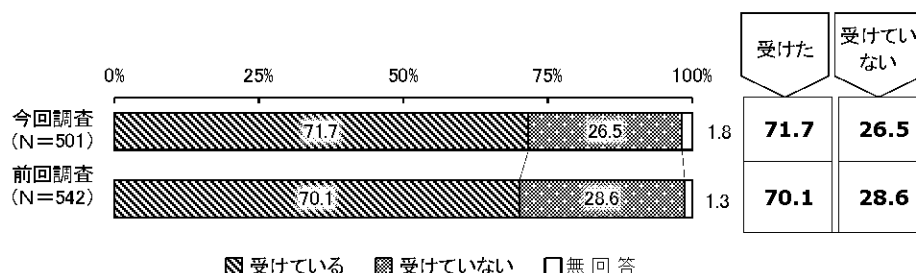
この一年間の健康診査の受診状況は「受けている」が71.7%、「受けていない」は26.5%となっている。

性別・年代別にみると、受診率は20歳代の男性と30歳代の女性が他の年代に比べて低い。

健康状態別にみると、あまり健康でない人の受診率が75.3%、健康ではない人の受診率が73.3%となっており、健康状態が悪いと感じている人の受診率が高くなっている。

小学校区別でみると、区によって大きな差はないが、水城小学校区では68.1%と他の小学校区と比べると、低くなっている。

問 21. あなたはこの一年間に、1回以上健康診査を受けましたか。(○は1つ)



		標本数	受けている (%)	受けていない (%)	無回答 (%)
全体		501	71.7	26.5	1.8
性別・年代別	男性:20歳代	21	52.4	47.6	-
	男性:30歳代	36	77.8	22.2	-
	男性:40歳代	31	87.1	12.9	-
	男性:50歳代	31	96.8	3.2	-
	男性:60歳代	64	73.4	26.6	-
	男性:70歳代以上	44	77.3	18.2	4.5
	女性:20歳代	23	65.2	34.8	-
	女性:30歳代	57	47.4	52.6	-
	女性:40歳代	42	71.4	26.2	2.4
	女性:50歳代	43	58.1	37.2	4.7
女性:60歳代	63	73.0	23.8	3.2	
女性:70歳代以上	34	88.2	5.9	5.9	
無回答	2	100.0	-	-	
健康状態別	とても健康である	97	71.1	28.9	-
	健康な方である	305	72.5	27.5	-
	あまり健康でない	77	75.3	23.4	1.3
	健康ではない	15	73.3	20.0	6.7
	無回答	7	-	-	100.0
小学校区別	太宰府小学校区	47	72.3	25.5	2.1
	太宰府東小学校区	38	73.7	26.3	-
	太宰府南小学校区	41	70.7	26.8	2.4
	水城小学校区	72	68.1	30.6	1.4
	水城西小学校区	64	76.6	21.9	1.6
	太宰府西小学校区	67	73.1	25.4	1.5
	国分小学校区	84	76.2	21.4	2.4
	わからない	71	63.4	33.8	2.8
	無回答	17	70.6	29.4	-

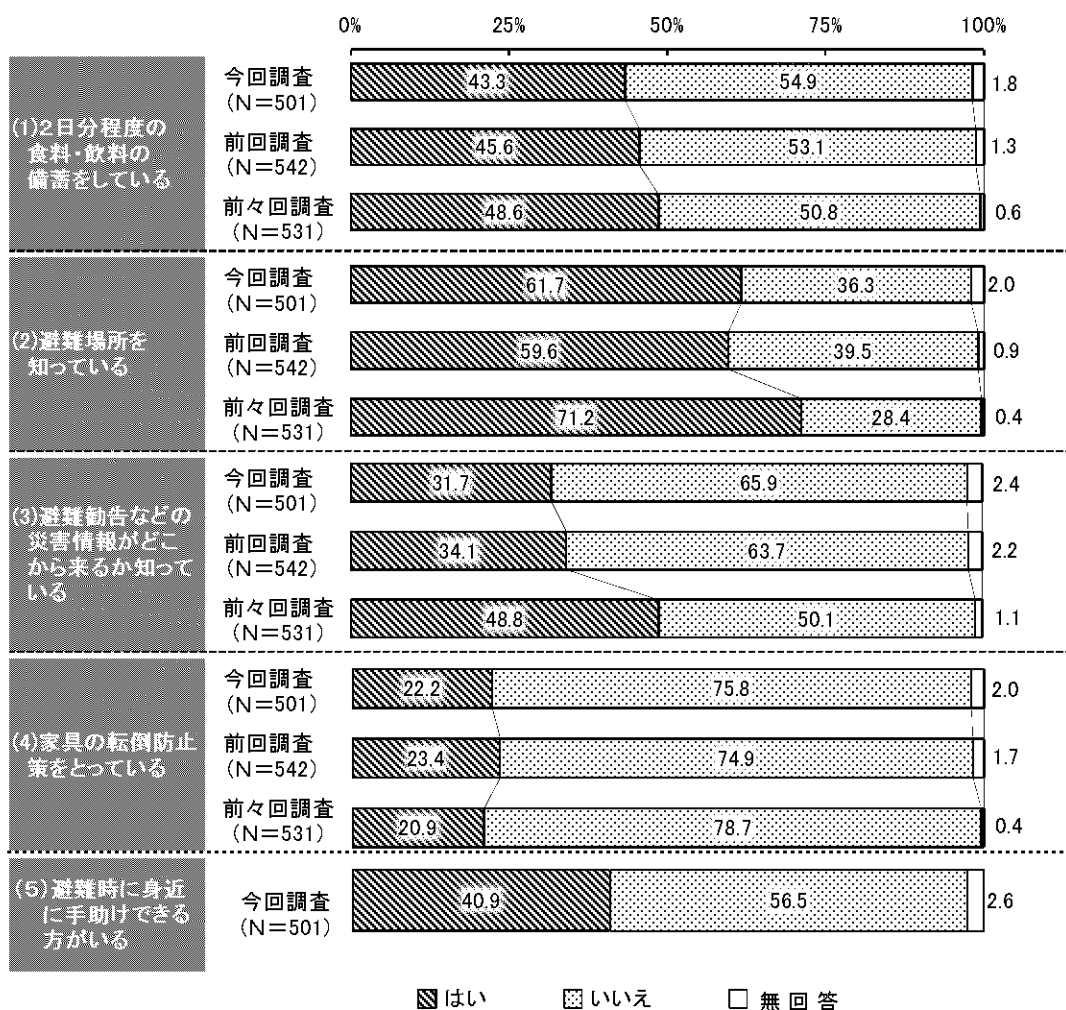
7. 防災・消防体制の整備充実（問 22）

● 「(1) 食料の備蓄」「(3) 災害情報源の認知」「(4) 家具転倒防止策の備え」などは5割以上が実施していない。

日頃の災害に対する備えについて、「(2) 避難場所の認知」(61.7%)、「(1) 食料の備蓄」(43.3%)、「(5) 避難時に身近に手助けできる方がいる」(40.9%) 「(3) 災害情報源の認知」(31.7%)、「(4) 家具転倒防止策の備え」(22.2%) の順で実施率が高くなっているが、「(2) 避難場所の認知」以外は5割を下回っている。

経年比較でみると、「(1) 食料の備蓄」、「(3) 災害情報源の認知」、「(4) 家具の転倒防止策の備え」は減少している。

問 22. あなたは日頃から災害に対する備えをしていますか。以下の項目について、「はい」か「いいえ」のいずれかを選んでください。(〇はそれぞれ1つ)



第2章 調査結果の分析

性別にみると、「(1) 食料の備蓄」は男性(37.0%)に比べ女性(48.9%)が高い。

年代別にみると、いずれの備えも年齢が高い層での実施率が高い。「(5) 避難時に身近に手助けできる方がいる」は20歳代で56.8%と最も高い。

小学校区別にみると、「(2) 避難場所の認知」は太宰府小学校区で40.4%と他の小学校区に比べて低い。なお、校区がわからない人の認知率は32.4%と低い。

(%)

	標本数	(1)2日分程度の食料・飲料の備蓄をしている			(2)避難場所を知っている			(3)避難勧告などの災害情報がどこから来るか知っている			(4)家具の転倒防止策をとっている			(5)避難時に身近に手助けできる方がいる		
		はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答
全体	501	217	275	9	309	182	10	159	330	12	111	380	10	205	283	13
	100.0	43.3	54.9	1.8	61.7	36.3	2.0	31.7	65.9	2.4	22.2	75.8	2.0	40.9	56.5	2.6
性別																
男性	227	37.0	62.1	0.9	61.7	37.4	0.9	33.0	66.1	0.9	23.8	75.8	0.4	38.3	60.4	1.3
女性	264	48.9	48.5	2.7	61.4	35.6	3.0	29.9	66.3	3.8	21.2	75.4	3.4	42.8	53.4	3.8
無回答	10	40.0	60.0	-	70.0	30.0	-	50.0	50.0	-	10.0	90.0	-	50.0	50.0	-
年代別																
20歳代	44	40.9	59.1	-	54.5	45.5	-	6.8	93.2	-	22.7	77.3	-	56.8	43.2	-
30歳代	93	40.9	59.1	-	52.7	47.3	-	18.3	81.7	-	15.1	84.9	-	36.6	63.4	-
40歳代	75	26.7	72.0	1.3	50.7	48.0	1.3	21.3	77.3	1.3	28.0	70.7	1.3	37.3	60.0	2.7
50歳代	75	38.7	60.0	1.3	58.7	40.0	1.3	28.0	69.3	2.7	12.0	85.3	2.7	18.7	78.7	2.7
60歳代	128	50.0	49.2	0.8	76.6	21.9	1.6	47.7	50.8	1.6	27.3	71.9	0.8	48.4	48.4	3.1
70歳以上	82	57.3	35.4	7.3	65.9	26.8	7.3	48.8	42.7	8.5	24.4	68.3	7.3	48.8	45.1	6.1
無回答	4	25.0	75.0	-	50.0	50.0	-	25.0	75.0	-	50.0	50.0	-	50.0	50.0	-
小学校区別																
太宰府小学校区	47	44.7	55.3	-	40.4	59.6	-	19.1	78.7	2.1	19.1	80.9	-	44.7	55.3	-
太宰府東小学校区	38	52.6	47.4	-	76.3	21.1	2.6	42.1	57.9	-	18.4	78.9	2.6	50.0	50.0	-
太宰府南小学校区	41	41.5	53.7	4.9	53.7	41.5	4.9	43.9	53.7	2.4	24.4	73.2	2.4	51.2	46.3	2.4
水城小学校区	72	41.7	55.6	2.8	72.2	25.0	2.8	33.3	63.9	2.8	16.7	81.9	1.4	40.3	56.9	2.8
水城西小学校区	64	43.8	54.7	1.6	65.6	32.8	1.6	29.7	68.8	1.6	21.9	76.6	1.6	35.9	59.4	4.7
太宰府西小学校区	67	40.3	59.7	-	74.6	25.4	-	38.8	59.7	1.5	23.9	76.1	-	43.3	56.7	-
国分小学校区	84	50.0	48.8	1.2	72.6	26.2	1.2	36.9	59.5	3.6	28.6	70.2	1.2	52.4	44.0	3.6
わからない	71	35.2	60.6	4.2	32.4	63.4	4.2	14.1	81.7	4.2	18.3	77.5	4.2	19.7	74.6	5.6
無回答	17	41.2	58.8	-	64.7	35.3	-	35.3	64.7	-	35.3	52.9	11.8	29.4	70.6	-

8. 防犯・暴力追放運動の推進

(1) 防犯面の安心度（問23）

●防犯面について『安心派』は約6割、『不安派』は約4割で、『安心派』は増加傾向にある。

市内の防犯面について「とても安心している」が3.4%、「どちらかと言えば安心している」が56.5%でこれらを合わせた『安心派』は59.9%となっている。一方、「とても不安である」(5.0%)と「どちらかと言えば不安である」(32.9%)を合わせた『不安派』は37.9%で、『安心派』が22ポイント上回っている。

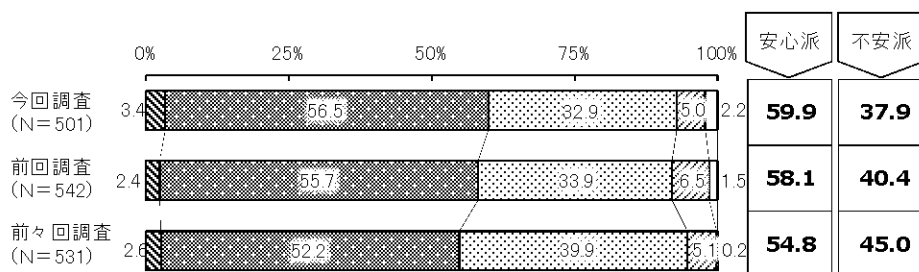
経年比較でみると、『安心派』は増加傾向にあり、前々回調査から5.1ポイント増加している。

性別でみると、男女とも大きな差はない。

年代別でみると、『不安派』は年齢が高い層で低く、70歳以上では36.6%と『安心派』(59.8%)より23.2%低くなっている。

小学校区別でみると、太宰府南小学校区と太宰府西小学校区で『安心派』が約7割と高い。

問23. あなたは市内に住むことに対して防犯の面で安心していますか。(○は1つ)



とても安心している
 どちらかと言えば安心している
 どちらかと言えば不安である
 とても不安である
 無回答

		標本数	とても安心している	どちらかと言えば安心している	どちらかと言えば不安である	とても不安である	無回答	安心派	不安派
全体		501	3.4	56.5	32.9	5.0	2.2	59.9	37.9
性別	男性	227	4.8	55.5	33.5	5.3	0.9	60.4	38.8
	女性	264	2.3	58.0	31.8	4.5	3.4	60.2	36.4
	無回答	10	-	40.0	50.0	10.0	-	40.0	60.0
年代別	20歳代	44	6.8	52.3	34.1	6.8	-	59.1	40.9
	30歳代	93	4.3	54.8	34.4	5.4	1.1	59.1	39.8
	40歳代	75	4.0	49.3	33.3	10.7	2.7	53.3	44.0
	50歳代	75	1.3	53.3	36.0	6.7	2.7	54.7	42.7
	60歳代	128	3.1	64.1	28.9	1.6	2.3	67.2	30.5
	70歳以上	82	2.4	57.3	34.1	2.4	3.7	59.8	36.6
	無回答	4	-	75.0	25.0	-	-	75.0	25.0
小学校区別	太宰府小学校区	47	4.3	55.3	29.8	8.5	2.1	59.6	38.3
	太宰府東小学校区	38	2.6	55.3	39.5	2.6	-	57.9	42.1
	太宰府南小学校区	41	2.4	65.9	31.7	-	-	68.3	31.7
	水城小学校区	72	4.2	51.4	36.1	6.9	1.4	55.6	43.1
	水城西小学校区	64	6.3	54.7	26.6	9.4	3.1	60.9	35.9
	太宰府西小学校区	67	4.5	64.2	31.3	-	-	68.7	31.3
	国分小学校区	84	1.2	53.6	38.1	4.8	2.4	54.8	42.9
	わからない	71	2.8	53.5	31.0	5.6	7.0	56.3	36.6
	無回答	17	-	64.7	29.4	5.9	-	64.7	35.3

第2章 調査結果の分析

(2) 防犯上危険と思う場所（問23付問1）

小学校区	性別	年代	問23付問1 防犯上危険と思われる場所
太宰府	男性	30歳代	住宅地
太宰府	男性	50歳代	三条の道路照明が暗い。
太宰府	女性	50歳代	内山方面に街灯が少ないと思います。
太宰府	女性	60歳代	全体的に街灯が少ない。
太宰府東	女性	40歳代	太宰府東中の正門までの人通りの少ない坂道。竹林と東小の壁のみなので怖い。
太宰府東	女性	70歳代	東小学校、校門前のガードレールに沿った街路樹
太宰府東	女性	50歳代	東ヶ丘～石坂を結ぶ東小学校の通学路。人通りが少ないのにグループ登下校をしていない。心配です。
太宰府東	女性	40歳代	五条駅周辺など車が多い場所に歩道が少ないように思う。
太宰府東	女性	60歳代	東中までの道（太宰府高校入り口から奥）
太宰府南	男性	40歳代	街灯が基本的に暗い。
太宰府南	男性	50歳代	空地の雑木林が多く、人通りの少ない夜間は危険だと思う。
水城	男性	60歳代	夜間西鉄都府楼駅から自宅（榎寺方面）まで帰る途中暗くて怖い。人通りがないため照明を明るくしてください。
水城	男性	70歳代	近隣に遊技場があるので不要です。
水城	女性	60歳代	パチンコ屋が横にあるため。
水城	女性	30歳代	暗いところや、人があまり通らない場所
水城	男性	40歳代	朱雀2丁目の公園、人がいないし汚い。
水城	男性	60歳代	西鉄駅からの道が暗い。
水城	男性	20歳代	危険というか迷惑しているのは、西鉄都府楼前駅のロータリーにたまる中学生たち。見てて非常に嫌な気持ちになる。
水城西	男性	60歳代	向佐野公園周辺の照明が暗すぎる。
水城西	男性	50歳代	西鉄二日市駅周辺及び朱雀地区
水城西	女性	20歳代	水城駅からの水城跡横を通る細い道の街灯が少ない。よく女性の叫び声が聞こえてくる。
水城西	女性	30歳代	高速の高架下付近。暗く人通りも少ないので。
水城西	男性	60歳代	街灯の設置位置が遠い。
水城西	女性	30歳代	マンガ倉庫
水城西	男性	60歳代	夜の照明
水城西	男性	60歳代	夜、公園の明かりが消えて、街灯も少ないので、街灯を増やしてほしい。
水城西	男性	30歳代	JR都府楼南駅～ルミエールに抜ける農道（人の通りはあるが街灯はなく暗い）→いつ事件が起きてもおかしくない
水城西	男性	20歳代	君畑から五条へ向かう道。
太宰府西	女性	60歳代	広い公園があるので、誰かいてもわからないかもしれない。
太宰府西	女性	40歳代	高齢者の一人暮らしや共働き等で昼間人気がない町内
太宰府西	女性	30歳代	大佐野の川や溝。柵が高かったり隙間が大きかったりしているので、子どもが転落しそう。
太宰府西	女性	30歳代	コートドール（大佐野ケーキ屋）付近で若い男性が女子中学生に声をかけていた。→学校に伝えてます
太宰府西	男性	50歳代	西鉄都府楼駅周辺の自転車置場
太宰府西	女性	20歳代	街灯のない、または少ない場所。
太宰府西	男性	50歳代	31号線、スターバックスコーヒー店近くの地下道。暗く人気がない。
国分	男性	60歳代	3号線の地下道は昼間でも通るのがいやという人が多い（通学路になっている）
国分	男性	60歳代	公園（防犯灯を設置する）
国分	男性	30歳代	駅の周辺に駆け込める場所（コンビニ・交番）が少ない。
国分	女性	30歳代	下大利団地内の公園に夜遅くまで若者が集まっているときがある。（スポーツをしている学生は除く）むさし整骨院そばのトンネルやその付近を夜通るのはとても怖い。車がとまっていたり、人が立っていることがあった。
国分	女性	70歳代	町内の集会が夜ありますので、出席するのに不安を感じます。
不明	女性	60歳代	24時間営業の施設（お店）とか
不明	男性	50歳代	駅の近くのアパート
不明	女性	40歳代	大佐野のJR及び高速の高架下は夜間薄暗く、車の音に声がかき消されるので心配。
不明	男性	20歳代	夜不燃物置場が暗すぎる。
不明	男性	50歳代	都府楼駅近くは盗難が多く、もう少し穏やかな町だと思った。

9. 安全な消費生活の推進

(1) 不当請求や不適正な取引行為の被害状況（問24）

●不当請求や不適正な取引行為の被害にあった人は 2.2%。被害はないが不安を感じた人は 15.0%。

この1年間に架空、不当請求や不適正な取引行為の「被害を受けた」人は2.2%、「直接の被害はないが不安を感じた」人は15.0%である。「特になかった」は81.4%であった。

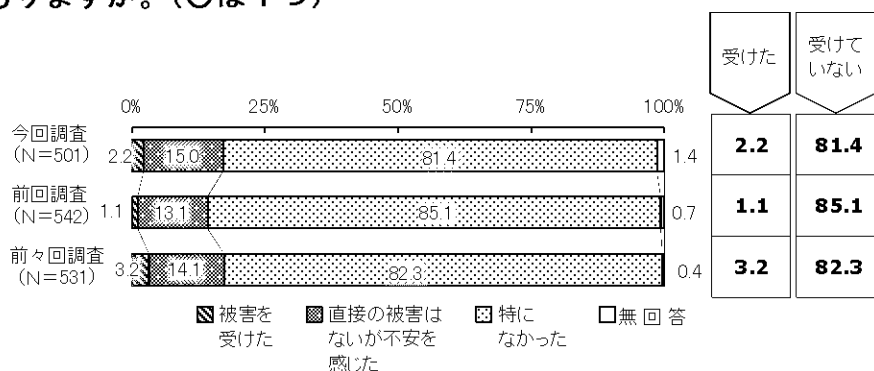
前回調査と比較すると、「被害を受けた」「直接の被害はないが不安を感じた」とともに増加している。

性別でみると、「被害を受けた」は女性が2.7%で男性（1.8%）よりも多い。

性別・年代別でみると、「被害を受けた」のは女性では20歳～50歳代となっている。

小学校区別でみると、太宰府小学校区と国分小学校区では「直接の被害はないが不安を感じた」が2割前後と他の小学校区に比べて高い。なお、水城西小学校区では「被害を受けた」という人が0人であるが、「直接の被害はないが不安を感じた」が18.8%ある。

問24. あなたやあなたの家族が、この1年間に架空・不当請求や不適正な取引行為（点検商法やキャッチセールス等）の被害を受けたり、被害にあいそうな不安を感じたことがありますか。（○は1つ）



		標本数	被害を受けた	直接の被害はないが不安を感じた	特になかった	無回答
全体		501	11	75	408	7
		100.0	2.2	15.0	81.4	1.4
性別	男性	227	1.8	13.7	83.7	0.9
	女性	264	2.7	16.7	78.8	1.9
	無回答	10	-	-	100.0	-
性別・年代別	男性:20歳代	21	-	14.3	85.7	-
	男性:30歳代	36	2.8	11.1	86.1	-
	男性:40歳代	31	-	16.1	83.9	-
	男性:50歳代	31	6.5	12.9	77.4	3.2
	男性:60歳代	64	-	7.8	92.2	-
	男性:70歳代以上	44	2.3	22.7	72.7	2.3
	女性:20歳代	23	4.3	21.7	73.9	-
	女性:30歳代	57	3.5	17.5	78.9	-
	女性:40歳代	42	2.4	19.0	76.2	2.4
	女性:50歳代	43	7.0	20.9	69.8	2.3
	女性:60歳代	63	-	7.9	90.5	1.6
	女性:70歳代以上	34	-	20.6	73.5	5.9
無回答	2	-	-	100.0	-	
小学校区別	太宰府小学校区	47	2.1	19.1	78.7	-
	太宰府東小学校区	38	2.6	15.8	81.6	-
	太宰府南小学校区	41	4.9	9.8	85.4	-
	水城小学校区	72	1.4	12.5	84.7	1.4
	水城西小学校区	64	-	18.8	78.1	3.1
	太宰府西小学校区	67	1.5	11.9	86.6	-
	国分小学校区	84	3.6	20.2	75.0	1.2
	わからない	71	2.8	12.7	80.3	4.2
無回答	17	-	5.9	94.1	-	

(2) 不当請求や不適正な取引行為の具体的な被害（問 24 付問 1）

●「点検商法、訪問販売」の被害や不安が最も高い。

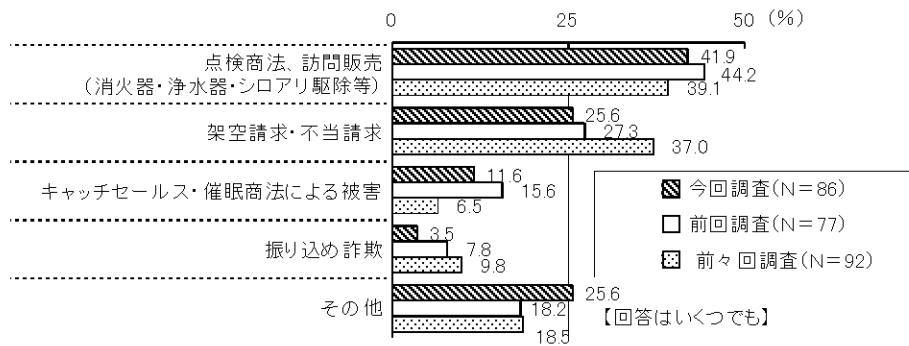
実際に被害を受けた、もしくは不安を感じた人（86人）のその内容は「点検商法、訪問販売（消火器・浄水器・シロアリ駆除等）」が41.9%で最も多い。次いで「架空請求・不当請求」が25.6%、「キャッチセールス・催眠商法による被害」が11.6%となっている。

前回調査に比べると、「その他」以外の被害は減少している。その他については、前回調査より、7.4ポイント高くなっている。

性別でみると女性は「キャッチセールス・催眠商法による被害」の被害が男性よりも14.7ポイント高い。

年代別にみると、「点検商法、訪問販売（消火器・浄水器・シロアリ駆除等）」は40歳代、60歳以上の層で多い。「架空請求・不当請求」は50歳代で多く、「キャッチセールス・催眠商法による被害」は20歳代、「振り込め詐欺」は70歳以上で多い。

問 24 付問 1【被害を受けた・直接の被害はないが不安を感じたと答えた方】におたずねします。具体的には、どのような被害や不安ですか。（○はいくつでも）



	標本数	被害の種類 (%)				
		架空請求・不当請求	シロアリ駆除・浄水器・点検商法・訪問販売	催眠商法による被害	キャッチセールス	振り込め詐欺
全体	86	22	36	10	3	22
	100.0	25.6	41.9	11.6	3.5	25.6
性別						
男性		31.4	48.6	2.9	2.9	14.3
女性		21.6	37.3	17.6	3.9	33.3
無回答		25.6	41.9	11.6	3.5	25.6
年代別						
20歳代		44.4	33.3	33.3	-	22.2
30歳代		29.4	35.3	-	5.9	29.4
40歳代		7.1	50.0	14.3	-	35.7
50歳代		50.0	33.3	16.7	-	22.2
60歳代		10.0	50.0	10.0	-	30.0
70歳以上		11.1	50.0	5.6	11.1	16.7
無回答		25.6	41.9	11.6	3.5	25.6
小学校区別						
太宰府小学校区		20.0	40.0	10.0	-	10.0
太宰府東小学校区		-	57.1	-	-	42.9
太宰府南小学校区		33.3	33.3	16.7	-	16.7
水城小学校区		10.0	50.0	10.0	20.0	30.0
水城西小学校区		41.7	25.0	16.7	8.3	25.0
太宰府西小学校区		22.2	33.3	22.2	-	55.6
国分小学校区		35.0	50.0	10.0	-	20.0
わからない		27.3	45.5	9.1	-	9.1
無回答		-	-	-	-	100.0

10. 人権を尊重するまちづくりの推進

(1) 人権侵害の経験と内容（問 25、付問 1）

●人権を侵害されたことが「ある」人はわずかであるが、経験がある人の中では「障がい者の人権」の侵害が最も多くなっている。

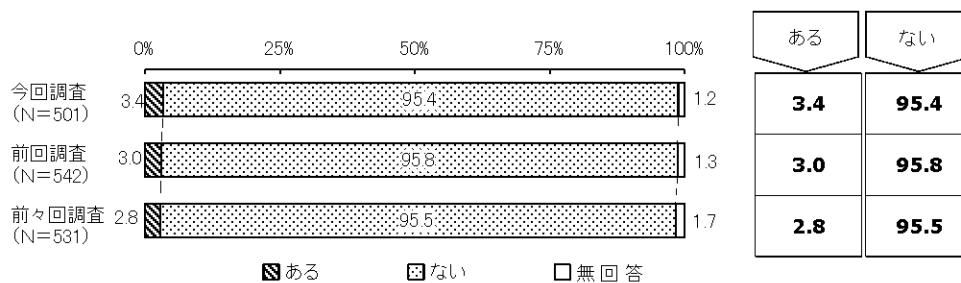
この1年間に人権を侵害されたことが「ある」が3.4%、「ない」が95.4%であり、大半が経験したことがないと回答している。

経年比較でみると、前々回調査から「ある」と回答する人がやや増加している。

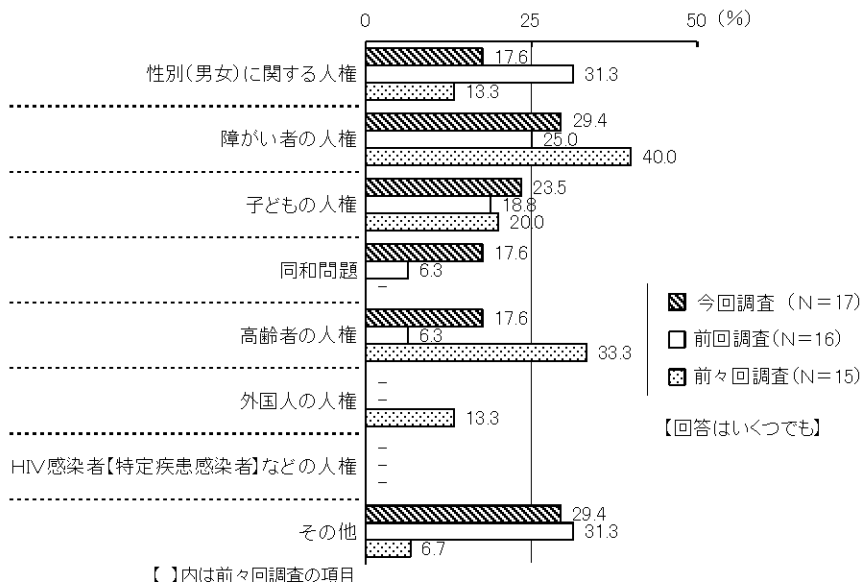
人権を侵害されたことが「ある」と回答した人（17人）の内容をみると、「障がい者の人権」が29.4%で最も多く、次いで「子どもの人権」（23.5%）、「同和問題」・「性別（男女）に関する人権」・「高齢者の人権」（17.6%）となっている。

前回調査と比較でみると、「性別（男女）に関する人権」は13.7ポイント減少している。前々回調査では、「外国人の人権」が13.3%であったが、前回調査・今回調査では、0人となっている。

問 25. あなたやあなたの家族が、この1年間に人権を侵害されたことがありますか。



問 25 付問 1【あると答えた方】におたずねします。それはどのような人権侵害ですか。（〇はいくつでも）



(2) 人権問題への認識 (問 26)

●人権が『尊重されている派』は 75.3%、『尊重されていない派』は 11.6%。前回調査より、『尊重されている派』が約1ポイント減少。

同和問題をはじめとするあらゆる人権が「尊重されている」と思う人は 15.2%で、「どちらかといえば尊重されている」(60.1%)を合わせた『尊重されている派』は 75.3%である。一方、「尊重されていない」(2.4%)と「どちらかといえば尊重されていない」(9.2%)を合わせた『尊重されていない派』は 11.6%となっている。

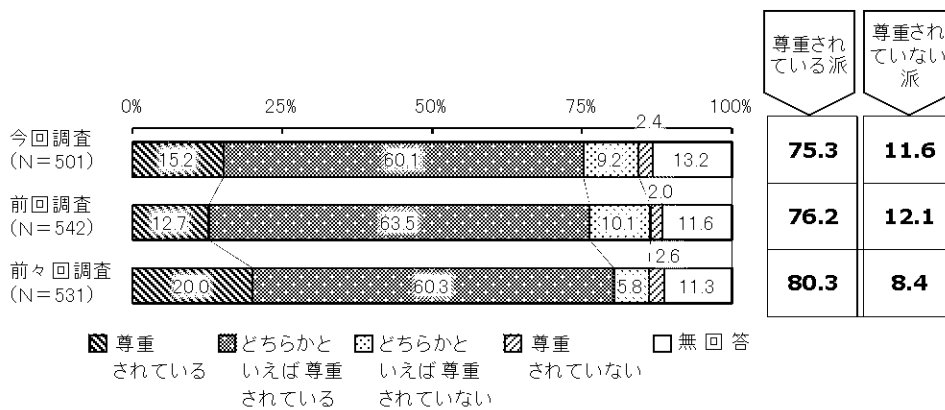
前回調査と比較すると、「尊重されている」は 2.5 ポイント増加しているが、「どちらかといえば尊重されている」は 3.4 ポイント減少し、『尊重されている派』は 0.9 ポイント減少している。

性別にみると、『尊重されている派』は男性 (78.4%)の方が女性 (73.5%)よりも 4.9 ポイント多い。

年代別にみると、『尊重されていない派』は年代が低い層で高い傾向にある。

小学校区別にみると、太宰府南小学校区と水城西小学校区、太宰府西小学校区で『尊重されている派』が8割を超え高い。

問 26. あなたは今の太宰府市では同和問題をはじめ、あらゆる人権が尊重されていると思いますか。(○は1つ)



		標本数	尊重されている	どちらかといえば尊重されている	どちらかといえば尊重されていない	尊重されていない	無回答	尊重されている派 (%)	尊重されていない派 (%)
全体		501	76	301	46	12	66	377	58
		100.0	15.2	60.1	9.2	2.4	13.2	75.3	11.6
性別	男性	227	18.5	59.9	8.8	2.2	10.6	78.4	11.0
	女性	264	12.5	61.0	8.7	2.7	15.2	73.5	11.4
	無回答	10	10.0	40.0	30.0	-	20.0	50.0	30.0
年代別	20歳代	44	15.9	59.1	11.4	6.8	6.8	75.0	18.2
	30歳代	98	11.8	72.0	9.7	2.2	4.3	83.9	11.8
	40歳代	75	14.7	61.3	13.3	2.7	8.0	76.0	16.0
	50歳代	75	10.7	62.7	12.0	1.3	13.3	73.3	13.3
	60歳代	128	17.2	60.2	4.7	2.3	15.6	77.3	7.0
	70歳以上	82	19.5	46.3	7.3	1.2	25.6	65.9	8.5
	無回答	4	25.0	-	25.0	-	50.0	25.0	25.0
小学校区別	太宰府小学校区	47	14.9	57.4	8.5	8.5	10.6	72.3	17.0
	太宰府東小学校区	38	10.5	60.5	13.2	-	15.8	71.1	13.2
	太宰府南小学校区	41	17.1	65.9	7.3	-	9.8	82.9	7.3
	水城西小学校区	72	19.4	54.2	11.1	4.2	11.1	73.6	15.3
	水城西小学校区	64	14.1	63.8	7.8	1.6	7.8	82.8	9.4
	太宰府西小学校区	67	20.9	64.2	3.0	-	11.9	85.1	3.0
	国分小学校区	84	15.5	57.1	11.9	2.4	13.1	72.6	14.3
	わからない	71	9.9	59.2	11.3	2.8	16.9	69.0	14.1
	無回答	17	5.9	47.1	5.9	-	41.2	52.9	5.9

(3) 同和地区に対する差別の認識 (問 27)

●同和地区の差別の原因は「民衆を支配する手段として、支配者によってつくられた」という回答が最も高い。

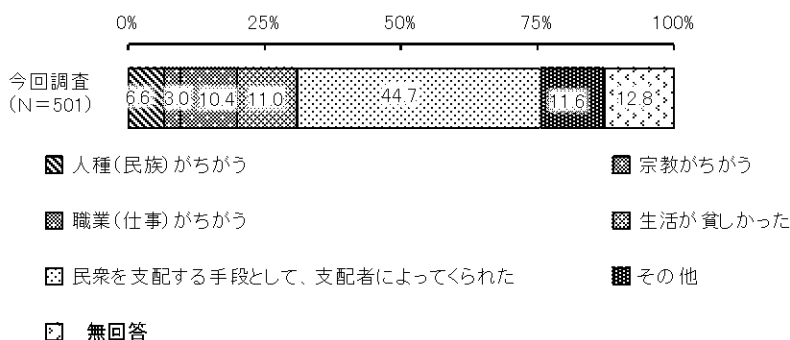
同和地区に対する差別の原因としてどれが正しいと思うか選んでもらったところ、「民衆を支配する手段として、支配者によってつくられた」が44.7%で最も多かったが、次いで「その他」が11.6%であげられている。

性別にみると「民衆を支配する手段として、支配者によってつくられた」は男性が48.9%と女性(41.7%)よりも7.2ポイント多い。

年代別にみると、「民衆を支配する手段として、支配者によってつくられた」は40歳代で49.3%、50歳代で48.0%と他の年代に比べ高い。

小学校区別にみると、国分小学校では「生活が貧しかった」の割合が他の小学校区と比べて高い。太宰府南小学校区では「人種(民族)がちがう」という回答が12.2%と目立って高い。

問 27. あなたは「同和地区」(被差別部落)と、その人々に対する差別がどうしてできたと思いますか。次のどれが正しいと思いますか。(○は1つ)



	標本数	人種(民族)がちがう	宗教が違う	職業(仕事)がちがう	生活が貧しかった	民衆を支配する手段として、支配者によってつくられた	その他	無回答
全体	501	33	15	52	55	224	58	64
性別	100.0	6.6	3.0	10.4	11.0	44.7	11.6	12.8
男性	227	5.7	3.1	11.0	11.9	48.9	7	12
女性	264	7.2	3.0	9.5	10.2	41.7	16	13
無回答	10	10.0	-	20.0	10.0	30.0	-	30
年代別								
20歳代	44	4.5	6.8	6.8	6.8	45.5	18	11
30歳代	93	8.6	3.2	7.5	18.3	46.2	8	9
40歳代	75	6.7	1.3	13.3	14.7	49.3	12	3
50歳代	75	5.3	4.0	12.0	6.7	48.0	13	11
60歳代	128	6.3	2.3	10.2	10.2	45.3	13	13
70歳以上	82	7.3	2.4	12.2	7.3	32.9	9	29
無回答	4	-	-	-	-	75.0	-	25
小学校区別								
太宰府小学校区	47	4.3	6.4	6.4	14.9	34.0	19	15
太宰府東小学校区	38	2.6	-	13.2	7.9	47.4	18	11
太宰府南小学校区	41	12.2	2.4	12.2	7.3	46.3	7	12
水城小学校区	72	9.7	1.4	11.1	8.3	43.1	10	17
水城西小学校区	64	9.4	7.8	7.8	7.8	51.6	13	3
太宰府西小学校区	67	3.0	1.5	9.0	7.5	59.7	9	10
国分小学校区	84	7.1	2.4	14.3	19.0	36.9	6	14
わからない	71	5.6	2.8	8.5	9.9	42.3	18	13
無回答	17	-	-	11.8	17.6	35.3	-	35

(4) 結婚を決めるときの家柄、血筋に対する考え方 (問 28)

●結婚を決めるときの家柄や血筋を問題にすることについて「不合理だから、なくしていかなければならないと思う」が60.7%。

結婚を決めるときの家柄や血筋を問題にする風習について「不合理だから、なくしていかなければならないと思う」が60.7%で最も多い。「おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う」は23.2%、「当然のことと思う (いつも気にしている)」は8.6%となっている。

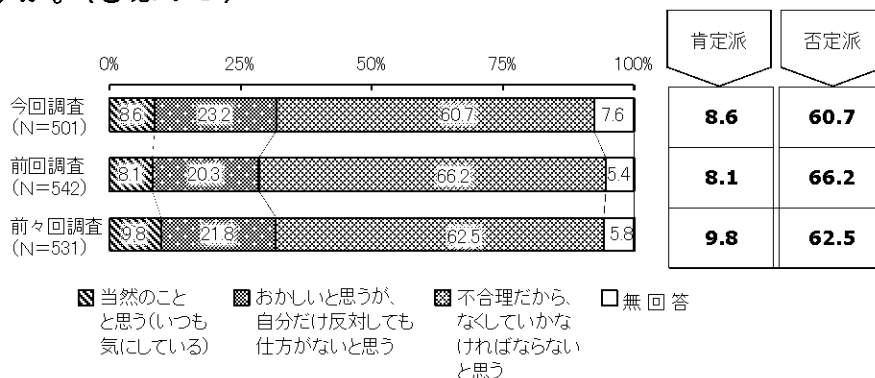
経年比較でみると、「当然のことと思う (いつも気にしている)」は過去2回の調査と比べ大きな差はみられない。

性別でみると、「不合理だから、なくしていかなければならないと思う」は男性(65.2%)の方が女性(57.2%)よりも高い。

年代別にみると、20歳代では「不合理だから、なくしていかなければならないと思う」が72.7%と最も高くなっている。

小学校区別でみると、水城西小学校区では「不合理だから、なくしていかなければならないと思う」が7割を超えて高い。

問 28. あなたは結婚を決めるときに、家柄とか血筋を問題にする風習についてどのように思いますか。(○は1つ)



		標本数	てつとも思える(いつも気にしている)	当然の気(いつも気にしている)	思仕けうお(おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う)	うないら不(不合理だから、なくしていかなければならないと思う)	無回答
全体		501	43	116	304	38	
		100.0	8.6	23.2	60.7	7.6	
性別	男性	227	9.7	18.5	65.2	6.6	
	女性	264	7.6	26.9	57.2	8.3	
	無回答	10	10.0	30.0	50.0	10.0	
年代別	20歳代	44	-	15.9	72.7	11.4	
	30歳代	93	10.8	20.4	64.5	4.3	
	40歳代	75	8.0	26.7	62.7	2.7	
	50歳代	75	6.7	29.3	60.0	4.0	
	60歳代	128	10.9	21.9	56.3	10.9	
	70歳以上	82	9.8	23.2	54.9	12.2	
	無回答	4	-	25.0	75.0	-	
小学校区別	太宰府小学校区	47	8.5	19.1	63.8	8.5	
	太宰府東小学校区	38	18.4	18.4	57.9	5.3	
	太宰府南小学校区	41	14.6	22.0	56.1	7.3	
	水城小学校区	72	4.2	25.0	58.3	12.5	
	水城西小学校区	64	4.7	14.1	76.6	4.7	
	太宰府西小学校区	67	14.9	25.4	53.7	6.0	
	国分小学校区	84	8.3	29.8	59.5	2.4	
	わからない	71	1.4	23.9	63.4	11.3	
無回答	17	11.8	29.4	41.2	17.6		

11. 男女共同参画の推進

(1) 固定的性別役割分担に対する考え方(問29)

●固定的性別役割分担に『同感派』は34.5%、『非同感派』は63.8%。『非同感派』は減少傾向。

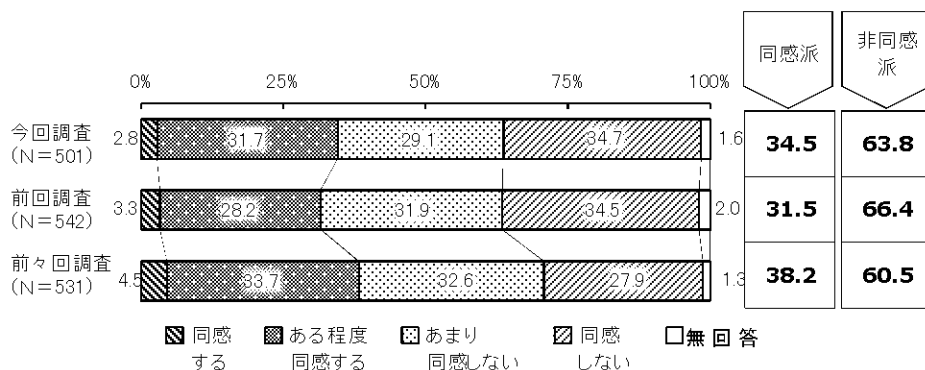
「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担意識に「同感する」は2.8%、「ある程度同感する」は31.7%でこれらを合わせた『同感派』は34.5%である。一方、「同感しない」(34.7%)と「あまり同感しない」(29.1%)を合わせた『非同感派』は63.8%である。

前回調査と比較すると『非同感派』は減少傾向にある。

性別・年代別でみると『非同感派』は男性40歳代の77.4%、女性の30歳代から50歳代では7割以上で高い。

小学校区別にみると、太宰府南小学校区で『非同感派』が73.2%と最も高い。

問29. あなたは「男は仕事、女は家庭」というように、性別によって固定化された役割分業の考え方にどの程度同感しますか。(〇は1つ)



		標本数	同感する	同感する程度	あまり同感しない	同感しない	無回答	同感派	非同感派
全体		501	14	159	146	174	8	173	320
		100.0	2.8	31.7	29.1	34.7	1.6	34.5	63.8
性別	男性	227	3.1	34.8	28.2	32.6	1.3	37.9	60.8
	女性	264	2.7	29.2	29.9	36.4	1.9	31.8	66.3
	無回答	10	-	30.0	30.0	40.0	-	30.0	70.0
性別×年代別	男性:20歳代	21	4.8	28.6	28.6	38.1	-	33.3	66.7
	男性:30歳代	36	-	36.1	22.2	38.9	2.8	36.1	61.1
	男性:40歳代	31	-	22.6	48.4	29.0	-	22.6	77.4
	男性:50歳代	31	6.5	38.7	19.4	35.5	-	45.2	54.8
	男性:60歳代	64	3.1	37.5	29.7	28.1	1.6	40.6	57.8
	男性:70歳以上	44	4.5	38.6	22.7	31.8	2.3	43.2	54.5
	女性:20歳代	23	-	30.4	26.1	43.5	-	30.4	69.6
	女性:30歳代	57	1.8	19.3	31.6	47.4	-	21.1	78.9
	女性:40歳代	42	7.1	19.0	38.1	35.7	-	26.2	73.8
	女性:50歳代	43	-	18.6	30.2	48.8	2.3	18.6	79.1
	女性:60歳代	63	3.2	42.9	30.2	22.2	1.6	46.0	52.4
	女性:70歳以上	34	2.9	47.1	20.6	20.6	8.8	50.0	41.2
無回答	2	-	-	-	100.0	-	-	100.0	
小学校区別	太宰府小学校区	47	2.1	36.2	23.4	36.2	2.1	38.3	59.6
	太宰府東小学校区	38	2.6	23.7	39.5	28.9	5.3	26.3	68.4
	太宰府南小学校区	41	7.3	19.5	51.2	22.0	-	26.8	73.2
	水城小学校区	72	2.8	30.6	31.9	33.3	1.4	33.3	65.3
	水城西小学校区	64	1.6	34.4	21.9	42.2	-	35.9	64.1
	太宰府西小学校区	67	1.5	31.3	32.8	34.3	-	32.8	67.2
	国分小学校区	84	2.4	44.0	21.4	32.1	-	46.4	53.6
	わからない	71	4.2	25.4	26.8	40.8	2.8	29.6	67.6
無回答	17	-	29.4	17.6	41.2	11.8	29.4	58.8	

(2) 男女間の地位の平等感 (問 30)

●男女の地位の平等感は「平等である」が34.1%で、『男性優位』が4割以上。

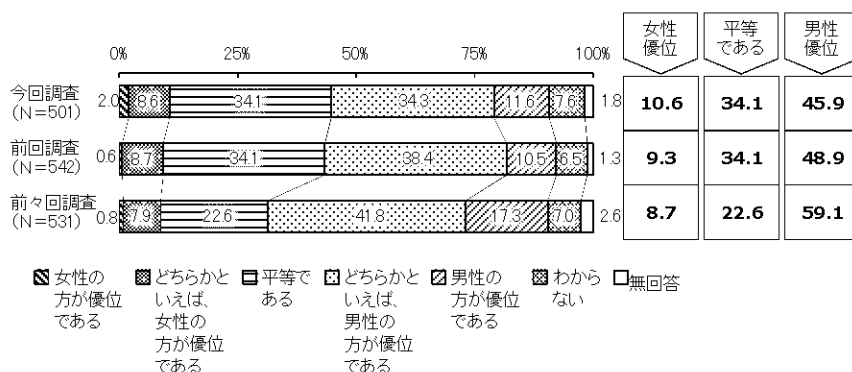
普段の生活の中での男女間の地位の平等について「平等である」は34.1%で、「女性の方が優位である」(2.0%)と「どちらかといえば、女性の方が優位である」(8.6%)を合わせた『女性優位』は10.6%、「男性の方が優位である」(11.6%)と「どちらかといえば、男性の方が優位である」(34.3%)を合わせた『男性優位』は45.9%となっている。

経年比較でみると、『女性優位』は増加傾向にある。

性別・年代別にみると、男性の70歳以上では「平等である」の割合が他の年代に比べて高くなっているが、その他の年代では『男性優位』の方が高くなっている。女性はいずれの年代も『男性優位』の割合が最も高い。なお、男性の20歳代では『女性優位』が2割を超え高くなっている。

小学校区別では、太宰府東小学校区と水城西小学校区で『男性優位』が5割を超えている。

問 30. あなたは普段の生活の中で、男女間の地位の平等について、どのように思いますか。
(○は1つ)



		標本数	女性優位である	どちらかといえば女性の方が優位である	どちらかといえば男性の方が優位である	平等である	男性優位である	わからない	無回答	女性優位 (%)	男性優位 (%)
全体		501	10	43	171	172	58	38	9	53	230
		100.0	2.0	8.6	34.1	34.3	11.6	7.6	1.8	10.6	45.9
性別×年代別	男性:20歳代	21	4.8	19.0	23.8	28.6	14.3	9.5	-	23.8	42.9
	男性:30歳代	36	11.1	8.3	33.3	30.6	8.3	5.6	2.8	19.4	38.9
	男性:40歳代	31	3.2	12.9	29.0	22.6	9.7	22.6	-	16.1	32.3
	男性:50歳代	31	3.2	16.1	32.3	32.3	12.9	3.2	-	19.4	45.2
	男性:60歳代	64	-	9.4	50.0	26.6	7.8	3.1	3.1	9.4	34.4
	男性:70歳以上	44	2.3	9.1	52.3	27.3	-	9.1	-	11.4	27.3
	女性:20歳代	23	-	8.7	34.8	34.8	-	21.7	-	8.7	34.8
	女性:30歳代	57	-	3.5	28.1	36.8	22.8	8.8	-	3.5	59.6
	女性:40歳代	42	-	7.1	35.7	31.0	23.8	2.4	-	7.1	54.8
	女性:50歳代	43	2.3	4.7	27.9	39.5	16.3	7.0	2.3	7.0	55.8
女性:60歳代	63	-	9.5	25.4	49.2	7.9	3.2	4.8	9.5	57.1	
女性:70歳以上	34	2.9	5.9	26.5	35.3	14.7	8.8	5.9	8.8	50.0	
無回答	2	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	47	4.3	6.4	46.8	21.3	12.8	4.3	4.3	10.6	34.0
	太宰府東小学校区	38	-	7.9	26.3	36.8	18.4	5.3	5.3	7.9	55.3
	太宰府南小学校区	41	2.4	2.4	39.0	41.5	4.9	9.8	-	4.9	46.3
	水城西小学校区	72	-	6.9	43.1	37.5	8.3	4.2	-	6.9	45.8
	水城西小学校区	64	1.6	6.3	32.8	37.5	15.6	6.3	-	7.8	53.1
	太宰府西小学校区	67	-	16.4	35.8	28.4	10.4	7.5	1.5	16.4	38.8
	国分小学校区	84	2.4	11.9	31.0	34.5	10.7	7.1	2.4	14.3	45.2
	わからない	71	4.2	8.5	22.5	39.4	14.1	11.3	-	12.7	53.5
	無回答	17	5.9	-	29.4	23.5	5.9	23.5	11.8	5.9	29.4

12. 生涯学習の推進

(1) 生涯学習活動の取り組み状況 (問 31)

●生涯学習の『週1回以上の実施率』は17.2%。

生涯学習活動の取り組みについて「ほとんど取り組んでいない」が64.9%で最も多い。「ほぼ毎日取り組んでいる」(9.0%)や「週に1回程度取り組んでいる」(8.2%)を合わせた『週1回以上の実施率』は17.2%である。

経年比較でみると、『週1回以上の実施率』は前回調査に比べ増加しており、「ほとんど取り組んでいない」が前回調査と同程度となっている。

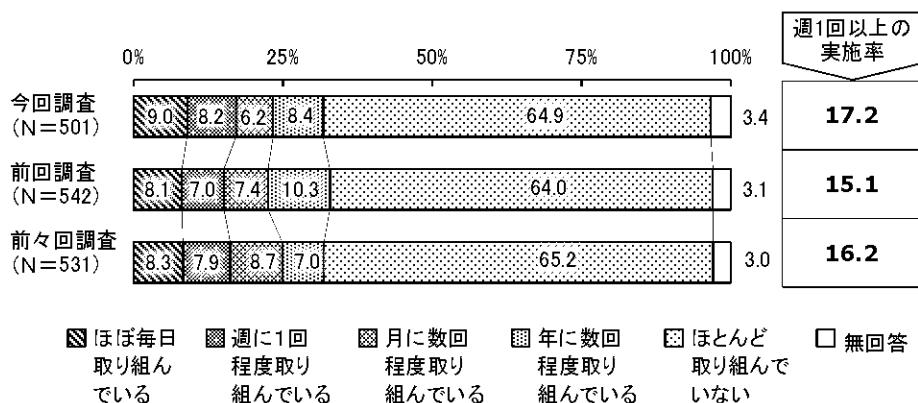
性別でみると、女性の方が「ほとんど取り組んでいない」が68.9%と男性(61.2%)よりも7.7ポイント高い。

年代別にみると『週1回以上の実施率』は年齢が高い層で高く、「ほとんど取り組んでいない」は年齢が低い層で高くなっている。

小学校区別でみると、太宰府東小学校区と国分小学校区では『週1回以上の実施率』が2割を超えている。

問 31. あなたは日頃から学習テーマを持って生涯学習活動に取り組んでいますか。

(○は1つ)



		標本数	ほぼ毎日 取り組んでいる	週に1回 程度取り組 んでいる	月に数回 程度取り組 んでいる	年に数回 程度取り組 んでいる	ほとんど 取り組んで いない	無 回 答	実週 施1 率回 以上 の
全体		501	45	41	31	42	325	17	86
		100.0	9.0	8.2	6.2	8.4	64.9	3.4	17.2
性別	男性	227	11.5	8.4	6.6	10.1	61.2	2.2	19.8
	女性	264	6.8	8.0	5.7	6.8	68.9	3.8	14.8
	無回答	10	10.0	10.0	10.0	10.0	40.0	20.0	20.0
年代別	20歳代	44	11.4	2.3	4.5	15.9	65.9	-	13.6
	30歳代	93	7.5	6.5	5.4	5.4	73.1	2.2	14.0
	40歳代	75	2.7	9.3	6.7	9.3	72.0	-	12.0
	50歳代	75	13.3	4.0	1.3	8.0	73.3	-	17.3
	60歳代	128	9.4	10.2	10.2	9.4	55.5	5.5	19.5
	70歳以上	82	11.0	13.4	6.1	6.1	53.7	9.8	24.4
無回答	4	-	-	-	-	100.0	-	-	
小学校区別	太宰府小学校区	47	6.4	2.1	12.8	8.5	68.1	2.1	8.5
	太宰府東小学校区	38	10.5	13.2	10.5	7.9	47.4	10.5	23.7
	太宰府南小学校区	41	4.9	4.9	7.3	9.8	70.7	2.4	9.8
	水城小学校区	72	4.2	12.5	6.9	9.7	62.5	4.2	16.7
	水城西小学校区	64	9.4	3.1	7.8	10.9	65.6	3.1	12.5
	太宰府西小学校区	67	10.4	4.5	6.0	6.0	73.1	-	14.9
	国分小学校区	84	10.7	11.9	1.2	11.9	61.9	2.4	22.6
	わからない	71	9.9	9.9	4.2	1.4	71.8	2.8	19.7
	無回答	17	23.5	11.8	-	11.8	41.2	11.8	35.3

(2) 運動・スポーツの実施頻度 (問 32)

●運動・スポーツの『週1回以上』の実施率は41.0%、60歳代以上で5割以上と高い。

運動・スポーツを行う頻度について「ほとんど行っていない」が39.5%で最も高い。次いで「ほぼ毎日行っている」が15.6%、「週に2回程度行っている」が14.0%で、『週に1回以上の実施率』は41.0%となっている。

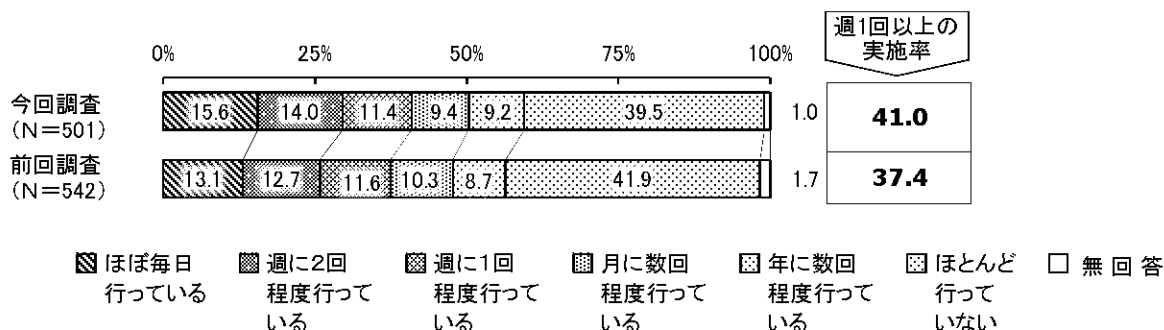
経年比較でみると、「ほとんど行っていない」は減少傾向にあり、『週に1回以上』は増加してきている。

性別でみると、女性は「ほとんど行っていない」が45.1%と男性(33.9%)を11.2ポイント上回っている。男性は『週に1回以上』が44.1%となっている。

年代別みると、『週に1回以上』は60歳代で5割以上と年齢が高い層で高くなる傾向にある。「ほとんど行っていない」は30歳代から50歳代で高い。

小学校区別にみると、太宰府東小学校区で『週に1回以上』が5割以上となり他の小学校区と比べ高い。

問 32. あなたは運動・スポーツをどれくらいの頻度で行っていますか。(○は1つ)



		標本数	ほぼ毎日行っている	週に2回程度行っている	週に1回程度行っている	月に数回程度行っている	年に数回程度行っている	ほとんど行っていない	無回答	週1回以上の実施率 (%)
全体		501	78	70	57	47	46	198	5	205
		100.0	15.6	14.0	11.4	9.4	9.2	39.5	1.0	41.0
性別	男性	227	18.9	15.0	10.1	13.2	8.4	33.9	0.4	44.1
	女性	264	11.4	13.3	12.9	6.1	9.8	45.1	1.5	37.5
	無回答	10	50.0	10.0	-	10.0	10.0	20.0	-	60.0
年代別	20歳代	44	2.3	9.1	18.2	15.9	18.2	36.4	-	29.5
	30歳代	93	3.2	9.7	14.0	11.8	11.8	48.4	1.1	26.9
	40歳代	75	12.0	9.3	12.0	10.7	12.0	44.0	-	33.3
	50歳代	75	8.0	16.0	4.0	10.7	9.3	50.7	1.3	28.0
	60歳代	128	26.6	15.6	10.9	8.6	7.8	28.9	1.6	53.1
	70歳以上	82	29.3	22.0	11.0	2.4	1.2	32.9	1.2	62.2
	無回答	4	25.0	-	25.0	-	-	50.0	-	50.0
小学校区別	太宰府小学校区	47	14.9	6.4	12.8	6.4	14.9	42.6	2.1	34.0
	太宰府東小学校区	38	18.4	18.4	15.8	10.5	13.2	21.1	2.6	52.6
	太宰府南小学校区	41	22.0	19.5	2.4	7.3	4.9	43.9	-	43.9
	水城小学校区	72	12.5	9.7	22.2	8.3	12.5	33.3	1.4	44.4
	水城西小学校区	64	14.1	12.5	7.8	10.9	9.4	45.3	-	34.4
	太宰府西小学校区	67	14.9	17.9	10.4	13.4	6.0	37.3	-	43.3
	国分小学校区	84	16.7	15.5	13.1	10.7	4.8	38.1	1.2	45.2
	わからない	71	11.3	12.7	5.6	8.5	11.3	50.7	-	29.6
	無回答	17	29.4	17.6	5.9	-	5.9	35.3	5.9	52.9

13. 文化芸術の振興（問 33）

●文化芸術活動について「年に数回程度」の実施が主である。

日頃から文化芸術活動をしているかどうかたずねたところ、「ほとんど行っていない」が49.1%で最も高い。実施程度としては「年に数回程度行っている」(33.1%)が主であるが、「ほぼ毎日行っている」「週に1回程度行っている」と「月に数回程度行っている」を合わせた『月数回以上行っている市民の割合』は16.4%となっている。

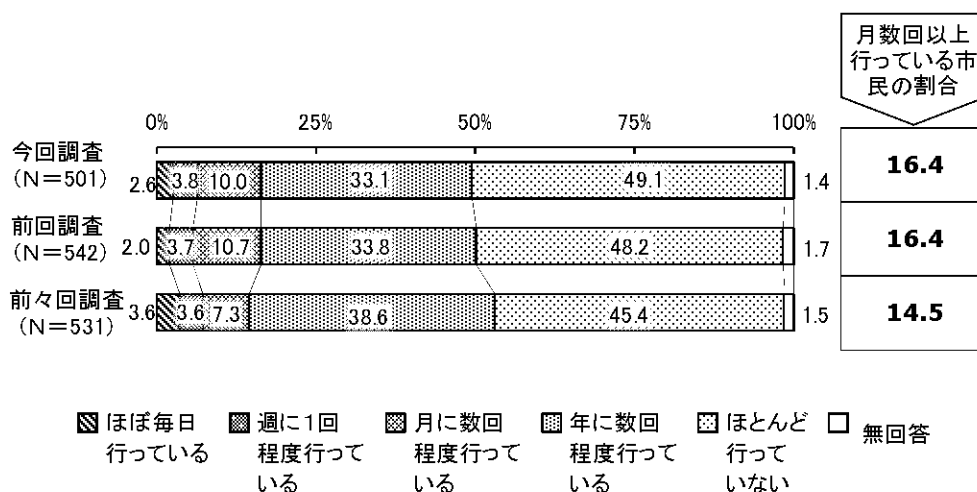
経年比較でみると「ほとんど行っていない」は増加してきており、『月数回以上行っている市民の割合』は前回調査と同じ割合となっている。

性別にみると、男性は「ほとんど行っていない」が53.3%と女性(44.7%)を8.6ポイント上回っており、女性の方が文化芸術活動を行っている割合が高い。

年代別にみると、60歳代で『月数回以上行っている市民の割合』が21.1%と他の年代に比べて高いのが目立つ。40歳代以下では「ほとんど行っていない」が5割を超えている。

小学校区別にみると、太宰府小学校区と太宰府東小学校区では『月数回以上行っている市民の割合』が2割台と高い。

問 33. あなたは日頃から文化芸術活動（鑑賞、参加等を含む）をしていますか。（○は1つ）



		標本数	ほぼ毎日行っている	週に1回程度行っている	月に数回程度行っている	年に数回程度行っている	ほとんど行っていない	無回答	のい上月割る行数合市っ回民て以
全体		501	2.6	3.8	10.0	33.1	49.1	1.4	16.4
性別	男性	227	2.2	2.6	9.7	31.3	53.3	0.9	14.5
	女性	264	3.0	4.9	10.2	35.2	44.7	1.9	18.2
	無回答	10	-	-	10.0	20.0	70.0	-	10.0
年代別	20歳代	44	2.3	4.5	6.8	29.5	56.8	-	13.6
	30歳代	93	-	2.2	6.5	25.8	64.5	1.1	8.6
	40歳代	75	1.3	1.3	9.3	36.0	52.0	-	12.0
	50歳代	75	8.0	6.7	4.0	36.0	45.3	-	18.7
	60歳代	128	2.3	1.6	17.2	35.2	42.2	1.6	21.1
	70歳以上	82	2.4	7.3	9.8	36.6	39.0	4.9	19.5
	無回答	4	-	25.0	25.0	-	50.0	-	50.0
小学校区別	太宰府小学校区	47	4.3	2.1	14.9	27.7	48.9	2.1	21.3
	太宰府東小学校区	38	13.2	2.6	5.3	39.5	36.8	2.6	21.1
	太宰府南小学校区	41	2.4	2.4	12.2	29.3	51.2	2.4	17.1
	水城小学校区	72	-	6.9	4.2	40.3	45.8	2.8	11.1
	水城西小学校区	64	-	1.6	14.1	28.1	56.3	-	15.6
	太宰府西小学校区	67	3.0	3.0	7.5	34.3	52.2	-	13.4
	国分小学校区	84	2.4	3.6	11.9	32.1	47.6	2.4	17.9
	わからない	71	1.4	5.6	8.5	35.2	49.3	-	15.5
	無回答	17	-	5.9	17.6	23.5	52.9	-	23.5

14. 生活環境の向上

(1) 自宅周辺の衛生環境 (問 34)

●約8割の人が自宅周辺の衛生環境を肯定的にとらえている。

自宅周辺の環境が衛生的であるかどうかについて「そう思う」が 25.7%、「ややそう思う」が 51.1%とこれらを合わせた『肯定派』は 76.8%となっている。一方、「そう思わない」(6.0%)と「あまりそう思わない」(16.2%)を合わせた『否定派』は 22.2%である。

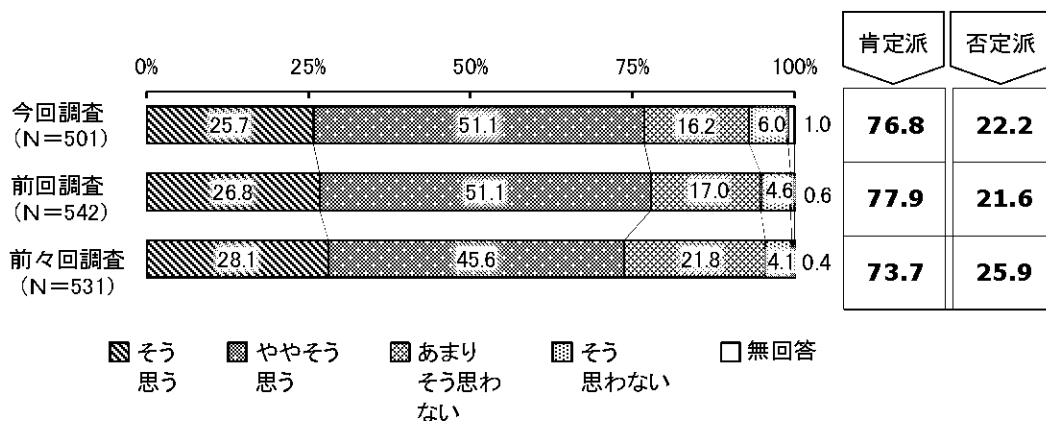
前回調査と比較すると、『肯定派』が 1.1 ポイント減少、『否定派』が 0.6 ポイント増加している。

性別でみると、「ややそう思う」という回答が女性で 55.7%と高いが、男性は 44.9%と低く 10.8 ポイントの差がある。

年代別にみると、70歳以上で『肯定派』が 84.1%と最も高くなっている。

小学校区別にみると、太宰府南小学校区では『肯定派』が 95.1%と最も高い。一方、水城西小学校区では『否定派』が 28.1%と最も高い。

問 34. あなたは自宅周辺の環境は清潔で衛生的だと思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派	否定派
全体		501	129	256	81	30	5	385	111
		100.0	25.7	51.1	16.2	6.0	1.0	76.8	22.2
性別	男性	227	32.2	44.9	15.9	6.6	0.4	77.1	22.5
	女性	264	20.5	55.7	16.7	5.7	1.5	76.1	22.3
	無回答	10	20.0	70.0	10.0	-	-	90.0	10.0
年代別	20歳代	44	36.4	45.5	13.6	4.5	-	81.8	18.2
	30歳代	93	26.9	49.5	16.1	6.5	1.1	76.3	22.6
	40歳代	75	25.3	53.3	16.0	4.0	1.3	78.7	20.0
	50歳代	75	21.3	50.7	22.7	5.3	-	72.0	28.0
	60歳代	128	21.1	50.8	18.8	7.0	2.3	71.9	25.8
	70歳以上	82	31.7	52.4	8.5	7.3	-	84.1	15.9
	無回答	4	-	100.0	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	47	21.3	48.9	17.0	8.5	4.3	70.2	25.5
	太宰府東小学校区	38	34.2	47.4	10.5	5.3	2.6	81.6	15.8
	太宰府南小学校区	41	31.7	63.4	2.4	2.4	-	95.1	4.9
	水城西小学校区	72	27.8	50.0	19.4	2.8	-	77.8	22.2
	水城西小学校区	64	28.1	43.8	20.3	7.8	-	71.9	28.1
	太宰府西小学校区	67	26.9	52.2	13.4	6.0	1.5	79.1	19.4
	国分小学校区	84	20.2	53.6	19.0	6.0	1.2	73.8	25.0
	わからない	71	22.5	52.1	18.3	7.0	-	74.6	25.4
	無回答	17	23.5	47.1	17.6	11.8	-	70.6	29.4

(2) 環境マナーの順守 (問 35)

●地域の環境マナーは『守られている』と思う人は約7割。

地域での環境マナーについて「かなり守られている」が17.2%、「ある程度守られている」が49.9%とこれらを合わせた『守られている』と思っている人は67.1%となっている。一方、「ほとんど守られていない」は9.0%で「あまり守られていない」(23.2%)を合わせた『守られていない』と思っている人は32.2%となっている。

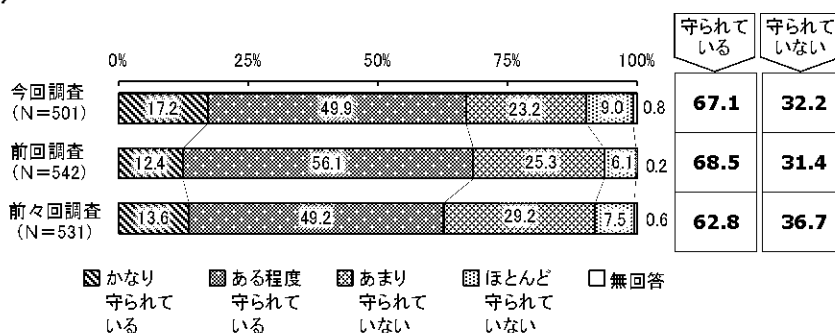
前回調査と比較すると、『守られている』と思っている人は1.4ポイント減少しており、『守られていない』と思っている人は0.8ポイント増加している。

性別にみると、『守られている』と思う男性が68.7%、女性が65.9%となっている。

年代別にみると、20歳代と30歳代、70歳代で環境マナーが『守られている』と思う人が7割以上と多いが、その他の年代では『守られていない』が3割を超えており評価は厳しい。

小学校区別にみると、生活環境と同様に太宰府南小学校区で『守られている』が80.5%と最も高い。一方、太宰府東小学校区では『守られていない』が42.1%と最も高い。

問 35. あなたがお住まいの地域では環境マナー（ごみ出しのマナー、ごみのポイ捨て、犬・猫の飼い方、雑草など空き地の管理、近隣騒音など）が守られていると思いますか。（○は1つ）



		標本数	るらか れな てり い守	い守あ るら れ程 て度	ならあ いれま てり い守	い守ほ ならと いれん てど	無 回 答	い守 るら れて	い守 なら いれて
全体		501 100.0	86 17.2	250 49.9	116 23.2	45 9.0	4 0.8	336 67.1	161 32.2
性別	男性	227	20.7	48.0	23.3	7.5	0.4	68.7	30.8
	女性	264	14.4	51.5	22.7	10.2	1.1	65.9	33.0
	無回答	10	10.0	50.0	30.0	10.0	-	60.0	40.0
年代別	20歳代	44	15.9	59.1	22.7	2.3	-	75.0	25.0
	30歳代	93	14.0	57.0	23.7	5.4	-	71.0	29.0
	40歳代	75	21.3	42.7	28.0	8.0	-	64.0	36.0
	50歳代	75	16.0	48.0	24.0	10.7	1.3	64.0	34.7
	60歳代	128	12.5	49.2	25.8	10.9	1.6	61.7	36.7
	70歳以上	82	25.6	45.1	14.6	13.4	1.2	70.7	28.0
	無回答	4	25.0	75.0	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	47	19.1	44.7	23.4	12.8	-	63.8	36.2
	太宰府東小学校区	38	21.1	34.2	28.9	13.2	2.6	55.3	42.1
	太宰府南小学校区	41	17.1	63.4	19.5	-	-	80.5	19.5
	水城小学校区	72	19.4	50.0	22.2	8.3	-	69.4	30.6
	水城西小学校区	64	12.5	50.0	21.9	14.1	1.6	62.5	35.9
	太宰府西小学校区	67	17.9	56.7	19.4	6.0	-	74.6	25.4
	国分小学校区	84	14.3	48.8	28.6	8.3	-	63.1	36.9
	わからない	71	15.5	52.1	22.5	8.5	1.4	67.6	31.0
	無回答	17	29.4	35.3	17.6	11.8	5.9	64.7	29.4

(3) 美化活動への参加状況 (問 36)

●地域の清掃活動に「いつも参加している」は約5割。年齢が上がるほど参加が多い。

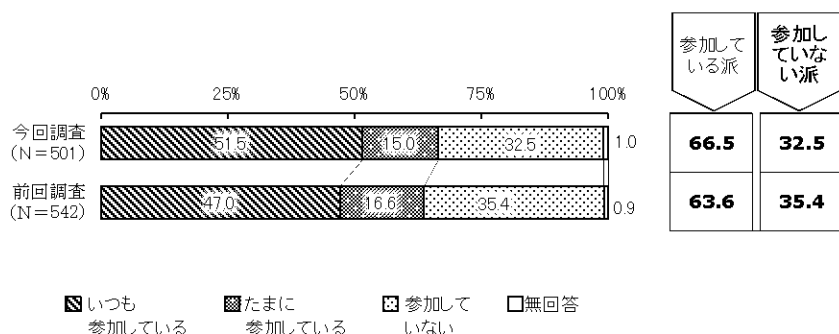
地域一斉の清掃活動への参加について「いつも参加している」が51.5%で最も高い。次いで「参加していない」が32.5%、「たまに参加している」が15.0%となっている。

性別でみると、男女ともに同様の傾向を示している。

年代別みると、「いつも参加している」は60歳以上で高くなっている。反対に「参加していない」は20歳代で63.6%と年齢が低い層で高い。

小学校区別にみると、太宰府東小学校区と太宰府南小学校区、国分小学校区では「いつも参加している」が7割前後と高い。太宰府小学校区では「参加していない」が4割近く他の小学校区に比べて高くなっている。

問 36. あなたは地域一斉清掃活動などの地域の美化活動に参加していますか。(○は1つ)



		標本数	いつも参加している	たまに参加している	参加していない	無回答	参加している派	参加していない派
全体		501	258	75	163	5	66.5	32.5
性別	男性	227	50.2	16.7	32.6	0.4	67.0	32.6
	女性	264	52.3	13.6	32.6	1.5	65.9	32.6
	無回答	10	60.0	10.0	30.0	-	70.0	30.0
年代別	20歳代	44	6.8	29.5	63.6	-	36.4	63.6
	30歳代	93	24.7	15.1	59.1	1.1	39.8	59.1
	40歳代	75	52.0	17.3	30.7	-	69.3	30.7
	50歳代	75	52.0	16.0	32.0	-	68.0	32.0
	60歳代	128	73.4	12.5	12.5	1.6	85.9	12.5
	70歳以上	82	72.0	7.3	18.3	2.4	79.3	18.3
	無回答	4	25.0	25.0	50.0	-	50.0	50.0
小学校区別	太宰府小学校区	47	46.8	14.9	38.3	-	61.7	38.3
	太宰府東小学校区	38	71.1	18.4	7.9	2.6	89.5	7.9
	太宰府南小学校区	41	68.3	9.8	19.5	2.4	78.0	19.5
	水城小学校区	72	50.0	19.4	29.2	1.4	69.4	29.2
	水城西小学校区	64	54.7	14.1	29.7	1.6	68.8	29.7
	太宰府西小学校区	67	52.2	17.9	29.9	-	70.1	29.9
	国分小学校区	84	67.9	9.5	22.6	-	77.4	22.6
	わからない	71	12.7	16.9	69.0	1.4	29.6	69.0
	無回答	17	52.9	11.8	35.3	-	64.7	35.3

15. 自然共生社会の構築（問 37）

●約9割の人が太宰府市の自然は豊かであると感じている。

太宰府市の自然は豊かであるかどうかについて「そう思う」は 49.9%で最も多く、「ややそう思う」(39.3%)を合わせた『肯定派』は 89.2%と約9割を占める。「そう思わない」(1.4%)と「あまりそう思わない」(7.6%)を合わせた『否定派』は 9.0%である。

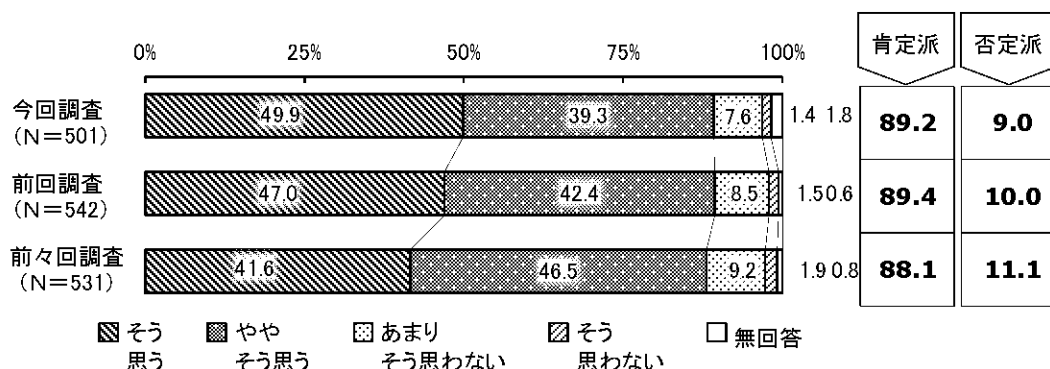
経年比較でみると、『否定派』は減少傾向にある。

性別でみると、男性では『否定派』が 10.1%であるのに対し、女性は 7.6%となっている。

年代別にみると、20歳代・30歳代と70歳以上では『肯定派』が9割を超えている。

小学校区別にみると、太宰府西小学校区では『否定派』が 13.4%と他の小学校区に比べ、多くなっている。

問 37. あなたは太宰府市の自然は豊かであると感じますか。（○は1つ）



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派	否定派
全体		501	250	197	38	7	9	447	45
		100.0	49.9	39.3	7.6	1.4	1.8	89.2	9.0
性別	男性	227	48.5	40.1	8.4	1.8	1.3	88.5	10.1
	女性	264	51.5	38.6	6.4	1.1	2.3	90.2	7.6
	無回答	10	40.0	40.0	20.0	-	-	80.0	20.0
年代別	20歳代	44	47.7	43.2	9.1	-	-	90.9	9.1
	30歳代	93	51.6	41.9	5.4	1.1	-	93.5	6.5
	40歳代	75	50.7	38.7	6.7	2.7	1.3	89.3	9.3
	50歳代	75	52.0	32.0	14.7	1.3	-	84.0	16.0
	60歳代	128	53.1	33.6	7.0	1.6	4.7	86.7	8.6
	70歳以上	82	41.5	51.2	3.7	1.2	2.4	92.7	4.9
	無回答	4	50.0	25.0	25.0	-	-	75.0	25.0
小学校区別	太宰府小学校区	47	46.8	44.7	6.4	2.1	-	91.5	8.5
	太宰府東小学校区	38	52.6	36.8	2.6	-	7.9	89.5	2.6
	太宰府南小学校区	41	39.0	51.2	9.8	-	-	90.2	9.8
	水城小学校区	72	58.3	38.9	1.4	1.4	-	97.2	2.8
	水城西小学校区	64	50.0	40.6	4.7	1.6	3.1	90.6	6.3
	太宰府西小学校区	67	47.8	35.8	11.9	1.5	3.0	83.6	13.4
	国分小学校区	84	54.8	39.3	3.6	-	2.4	94.0	3.6
	わからない	71	45.1	35.2	18.3	1.4	-	80.3	19.7
	無回答	17	47.1	29.4	11.8	11.8	-	76.5	23.5

16. 循環型社会の構築（問 38）

●堆肥化への取り組みに対し『実践派』は22.0%、『非実践派』は76.9%。

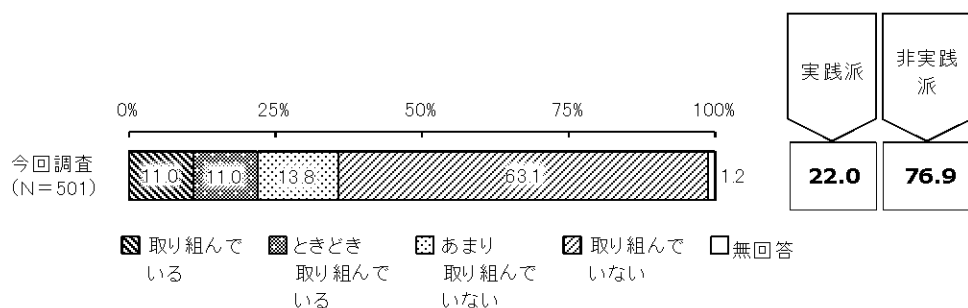
日頃から、生ごみの堆肥化に取り組んでいるかについて「取り組んでいる」の11.0%と「ときどき取り組んでいる」（11.0%）を合わせた『実践派』は22.0%となっている。一方、「取り組んでいない」の63.1%と「あまり取り組んでいない」（13.8%）を合わせた『非実践派』は76.9%となった。

性別でみると、「取り組んでいない」と回答する男性が66.1%と女性（61.0%）より5.1ポイント高い。

年代別にみると、20歳代では『非実践派』が95.5%と高い。70歳以上では『実践派』が39.0%と他の年代に比べても高くなっている。

小学校区別にみると、太宰府東小学校区と国分小学校区では『実践派』が約3割と他の小学校区よりも高い。

問 38. あなたは日頃から、生ごみの堆肥化に取り組んでいますか。（○は1つ）



		標本数	で取り いり る組 ん	で取 と い り き る組 ど ん き	で取 あ い り ま な 組 り い ん	で取 い り な 組 り い ん	無 回 答	実 践 派	非 実 践 派
全体		501	55	55	69	316	6	110	385
		100.0	11.0	11.0	13.8	63.1	1.2	22.0	76.9
性別	男性	227	11.9	10.1	11.0	66.1	0.9	22.0	77.1
	女性	264	10.2	11.7	15.5	61.0	1.5	22.0	76.5
	無回答	10	10.0	10.0	30.0	50.0	-	20.0	80.0
年代別	20歳代	44	2.3	2.3	15.9	79.5	-	4.5	95.5
	30歳代	93	8.6	8.6	10.8	72.0	-	17.2	82.8
	40歳代	75	8.0	4.0	14.7	73.3	-	12.0	88.0
	50歳代	75	13.3	5.3	13.3	68.0	-	18.7	81.3
	60歳代	128	10.2	18.0	13.3	56.3	2.3	28.1	69.5
	70歳以上	82	19.5	19.5	15.9	41.5	3.7	39.0	57.3
	無回答	4	25.0	-	25.0	50.0	-	25.0	75.0
小学校区別	太宰府小学校区	47	8.5	8.5	19.1	63.8	-	17.0	83.0
	太宰府東小学校区	38	13.2	15.8	15.8	52.6	2.6	28.9	68.4
	太宰府南小学校区	41	9.8	17.1	22.0	51.2	-	26.8	73.2
	水城小学校区	72	13.9	12.5	11.1	61.1	1.4	26.4	72.2
	水城西小学校区	64	9.4	6.3	17.2	65.6	1.6	15.6	82.8
	太宰府西小学校区	67	9.0	10.4	9.0	71.6	-	19.4	80.6
	国分小学校区	84	15.5	13.1	11.9	58.3	1.2	28.6	70.2
	わからない	71	7.0	7.0	9.9	74.6	1.4	14.1	84.5
	無回答	17	11.8	11.8	17.6	52.9	5.9	23.5	70.6

17. 低炭素社会の構築

(1) 省エネルギー・省資源の活動について (問 39)

●省エネルギー・資源活動を行っている人は約9割。

節電や節水、エコバックや簡易包装に日頃から行っているかどうかについて「行っている」は40.5%、「ある程度行っている」が45.5%でこれらを合わせた『実践派』は86.0%と約9割を占めている。「ほとんど行っていない」は3.8%とわずかで「あまり行っていない」(9.4%)を合わせた『非実践派』は13.2%である。

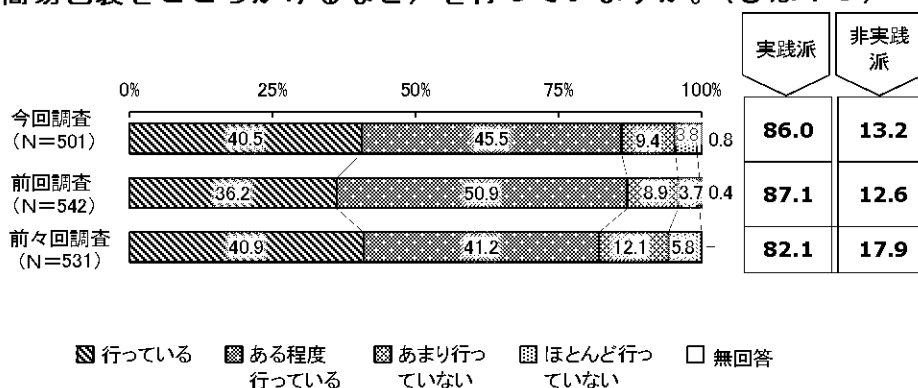
前回調査と比較すると、「行っている」は4.3ポイント増加しているが、「ある程度行っている」が5.4ポイント減少しており『実践派』で見ると1.1ポイント減少している。

性別で見ると、『実践派』の割合は男性が84.1%と女性(88.3%)よりも4.2ポイント低い。

年代別で見ると、『非実践派』は30歳代、40歳代で割合が高くなっている。『実践派』は50歳代で92.0%と最も高くなっている。

小学校区別で見ると、国分小学校区で『実践派』が91.7%と高くなっている。

問 39. あなたは日頃から、省エネルギー・省資源の活動(節電・節水や、エコバックや簡易包装をこころがけるなど)を行っていますか。(〇は1つ)



		標本数	行っている	ある程度行っている	あまり行っていない	ほとんど行っていない	無回答	実践派	非実践派
全体		501	203	228	47	19	4	431	66
		100.0	40.5	45.5	9.4	3.8	0.8	86.0	13.2
性別	男性	227	38.3	45.8	10.1	5.3	0.4	84.1	15.4
	女性	264	42.8	45.5	8.7	1.9	1.1	88.3	10.6
	無回答	10	30.0	40.0	10.0	20.0	-	70.0	30.0
年代別	20歳代	44	36.4	47.7	11.4	4.5	-	84.1	15.9
	30歳代	93	35.5	47.3	15.1	2.2	-	82.8	17.2
	40歳代	75	42.7	38.7	13.3	5.3	-	81.3	18.7
	50歳代	75	44.0	48.0	5.3	2.7	-	92.0	8.0
	60歳代	128	39.8	49.2	6.3	3.1	1.6	89.1	9.4
	70歳以上	82	45.1	39.0	7.3	6.1	2.4	84.1	13.4
	無回答	4	25.0	75.0	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	47	34.0	46.8	14.9	4.3	-	80.9	19.1
	太宰府東小学校区	38	44.7	39.5	5.3	5.3	5.3	84.2	10.5
	太宰府南小学校区	41	39.0	43.9	17.1	-	-	82.9	17.1
	水城小学校区	72	38.9	47.2	9.7	4.2	-	86.1	13.9
	水城西小学校区	64	35.9	50.0	9.4	3.1	1.6	85.9	12.5
	太宰府西小学校区	67	37.3	49.3	11.9	1.5	-	86.6	13.4
	国分小学校区	84	50.0	41.7	6.0	2.4	-	91.7	8.3
	わからない	71	40.8	42.3	7.0	8.5	1.4	83.1	15.5
	無回答	17	41.2	52.9	-	5.9	-	94.1	5.9

(2) 二酸化炭素削減や大気汚染対策の実践 (問 40)

●二酸化炭素排出削減や大気汚染防止のための活動を「ほぼ毎日行っている」人は5割以上である。

アイドリングストップや節電など二酸化炭素排出削減や大気汚染防止のための活動を「ほぼ毎日行っている」人は45.9%と最も多い。「週に1回程度行っている」(11.0%)を合わせた『週1回以上』の実施率は56.9%である。「ほとんど行っていない」は27.3%と全体の4分の1以上を占めている。

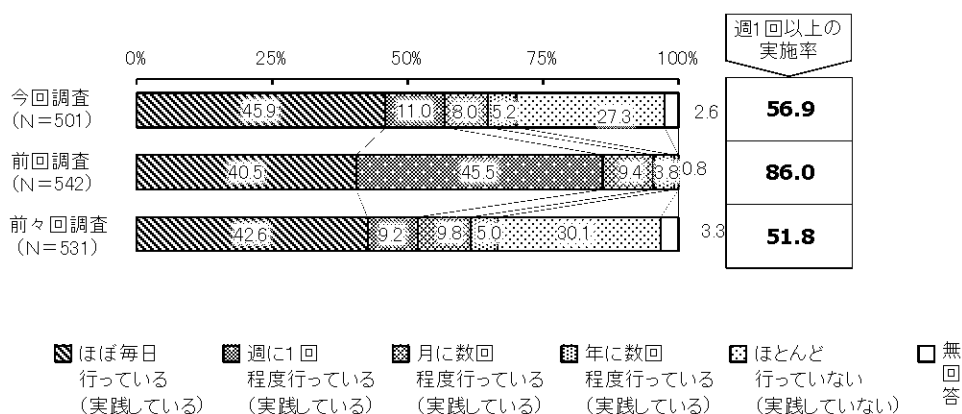
経年比較でみると、「ほぼ毎日行っている」は前回調査に比べ増加している。しかし、「ほとんど行っていない」人も23.5%増加している。

性別でみると、「ほとんど行っていない」男性が30.0%と女性(24.6%)を5.4%上回っている。

年代別にみると、「ほとんど行っていない」は70歳代の34.1%が最も高い。

小学校区別でみると、「ほぼ毎日行っている」は太宰府東小学校区で63.2%と最も高い。

問 40. あなたは日頃からアイドリングストップや節電など、二酸化炭素排出削減や大気汚染防止のための活動を行っていますか。(○は1つ)



() 内は前々回調査の項目

		標本数	ほぼ毎日行っている(実践している)	週に1回程度行っている(実践している)	月に数回程度行っている(実践している)	年に数回程度行っている(実践している)	ほとんど行っていない(実践していない)	無回答	週1回以上の実施率 (%)
全体		501	45.9	11.0	8.0	5.2	27.3	13	56.9
性別	男性	227	42.3	12.8	8.8	4.0	30.0	2.2	55.1
	女性	264	50.0	9.5	7.2	6.1	24.6	2.7	59.5
	無回答	10	20.0	10.0	10.0	10.0	40.0	10.0	30.0
年代別	20歳代	44	47.7	9.1	6.8	6.8	29.5	-	56.8
	30歳代	93	40.9	14.0	11.8	9.7	23.7	-	54.8
	40歳代	75	48.0	10.7	6.7	4.0	30.7	-	58.7
	50歳代	75	45.3	12.0	6.7	5.3	25.3	5.3	57.3
	60歳代	128	49.2	9.4	9.4	3.9	23.4	4.7	58.6
	70歳以上	82	45.1	9.8	4.9	2.4	34.1	3.7	54.9
	無回答	4	25.0	25.0	-	-	50.0	-	50.0
小学校区別	太宰府小学校区	47	38.3	6.4	10.6	4.3	38.3	2.1	44.7
	太宰府東小学校区	38	63.2	5.3	2.6	5.3	21.1	2.6	68.4
	太宰府南小学校区	41	41.5	9.8	12.2	7.3	26.8	2.4	51.2
	水城小学校区	72	45.8	13.9	8.3	2.8	27.8	1.4	59.7
	水城西小学校区	64	35.9	15.6	18.8	3.1	23.4	3.1	51.6
	太宰府西小学校区	67	50.7	13.4	4.5	4.5	22.4	4.5	64.2
	国分小学校区	84	47.6	14.3	4.8	9.5	23.8	-	61.9
	わからない	71	49.3	4.2	5.6	5.6	32.4	2.8	53.5
無回答	17	35.3	11.8	-	-	41.2	11.8	47.1	

18. 環境教育・学習の推進（問 41）

●環境に関する学習会や講習会へ参加したことがある人は1割強。

環境に関する学習会や講習会への参加状況について「参加したことはない」が83.6%で最も多い。「年に1回程度は参加している」（12.4%）や「年に2回以上は参加している」（2.4%）を合わせた『参加率』は14.8%である。

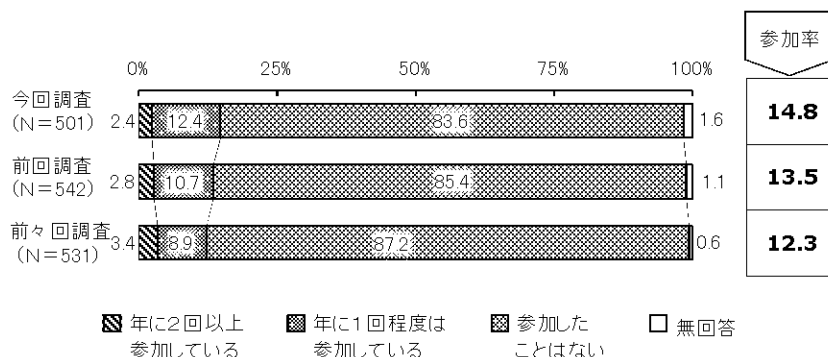
経年比較でみると増加傾向にある。

性別でみると、女性の「参加したことはない」は85.6%で男性（81.9%）よりも3.7ポイント高い。

年代別にみると、『参加率』は40歳代で20.0%と最も高くなっている。

小学校区別でみると太宰府南小学校区では『参加率』が24.4%と他の小学校区に比べて高い。

問 41. あなたはこの1年間で、環境に関する学習会や講演会等に参加したことがありますか。（○は1つ）



		標本数	い上年る参に 加2し回 て以	て度年 いはに る参1 加回 し程	と参 は加 なし いた こ	無 回 答	参 加 率
全体		501	12	62	419	8	74
		100.0	2.4	12.4	83.6	1.6	14.8
性別	男性	227	3.1	13.7	81.9	1.3	16.7
	女性	264	1.9	10.6	85.6	1.9	12.5
	無回答	10	-	30.0	70.0	-	30.0
年代別	20歳代	44	6.8	6.8	86.4	-	13.6
	30歳代	93	1.1	7.5	91.4	-	8.6
	40歳代	75	2.7	17.3	80.0	-	20.0
	50歳代	75	2.7	14.7	81.3	1.3	17.3
	60歳代	128	1.6	12.5	84.4	1.6	14.1
	70歳以上	82	2.4	14.6	76.8	6.1	17.1
	無回答	4	-	-	100.0	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	47	2.1	19.1	78.7	-	21.3
	太宰府東小学校区	38	5.3	5.3	86.8	2.6	10.5
	太宰府南小学校区	41	-	24.4	75.6	-	24.4
	水城小学校区	72	4.2	6.9	86.1	2.8	11.1
	水城西小学校区	64	1.6	14.1	82.8	1.6	15.6
	太宰府西小学校区	67	1.5	16.4	82.1	-	17.9
	国分小学校区	84	3.6	11.9	82.1	2.4	15.5
	わからない	71	1.4	5.6	90.1	2.8	7.0
	無回答	17	-	11.8	88.2	-	11.8

19. 未来に伝える景観づくり

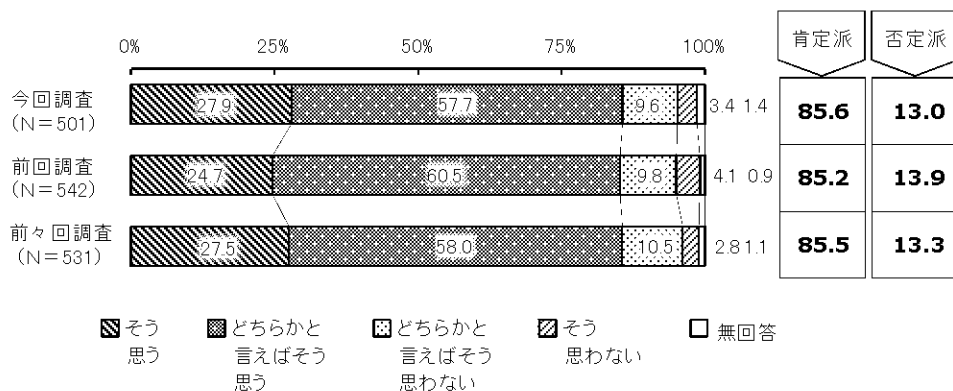
(1) 美しい自然に対する意識 (問 42)

●市内の自然が美しいと感じている人は約 85%。

市内の自然は美しいと思うかどうかについて「そう思う」が 27.9%、「どちらかと言えばそう思う」が 57.7%で、これらを合わせた『肯定派』は 85.6%である。「そう思わない」(3.4%)と「どちらかと言えばそう思わない」(9.6%)を合わせた『否定派』は 13.0%である。

経年比較でも『肯定派』は 85%台で推移しており、大きな変化はみられない。性別でみると、『肯定派』は男性が 82.8%、女性 88.3%となり女性の方が高くなっている。年代別にみると、30歳代で『肯定派』が 90.3%と 9割を超えている。小学校区別にみると、水城小学校区で『肯定派』が 9割を超えている。

問 42. あなたは市内の自然は美しいと思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	思言ど うえち ばら そか うと	思言ど わえち なばら いそか うと	い そう 思わ な	無 回 答	肯 定 派	否 定 派
全体		501	140	289	48	17	7	429	65
		100.0	27.9	57.7	9.6	3.4	1.4	85.6	13.0
性別	男性	227	26.4	56.4	13.7	3.1	0.4	82.8	16.7
	女性	264	29.5	58.7	6.1	3.4	2.3	88.3	9.5
	無回答	10	20.0	60.0	10.0	10.0	-	80.0	20.0
年代別	20歳代	44	38.6	45.5	13.6	-	2.3	84.1	13.6
	30歳代	93	24.7	65.6	6.5	3.2	-	90.3	9.7
	40歳代	75	22.7	61.3	13.3	2.7	-	84.0	16.0
	50歳代	75	28.0	54.7	9.3	8.0	-	82.7	17.3
	60歳代	128	26.6	57.0	10.2	3.1	3.1	83.6	13.3
	70歳以上	82	31.7	57.3	6.1	2.4	2.4	89.0	8.5
	無回答	4	50.0	25.0	25.0	-	-	75.0	25.0
小学校区別	太宰府小学校区	47	34.0	55.3	6.4	4.3	-	89.4	10.6
	太宰府東小学校区	38	26.3	57.9	5.3	7.9	2.6	84.2	13.2
	太宰府南小学校区	41	17.1	63.4	17.1	-	2.4	80.5	17.1
	水城小学校区	72	37.5	56.9	4.2	1.4	-	94.4	5.6
	水城西小学校区	64	20.3	65.6	7.8	3.1	3.1	85.9	10.9
	太宰府西小学校区	67	29.9	53.7	13.4	1.5	1.5	83.6	14.9
	国分小学校区	84	26.2	59.5	11.9	1.2	1.2	85.7	13.1
	わからない	71	29.6	54.9	8.5	5.6	1.4	84.5	14.1
無回答	17	23.5	41.2	17.6	17.6	-	64.7	35.3	

(2) 美しい歴史的景観に対する意識 (問 43)

●歴史的な景観が美しいと感じている人は約9割。

市内の歴史的な景観が美しいと思うかどうかについて「そう思う」が45.9%、「どちらかと言えばそう思う」が45.1%で、これらを合わせた『肯定派』は91.0%と約9割を占めている。「そう思わない」は1.6%とわずかで、「どちらかと言えば思わない」(6.4%)を合わせた『否定派』は8.0%と1割にも満たない。

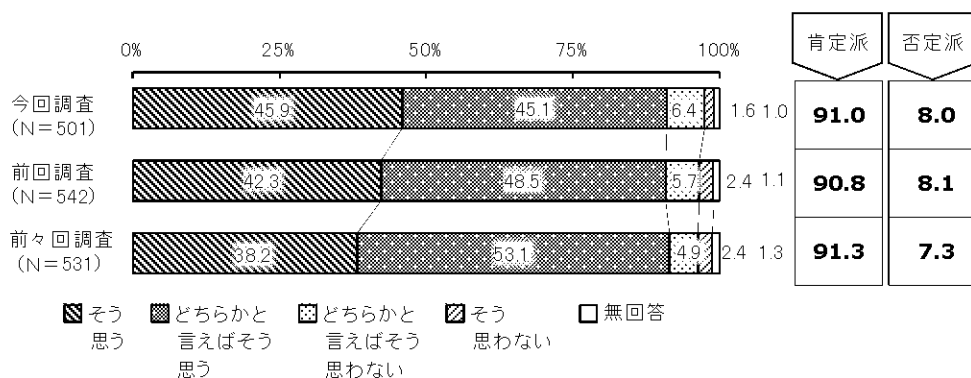
経年比較でみると、『肯定派』は前回調査に比べ増加している。一方、『否定派』は前回調査に比べ減少している。

性別でみると、『否定派』の女性が6.1%に対し、男性が10.1%と4ポイントの差がある。

年代別にみると、50歳代で『否定派』が13.3%と他の年代に比べ高い。

小学校区別にみると、水城小学校区で『肯定派』が97.2%と最も高い。『否定派』は太宰府小学校区で10.6%と高い。

問 43. あなたは史跡地・神社仏閣及びその周辺など、市内の歴史的な景観は美しいと思いますか。(○は1つ)



(%)

	標本数	そう思う	思言ど うえち ばら そかと	思言ど わえち なばら いそかと	い そう 思わ な	無 回 答	肯 定 派	否 定 派
全体	501	45.9	45.1	6.4	1.6	1.0	91.0	8.0
性別								
男性	227	45.4	44.1	8.4	1.8	0.4	89.4	10.1
女性	264	47.3	45.1	4.9	1.1	1.5	92.4	6.1
無回答	10	20.0	70.0	-	10.0	-	90.0	10.0
年代別								
20歳代	44	59.1	31.8	6.8	2.3	-	90.9	9.1
30歳代	93	48.4	46.2	5.4	-	-	94.6	5.4
40歳代	75	45.3	48.0	5.3	1.3	-	93.3	6.7
50歳代	75	44.0	42.7	12.0	1.3	-	86.7	13.3
60歳代	128	42.2	46.9	6.3	1.6	3.1	89.1	7.8
70歳以上	82	43.9	48.8	3.7	2.4	1.2	92.7	6.1
無回答	4	50.0	25.0	-	25.0	-	75.0	25.0
小学校区別								
太宰府小学校区	47	36.2	53.2	8.5	2.1	-	89.4	10.6
太宰府東小学校区	38	47.4	42.1	5.3	2.6	2.6	89.5	7.9
太宰府南小学校区	41	41.5	51.2	7.3	-	-	92.7	7.3
水城小学校区	72	54.2	43.1	2.8	-	-	97.2	2.8
水城西小学校区	64	51.6	43.8	3.1	-	1.6	95.3	3.1
太宰府西小学校区	67	49.3	40.3	7.5	1.5	1.5	89.6	9.0
国分小学校区	84	45.2	46.4	4.8	1.2	2.4	91.7	6.0
わからない	71	43.7	45.1	9.9	1.4	-	88.7	11.3
無回答	17	23.5	41.2	17.6	17.6	-	64.7	35.3

(3) 良好なまちなみに対する意識 (問 44)

●住んでいる地区のまちなみは良好だと思える人は約8割。

住んでいる地区のまちなみが良好だと思えるかどうかについて、「そう思う」が26.1%、「どちらかと言えばそう思う」が54.5%でこれらを合わせた『肯定派』は80.6%である。「そう思わない」は5.6%で、「どちらかと言えばそう思わない」(13.2%)を合わせた『否定派』は18.8%となっている。

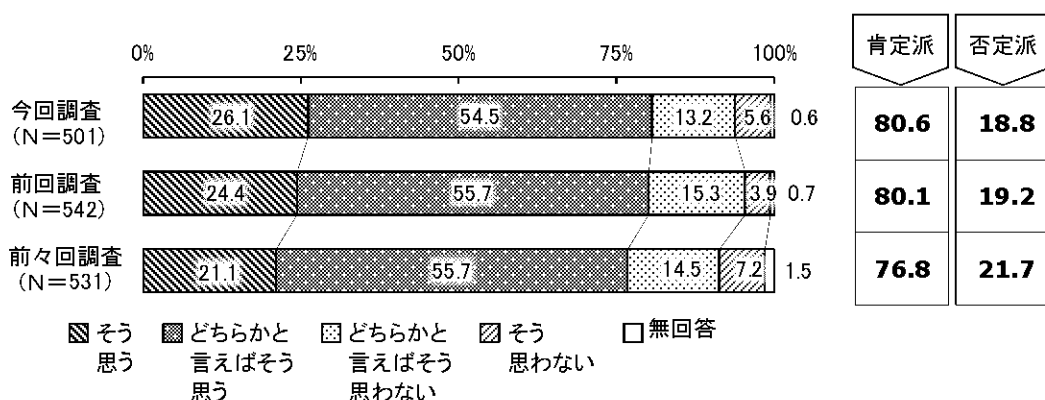
経年比較でみると、『肯定派』はやや増加傾向にある。

性別でみると、女性の『肯定派』は82.2%で男性の79.3%を2.9ポイント上回っている。

年代別にみると、50歳代(69.3%)を除く年代で『肯定派』は8割を超えている。

小学校区別では、太宰府西小学校区で「そう思う」が34.3%と高くなっており『肯定派』が86.6%と最も高くなっている。

問 44. あなたが住んでいる地区は、良好なまちなみだと思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	思言ど うえち ばら そか うと	思言ど わえち なば らそ か うと	いそ う 思 わ な	無 回 答	肯 定 派	否 定 派
全体		501	131	273	66	28	3	404	94
性別	男性	227	26.4	52.9	15.9	4.4	0.4	79.3	20.3
	女性	264	26.5	55.7	10.2	6.8	0.8	82.2	17.0
	無回答	10	10.0	60.0	30.0	-	-	70.0	30.0
年代別	20歳代	44	31.8	52.3	6.8	9.1	-	84.1	15.9
	30歳代	93	30.1	57.0	8.6	4.3	-	87.1	12.9
	40歳代	75	28.0	52.0	14.7	5.3	-	80.0	20.0
	50歳代	75	21.3	48.0	21.3	8.0	1.3	69.3	29.3
	60歳代	128	24.2	57.8	11.7	4.7	1.6	82.0	16.4
	70歳以上	82	25.6	54.9	14.6	4.9	-	80.5	19.5
無回答	4	-	75.0	25.0	-	-	75.0	25.0	
小学校区別	太宰府小学校区	47	21.3	57.4	10.6	10.6	-	78.7	21.3
	太宰府東小学校区	38	21.1	60.5	10.5	5.3	2.6	81.6	15.8
	太宰府南小学校区	41	24.4	61.0	14.6	-	-	85.4	14.6
	水城小学校区	72	27.8	56.9	9.7	5.6	-	84.7	15.3
	水城西小学校区	64	28.1	48.4	14.1	7.8	1.6	76.6	21.9
	太宰府西小学校区	67	34.3	52.2	10.4	3.0	-	86.6	13.4
	国分小学校区	84	22.6	57.1	15.5	4.8	-	79.8	20.2
	わからない	71	26.8	50.7	15.5	7.0	-	77.5	22.5
	無回答	17	23.5	41.2	23.5	5.9	5.9	64.7	29.4

20. 計画的なまちづくりの推進

(1) 住環境の快適さについての認識 (問 45)

●都市基盤が整備され快適な住環境であると思う人は7割以上。

住まい周辺の道路や公園などの都市基盤が整備され快適な住環境であるかどうかについて、「そう思う」が18.4%、「どちらかと言えばそう思う」が52.1%で、これらを合わせた『肯定派』は70.5%となっている。一方、「そう思わない」(9.8%)と「どちらかと言えばそう思わない」(19.2%)を合わせた『否定派』は29.0%となっている。

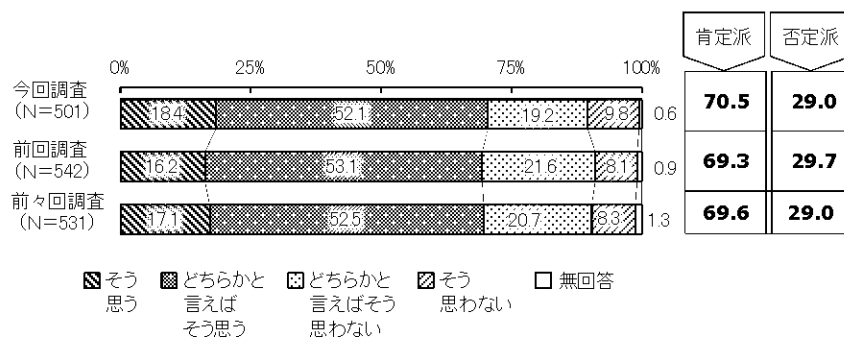
前回調査と比較すると、『肯定派』が1.2ポイント増加、『否定派』が0.7ポイント減少している。

性別でみると、『肯定派』は女性が75.4%であるのに対して、男性は65.2%となっている。

年代別にみると、『否定派』は30歳代と50歳代で3割を上回っている。

小学校区別でみると、太宰府南小学校区と水城小学校区、太宰府西小学校区では『肯定派』が8割以上と高い。一方、太宰府小学校区では、『否定派』が46.8%と最も高い。

問 45. あなたのお住まいの周辺地域は、道路や公園などの都市基盤が整えられるなど、快適で住環境がよいところだと思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派 (%)	否定派 (%)
全体		501	92	261	96	49	3	70.5	29.0
性別	男性	227	18.5	46.7	22.9	11.0	0.9	65.2	33.9
	女性	264	18.9	56.4	15.5	8.7	0.4	75.4	24.2
	無回答	10	-	60.0	30.0	10.0	-	60.0	40.0
年代別	20歳代	44	25.0	47.7	20.5	6.8	-	72.7	27.3
	30歳代	93	16.1	52.7	17.2	14.0	-	68.8	31.2
	40歳代	75	14.7	58.7	20.0	6.7	-	73.3	26.7
	50歳代	75	12.0	50.7	24.0	13.3	-	62.7	37.3
	60歳代	128	21.1	50.0	18.0	9.4	1.6	71.1	27.3
	70歳以上	82	23.2	51.2	18.3	6.1	1.2	74.4	24.4
	無回答	4	-	75.0	-	25.0	-	75.0	25.0
小学校区別	太宰府小学校区	47	14.9	38.3	29.8	17.0	-	53.2	46.8
	太宰府東小学校区	38	7.9	47.4	26.3	15.8	2.6	55.3	42.1
	太宰府南小学校区	41	14.6	68.3	14.6	2.4	-	82.9	17.1
	水城小学校区	72	16.7	66.7	13.9	2.8	-	83.3	16.7
	水城西小学校区	64	31.3	34.4	26.6	6.3	1.6	65.6	32.8
	太宰府西小学校区	67	28.4	61.2	6.0	4.5	-	89.6	10.4
	国分小学校区	84	14.3	51.2	22.6	11.9	-	65.5	34.5
	わからない	71	15.5	52.1	18.3	14.1	-	67.6	32.4
	無回答	17	11.8	35.3	17.6	29.4	5.9	47.1	47.1

(2) 商業施設等の利便性に対する意識 (問 46)

- 商業施設等が周辺にあり、利便性を感じている人は約7割。
- 小学校区によって利便性に差がみられる。

商店や学校、病院等が周辺にあり、生活するうえで便利だと思うかについて、「そう思う」が27.3%、「どちらかと言えばそう思う」が43.3%でこれらを合わせた『肯定派』は70.6%である。「そう思わない」(11.2%)と「どちらかと言えばそう思わない」(16.8%)を合わせた『否定派』は28.0%である。

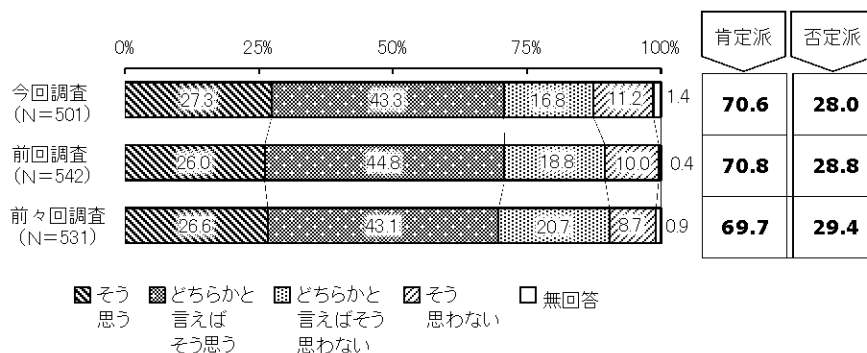
前回調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。

性別でみると、女性の方が「そう思う」という強い意識が32.2%と男性(22.0%)より10.2ポイント高い。

年代別でみると、年齢が低い層で『肯定派』は高い傾向にあり、特に20歳代では88.6%と最も高い。

小学校区別でみると、太宰府西小学校区では『肯定派』が8割を超えているが、太宰府東小学校区と国分小学校区では『否定派』が4割近く、小学校区によって差がみられる。

問 46. あなたは商店や学校、病院等が周辺にあり、生活するうえで便利だと思いますか。
(○は1つ)



		標本数	そう思う	どちらか と言えば そう思う	どちらか と言えば そう思わない	そう 思わない	無回答	肯定派	否定派
全体		501	137	217	84	56	7	354	140
性別	男性	227	22.0	46.3	17.2	13.2	1.3	68.3	30.4
	女性	264	32.2	40.2	16.7	9.5	1.5	72.3	26.1
	無回答	10	20.0	60.0	10.0	10.0	-	80.0	20.0
年代別	20歳代	44	31.8	56.8	4.5	6.8	-	88.6	11.4
	30歳代	93	29.0	50.5	10.8	9.7	-	79.6	20.4
	40歳代	75	21.3	46.7	24.0	8.0	-	68.0	32.0
	50歳代	75	26.7	41.3	21.3	10.7	-	68.0	32.0
	60歳代	128	31.3	39.1	14.1	14.1	1.6	70.3	28.1
	70歳以上	82	22.0	34.1	24.4	13.4	6.1	56.1	37.8
	無回答	4	50.0	25.0	-	25.0	-	75.0	25.0
小学校区別	太宰府小学校区	47	25.5	40.4	14.9	19.1	-	66.0	34.0
	太宰府東小学校区	38	34.2	26.3	21.1	18.4	-	60.5	39.5
	太宰府南小学校区	41	12.2	56.1	24.4	7.3	-	68.3	31.7
	水城小学校区	72	40.3	36.1	16.7	4.2	2.8	76.4	20.8
	水城西小学校区	64	29.7	46.9	12.5	7.8	3.1	76.6	20.3
	太宰府西小学校区	67	38.8	44.8	9.0	7.5	-	83.6	16.4
	国分小学校区	84	11.9	47.6	23.8	14.3	2.4	59.5	38.1
	わからない	71	29.6	43.7	14.1	11.3	1.4	73.2	25.4
	無回答	17	11.8	47.1	17.6	23.5	-	58.8	41.2

21. 地域交通体系の整備

(1) バスの利便性に対する意識 (問 47)

●バスの利便性について『肯定派』(41.0%)、『否定派』(29.0%)。

市内のバス便が便利かどうかについて「バス便を利用しないのでわからない」が29.5%と最も多い。利用者の中では「そう思う」が16.6%、「どちらかと言えばそう思う」が24.4%でこれらを合わせた『肯定派』は41.0%、一方、「そう思わない」(16.8%)と「どちらかと言えばそう思わない」(12.2%)を合わせた『否定派』は29.0%である。

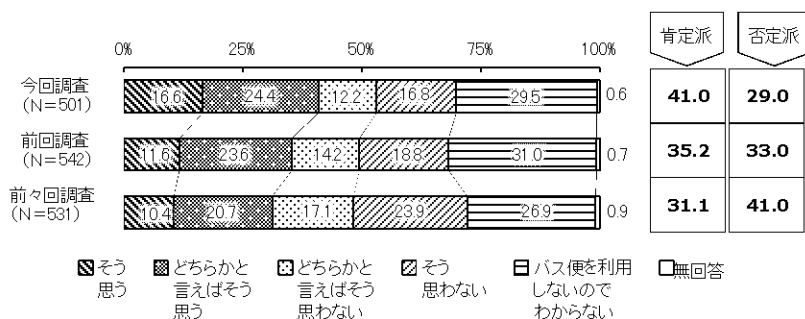
経年比較でみると、『否定派』は減少傾向にある。

性別でみると、女性の『否定派』は31.1%と男性(26.0%)よりも5.1ポイント高い。

年代別でみると、「バス便を利用しないのでわからない」は20歳代・60歳以上では2割台となっている。なお、『肯定派』の割合が他の年代に比べて高い。

小学校区別みると、太宰府南小学校区では『肯定派』が58.5%と最も高い。一方、太宰府東小学校区では『否定派』が47.4%と高くなっている。

問 47. あなたは市内のバス便は便利だと思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	えど ばち そう か と 思 う	な え ど ば ち そ う か と 思 わ ない	そ う 思 わ ない	か し バ ス 便 を 利 用 し な い の で わ か ら ない	無 回 答	肯 定 派	否 定 派
全体		501	83	122	61	84	148	3	205	145
		100.0	16.6	24.4	12.2	16.8	29.5	0.6	41.0	29.0
性別	男性	227	18.1	26.0	11.9	14.1	29.1	0.9	44.1	26.0
	女性	264	15.5	23.1	11.7	19.3	29.9	0.4	38.6	31.1
	無回答	10	10.0	20.0	30.0	10.0	30.0	-	30.0	40.0
年代別	20歳代	44	27.3	27.3	13.6	9.1	22.7	-	54.5	22.7
	30歳代	93	8.6	20.4	5.4	23.7	41.9	-	29.0	29.0
	40歳代	75	13.3	25.3	13.3	16.0	32.0	-	38.7	29.3
	50歳代	75	6.7	20.0	18.7	18.7	36.0	-	26.7	37.3
	60歳代	128	20.3	25.0	12.5	18.0	23.4	0.8	45.3	30.5
	70歳以上	82	25.6	29.3	11.0	11.0	20.7	2.4	54.9	22.0
	無回答	4	25.0	25.0	25.0	-	25.0	-	50.0	25.0
小学校区別	太宰府小学校区	47	10.6	21.3	21.3	12.8	34.0	-	31.9	34.0
	太宰府東小学校区	38	15.8	15.8	7.9	39.5	21.1	-	31.6	47.4
	太宰府南小学校区	41	26.8	31.7	19.5	9.8	12.2	-	58.5	29.3
	水城小学校区	72	16.7	30.6	11.1	9.7	30.6	1.4	47.2	20.8
	水城西小学校区	64	12.5	17.2	10.9	25.0	32.8	1.6	29.7	35.9
	太宰府西小学校区	67	22.4	35.8	7.5	19.4	14.9	-	58.2	26.9
	国分小学校区	84	19.0	22.6	10.7	16.7	29.8	1.2	41.7	27.4
	わからない	71	11.3	21.1	9.9	8.5	49.3	-	32.4	18.3
	無回答	17	11.8	11.8	23.5	17.6	35.3	-	23.5	41.2

(2) 鉄道の利便性に対する意識 (問 48)

●鉄道の利便性について『肯定派』は6割を超えており、バスよりも利便性は高い。

市内の鉄道が便利かどうかについて「そう思う」が 30.9%、「どちらかと言えばそう思う」が 35.7%とこれらを合わせた『肯定派』が 66.6%となっている。一方、「そう思わない」(9.8%)と「どちらかと言えばそう思わない」(12.8%)を合わせた『否定派』は 22.6%となっている。「鉄道を利用しないのでわからない」は 9.4%である。

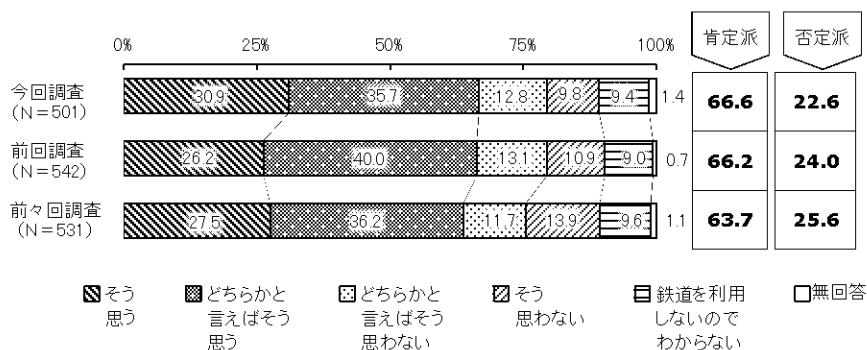
経年比較でみると、『肯定派』はやや増加傾向にある。一方、『否定派』が減少傾向にある。

性別でみると、『肯定派』は男性より女性の方が多く、1.8ポイントの差がある。

年代別にみると、20歳代と30歳代、50歳代で『肯定派』は7割台と評価が高い。

小学校区別にみると、太宰府南小学校区と太宰府西小学校区で『否定派』は3割台と高い。

問 48. あなたは市内の鉄道は便利だと思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	えど ばち そら うか 思と う言	なえど いばち そら うか 思と わ言	そう 思わ ない	らな ない ので 利用 かし	無 回 答	肯 定 派	否 定 派
全体		501	155	179	64	49	47	7	334	113
		100.0	30.9	35.7	12.8	9.8	9.4	1.4	66.6	22.6
性別	男性	227	30.0	35.7	16.3	8.4	8.4	1.3	65.6	24.7
	女性	264	31.8	35.6	10.2	11.0	9.8	1.5	67.4	21.2
	無回答	10	30.0	40.0	-	10.0	20.0	-	70.0	10.0
年代別	20歳代	44	43.2	36.4	4.5	11.4	4.5	-	79.5	15.9
	30歳代	93	35.5	37.6	11.8	5.4	9.7	-	73.1	17.2
	40歳代	75	32.0	33.3	18.7	9.3	6.7	-	65.3	28.0
	50歳代	75	22.7	52.0	6.7	14.7	4.0	-	74.7	21.3
	60歳代	128	25.8	31.3	16.4	13.3	11.7	1.6	57.0	29.7
	70歳以上	82	32.9	29.3	13.4	3.7	14.6	6.1	62.2	17.1
	無回答	4	50.0	-	-	25.0	25.0	-	50.0	25.0
小学校区別	太宰府小学校区	47	38.3	31.9	10.6	8.5	8.5	2.1	70.2	19.1
	太宰府東小学校区	38	34.2	31.6	13.2	15.8	5.3	-	65.8	28.9
	太宰府南小学校区	41	24.4	29.3	24.4	9.8	12.2	-	53.7	34.1
	水城小学校区	72	43.1	33.3	9.7	4.2	6.9	2.8	76.4	13.9
	水城西小学校区	64	35.9	39.1	12.5	6.3	3.1	3.1	75.0	18.8
	太宰府西小学校区	67	22.4	32.8	11.9	22.4	10.4	-	55.2	34.3
	国分小学校区	84	22.6	47.6	8.3	6.0	14.3	1.2	70.2	14.3
	わからない	71	31.0	36.6	14.1	7.0	9.9	1.4	67.6	21.1
	無回答	17	23.5	17.6	23.5	17.6	17.6	-	41.2	41.2

(3) 道路の円滑性に対する意識 (問 49)

●道路の円滑性について『否定派』が64.2%。

市内の道路は渋滞もなく円滑に移動できるかについて、「そう思う」が5.0%で、これに「どちらかと言えばそう思う」(25.9%)を合わせた『肯定派』は30.9%である。一方、「そう思わない」は33.3%と最も高く、「どちらかと言えばそう思わない」も30.9%と3割を超え、これらを合わせた『否定派』は64.2%の割合を占めている。

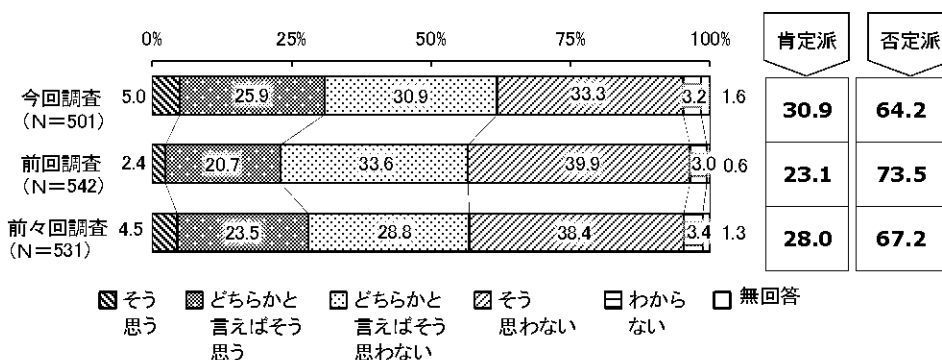
前回調査と比較すると『肯定派』が7.8ポイント増加し、『否定派』は9.3ポイント減少している。

性別でみると、『肯定派』は男性33.5%、女性29.2%と4.3ポイントの差がある。

年代別でみると、70歳以上で『否定派』は56.1%と他の年代と比べて低くなっているが、その他の年齢層では高くなっている。

小学校区別にみると、水城小学校区では『否定派』は69.4%と最も高い。太宰府西小学校区では『肯定派』が38.8%と他の小学校区に比べ多くなっている。

問 49. あなたは市内の道路全般について、渋滞もなく円滑に移動できると思いますか。
(○は1つ)



		標本数	そう思う	えどちらか ばそう かと言 う	えど ち ら か と 思 わ な い	えど ち ら か と 思 わ な い	そう 思 わ な い	わ か ら な い	無 回 答	肯定 派	否定 派
全体		501 100.0	25 5.0	130 25.9	155 30.9	167 33.3	16 3.2	8 1.6	155 30.9	322 64.2	
性別	男性	227	4.0	29.5	26.0	36.6	3.1	0.9	33.5	62.6	
	女性	264	5.7	23.5	34.8	30.7	3.0	2.3	29.2	65.5	
	無回答	10	10.0	10.0	40.0	30.0	10.0	-	20.0	70.0	
年代別	20歳代	44	6.8	25.0	36.4	27.3	4.5	-	31.8	63.6	
	30歳代	93	6.5	22.6	34.4	35.5	1.1	-	29.0	69.9	
	40歳代	75	2.7	26.7	32.0	36.0	2.7	-	29.3	68.0	
	50歳代	75	1.3	29.3	34.7	33.3	1.3	-	30.7	68.0	
	60歳代	128	3.9	27.3	21.1	39.8	4.7	3.1	31.3	60.9	
	70歳以上	82	9.8	24.4	34.1	22.0	4.9	4.9	34.1	56.1	
	無回答	4	-	25.0	50.0	25.0	-	-	25.0	75.0	
小学校区別	太宰府小学校区	47	2.1	23.4	17.0	51.1	6.4	-	25.5	68.1	
	太宰府東小学校区	38	-	26.3	23.7	44.7	2.6	2.6	26.3	68.4	
	太宰府南小学校区	41	9.8	26.8	41.5	22.0	-	-	36.6	63.4	
	水城小学校区	72	6.9	18.1	36.1	33.3	2.8	2.8	25.0	69.4	
	水城西小学校区	64	7.8	23.4	32.8	28.1	3.1	4.7	31.3	60.9	
	太宰府西小学校区	67	3.0	35.8	31.3	25.4	4.5	-	38.8	56.7	
	国分小学校区	84	3.6	27.4	33.3	31.0	2.4	2.4	31.0	64.3	
	わからない	71	4.2	26.8	29.6	36.6	2.8	-	31.0	66.2	
	無回答	17	11.8	23.5	23.5	35.3	5.9	-	35.3	58.8	

(4) 交通手段 (問 50)

- 買い物に行く手段は「自家用車」が最も多く6割以上。
- 太宰府南小学校区は「自家用車」、太宰府東小学校区、太宰府南小学校区は「路線バス」の利用が比較的高い。

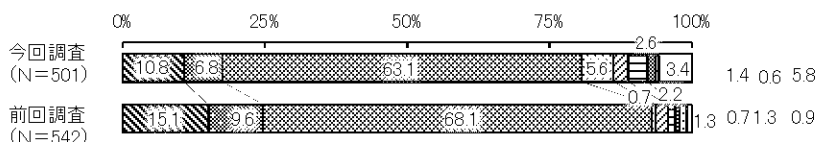
日頃買い物に行くときの手段は、「自家用車」が最も多く63.1%、続いて「徒歩」10.8%、「自転車」6.8%、「鉄道」5.6%、「路線バス」3.4%などとなっている。

性別でみると、「自家用車」は男性65.2%、女性61.4%で男性の方が3.8ポイント高く、「徒歩」は男性12.3%、女性9.1%で男性が3.2ポイント高くなっている。

年代別でみると、「自家用車」は30歳代で76.3%と高く、40歳代でも7割を超えているが、20歳代、70歳以上では4割台と低くなっている。「自転車」は20歳代で18.2%と他の年代と比べると多い。なお、「鉄道」も20歳以上で13.6%と他の年代に比べ高くなっている。

小学校区別にみると、「自家用車」は太宰府南小学校区で75.6%と高いが、太宰府東小学校区では50.0%と25.6ポイント低くなっている。太宰府東小学校区や太宰府南小学校区では「路線バス」の利用率が1割を超え、他の小学校区に比べ高い割合となっている。

問 50. あなたは日頃、どのようにして買い物に行きますか。(○は1つ)



徒歩
 自転車
 自家用車
 鉄道
 コミュニティバス
 路線バス
 タクシー
 その他
 無回答

		標本数	徒歩	自転車	自家用車	鉄道	ばバコ 号スミ ~(ま ほほ テ ろ イ	路線 バス	タク シー	そ の 他	無 回 答
全体		501	54	34	316	28	13	17	7	3	29
		100.0	10.8	6.8	63.1	5.6	2.6	3.4	1.4	0.6	5.8
性別	男性	227	12.3	6.2	65.2	4.8	1.3	2.6	1.3	0.9	5.3
	女性	264	9.1	7.2	61.4	6.4	3.8	4.2	1.5	0.4	6.1
	無回答	10	20.0	10.0	60.0	-	-	-	-	-	10.0
年代別	20歳代	44	13.6	18.2	45.5	13.6	2.3	-	-	2.3	4.5
	30歳代	93	9.7	4.3	76.3	7.5	1.1	-	-	-	1.1
	40歳代	75	8.0	2.7	76.0	4.0	-	1.3	1.3	1.3	5.3
	50歳代	75	10.7	8.0	69.3	6.7	1.3	1.3	-	-	2.7
	60歳代	128	12.5	5.5	60.2	3.1	4.7	7.0	0.8	0.8	5.5
	70歳以上	82	11.0	8.5	42.7	3.7	4.9	7.3	6.1	-	15.9
	無回答	4	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	47	14.9	6.4	61.7	6.4	2.1	2.1	-	-	6.4
	太宰府東小学校区	38	7.9	5.3	50.0	5.3	-	13.2	2.6	2.6	13.2
	太宰府南小学校区	41	4.9	2.4	75.6	-	-	12.2	-	2.4	2.4
	水城小学校区	72	12.5	11.1	56.9	8.3	2.8	1.4	1.4	-	5.6
	水城西小学校区	64	9.4	14.1	65.6	3.1	1.6	1.6	-	-	4.7
	太宰府西小学校区	67	11.9	3.0	62.7	4.5	4.5	4.5	1.5	1.5	6.0
	国分小学校区	84	9.5	2.4	67.9	6.0	6.0	-	1.2	-	7.1
	わからない	71	15.5	7.0	64.8	8.5	1.4	1.4	-	-	1.4
	無回答	17	-	11.8	52.9	5.9	-	-	17.6	-	11.8

22. 産業の振興（問 51）

- 日頃買い物する場所は「太宰府市」が約7割。
- 太宰府南小学校区は約半数が「筑紫野市」で主に買い物。

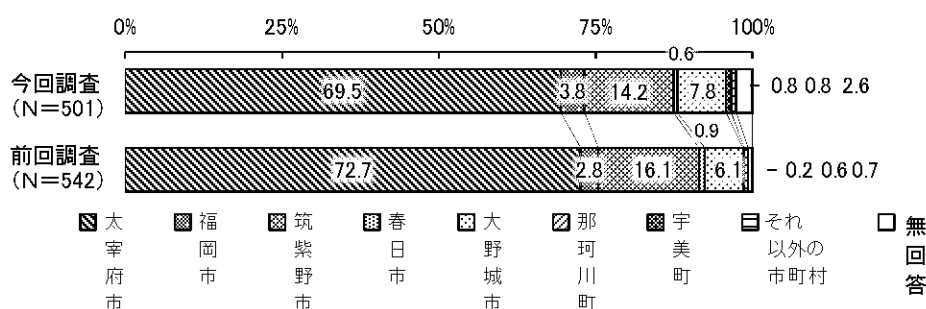
日頃主に買い物する場所については、「太宰府市」が 69.5%で、4分の3近くを占めている。他に「筑紫野市」が 14.2%、「大野城市」7.8%となっており、「福岡市」(3.8%)、「春日市」(0.6%)、「宇美町」(0.8%)などはわずかである。

経年比較でみると、前回調査より「太宰府市」が3.2ポイント減少している。

年代別でみると、60歳以上は「太宰府市」が多く7割以上を占めている。20歳代と30歳代、50歳代は6割台半ばとやや低い。

小学校区別にみると、太宰府東小学校区では「太宰府市」が89.5%と最も高い。太宰府南小学校区は「太宰府市」が46.3%と低く、「筑紫野市」の46.3%と同じ割合である。

問 51. あなたは日頃、主にどこで買い物していますか。(〇は1つ)



		標本数	太宰府市	福岡市	筑紫野市	春日市	大野城市	那珂川町	宇美町	のそ市れ町以村外	無回答
全体		501	69.5	3.8	14.2	0.6	7.8	-	4	0.8	2.6
性別	男性		62.1	4.0	18.9	1.3	7.9	-	0.9	1.8	3.1
	女性		75.8	3.8	10.2	-	8.0	-	0.4	-	1.9
	無回答		70.0	-	10.0	-	-	-	10.0	-	10.0
年代別	20歳代	44	65.9	9.1	9.1	-	6.8	-	-	6.8	2.3
	30歳代	93	64.5	3.2	18.3	-	11.8	-	1.1	-	1.1
	40歳代	75	69.3	5.3	10.7	-	8.0	-	2.7	1.3	2.7
	50歳代	75	64.0	2.7	13.3	2.7	16.0	-	-	-	1.3
	60歳代	128	75.8	2.3	13.3	0.8	5.5	-	-	-	2.3
	70歳以上	82	73.2	3.7	17.1	-	-	-	-	-	6.1
	無回答	4	50.0	-	25.0	-	-	-	25.0	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	47	72.3	8.5	8.5	-	4.3	-	4.3	-	2.1
	太宰府東小学校区	38	89.5	2.6	7.9	-	-	-	-	-	-
	太宰府南小学校区	41	46.3	2.4	46.3	-	2.4	-	-	-	2.4
	水城小学校区	72	73.6	4.2	16.7	-	2.8	-	1.4	-	1.4
	水城西小学校区	64	76.6	1.6	6.3	-	9.4	-	-	3.1	3.1
	太宰府西小学校区	67	68.7	3.0	10.4	1.5	13.4	-	-	1.5	1.5
	国分小学校区	84	64.3	7.1	7.1	1.2	13.1	-	-	1.2	6.0
	わからない	71	70.4	1.4	18.3	1.4	7.0	-	-	-	1.4
	無回答	17	52.9	-	17.6	-	17.6	-	5.9	-	5.9

23. 文化遺産の保存と活用（問 52）

●9割以上が市の歴史文化遺産を誇りに思っている。
 ●水城西小学校区では積極的に肯定する意見が73.4%と高い。

市の歴史文化遺産を誇りに思うかについては、「そう思う」が64.3%、「どちらかと言えばそう思う」が27.7%で、『肯定派』は92.0%と約9割を占めている。「そう思わない」は2.4%であり「どちらかと言えばそう思わない」（4.0%）を合わせた『否定派』は6.4%である。

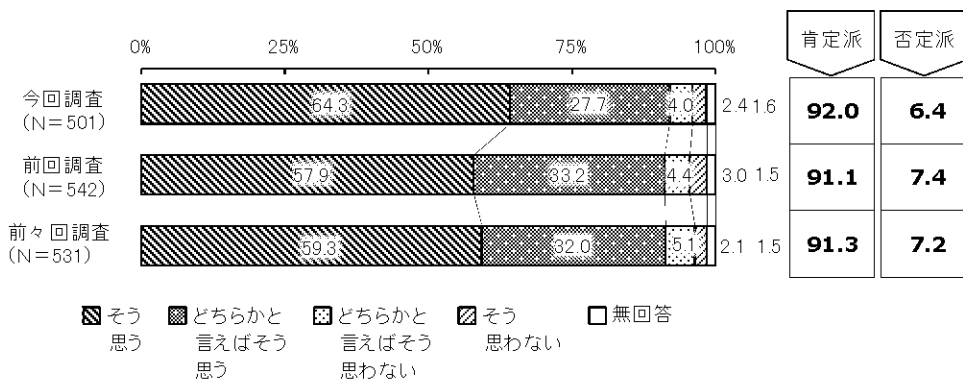
経年比較でみると、『肯定派』は9割を超えて推移しており大きな変化はみられない。

性別でみると、女性の『否定派』が4.9%で男性（7.5%）に比べ2.6ポイントの差がある。

年代別では、「そう思う」と積極的に肯定する意見がいずれの年代も6割以上を占める。なお、『否定派』の割合は11.8%と30歳代で最も高くなっている。

小学校区別にみると、水城西小学校区では「そう思う」と積極的に肯定する意見が73.4%となっているが、太宰府南小学校区では6割にも満たない。

問 52. あなたは市内の歴史文化遺産を誇りに思いますか。（○は1つ）



		標本数	そう思う	どちらか と言えば そう思う	どちらか と言えば そう思わない	そう 思わない	無回答	肯定派	否定派
全体		501	64.3	27.7	4.0	2.4	1.6	92.0	6.4
性別	男性	227	60.4	31.3	4.0	3.5	0.9	91.6	7.5
	女性	264	68.6	24.2	3.4	1.5	2.3	92.8	4.9
	無回答	10	40.0	40.0	20.0	-	-	80.0	20.0
年代別	20歳代	44	63.6	29.5	2.3	4.5	-	93.2	6.8
	30歳代	93	63.4	24.7	7.5	4.3	-	88.2	11.8
	40歳代	75	65.3	26.7	4.0	4.0	-	92.0	8.0
	50歳代	75	68.0	25.3	5.3	1.3	-	93.3	6.7
	60歳代	128	64.1	29.7	2.3	0.8	3.1	93.8	3.1
	70歳以上	82	62.2	30.5	1.2	1.2	4.9	92.7	2.4
	無回答	4	50.0	25.0	25.0	-	-	75.0	25.0
小学校区別	太宰府小学校区	47	66.0	23.4	6.4	4.3	-	89.4	10.6
	太宰府東小学校区	38	65.8	28.9	5.3	-	-	94.7	5.3
	太宰府南小学校区	41	58.5	39.0	2.4	-	-	97.6	2.4
	水城西小学校区	72	66.7	26.4	2.8	2.8	1.4	93.1	5.6
	水城西小学校区	64	73.4	18.8	4.7	-	3.1	92.2	4.7
	太宰府西小学校区	67	67.2	26.9	1.5	3.0	1.5	94.0	4.5
	国分小学校区	84	63.1	26.2	2.4	4.8	3.6	89.3	7.1
	わからない	71	53.5	39.4	7.0	-	-	93.0	7.0
	無回答	17	64.7	11.8	5.9	11.8	5.9	76.5	17.6

24. 観光基盤の整備充実

(1) 観光客への意識 (問 53)

●観光客を好ましいと思う人は68.5%。

観光客が訪れることをどのように思っているかの質問で、「地域の活気や発展につながり、好ましいと思う」が68.5%、「どちらかと言えば好ましいと思う」が19.8%となっている。なお、「ごみや渋滞などが発生し、好ましくない」が6.6%、「どちらかと言えば好ましくない」が2.2%となっている。

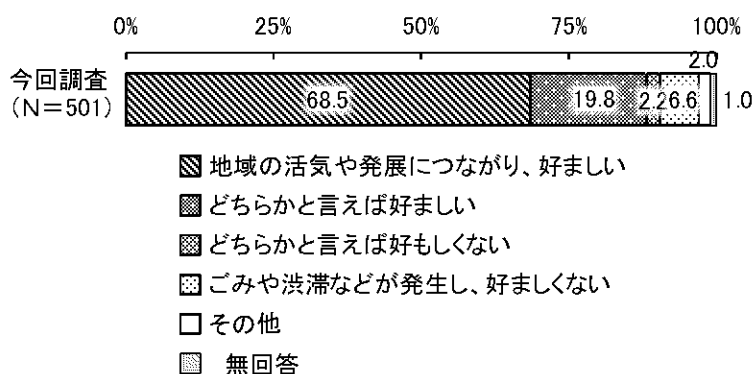
性別でみると、「地域の活気や発展につながり、好ましいと思う」という女性が70.8%であるのに対して、男性は66.1%と4.7ポイントの差がある。

年代別では、40歳から60歳代が「地域の活気や発展につながり、好ましいと思う」と回答する人が7割を超えている。一方、20歳代で「ごみや渋滞などが発生し、好ましくない」と回答する人が13.6%となっている。

小学校区別にみると、水城小学校区と太宰府西小学校区は「地域の活気や発展につながり、好ましいと思う」と回答する人が8割前後と高い。

問 53. あなたは太宰府市内に多くの観光客が訪れることについてどのように思いますか。

(○は1つ)



	標本数	まなや地 しが発域 いり展の に活 好つ気	し言ど いえち ばら 好か ま	し言ど くえち なばら い好か ま	い好がご ま発み し生や くし渋 滞	無 回 答
全体	501	343	99	11	33	10
性別	100.0	68.5	19.8	2.2	6.6	2.0
男性	227	66.1	20.3	4.0	7.0	1.8
女性	264	70.8	18.9	0.4	6.4	2.3
無回答	10	60.0	30.0	10.0	-	-
年代別	44	63.6	15.9	-	13.6	6.8
20歳代	93	62.4	24.7	2.2	7.5	3.2
30歳代	75	73.3	17.3	1.3	4.0	4.0
40歳代	75	76.0	20.0	1.3	2.7	-
50歳代	128	70.3	18.8	3.1	5.5	-
60歳代	82	62.2	20.7	3.7	9.8	1.2
70歳以上	4	100.0	-	-	-	-
無回答	47	59.6	19.1	6.4	12.8	2.1
小学校区別	38	68.4	13.2	2.6	13.2	2.6
太宰府小学校区	41	70.7	22.0	4.9	-	2.4
太宰府東小学校区	72	77.8	18.1	1.4	1.4	-
太宰府南小学校区	64	73.4	17.2	-	4.7	1.6
水城小学校区	67	80.6	16.4	-	1.5	1.5
水城西小学校区	84	66.7	21.4	2.4	7.1	-
太宰府西小学校区	71	50.7	29.6	1.4	12.7	5.6
国分小学校区	17	64.7	11.8	5.9	11.8	5.9
わからない						
無回答						

(2) 観光客との交流について (問 54)

●「観光客に笑顔で接する」が40.5%。

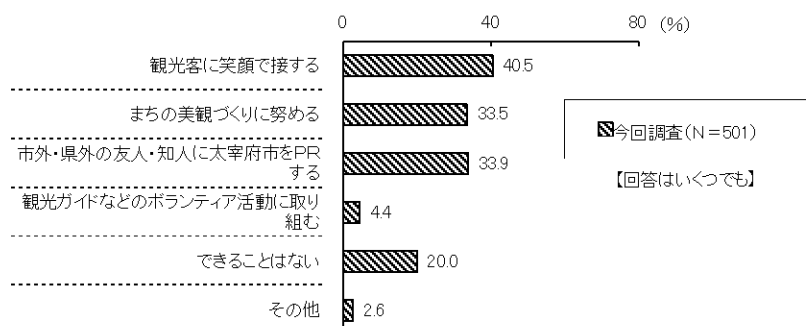
観光客へできることの質問で、「観光客に笑顔で接する」の40.5%が最も高くなっており、次いで「市外・県外の友人・知人に太宰府市をPRする」(33.9%)、「まちの美観づくりに努める」(33.5%)となっている。

性別でみると、「観光客に笑顔で接する」という女性が48.5%であるのに対して、男性は32.2%と16.3ポイントの差がある。

年代別では、年齢が低い層が「観光客に笑顔で接する」と回答する人が多くなっている。一方、年齢が高い層では「市外・県外の友人・知人に太宰府市をPRする」と回答する人が高い傾向にある。

小学校区別にみると、太宰府南小学校区は「観光客に笑顔で接する」と回答する人が半数以上となっている。

問 54. 太宰府市を訪れた観光客との交流やおもてなしのために、あなた自身ができることがありますか。(〇はいくつでも)



		標本数	観光客に笑顔で接する (%)	まちの美観づくりに努める (%)	市外・県外の友人・知人に太宰府市をPRする (%)	観光ガイドなどのボランティア活動に取り組む (%)	できることはない (%)	その他 (%)
全体		501	40.5	33.5	33.9	4.4	20.0	2.6
性別	男性	227	32.2	33.0	30.8	5.7	23.8	4.4
	女性	264	48.5	34.8	36.0	3.4	15.9	1.1
	無回答	10	20.0	10.0	50.0	-	40.0	-
年代別	20歳代	44	43.2	38.6	31.8	2.3	15.9	-
	30歳代	93	44.1	41.9	36.6	4.3	17.2	2.2
	40歳代	75	50.7	33.3	28.0	4.0	16.0	2.7
	50歳代	75	41.3	37.3	29.3	8.0	17.3	5.3
	60歳代	128	39.1	35.2	37.5	4.7	19.5	1.6
	70歳以上	82	26.8	15.9	35.4	1.2	31.7	3.7
	無回答	4	50.0	25.0	50.0	25.0	25.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	47	40.4	31.9	42.6	8.5	17.0	2.1
	太宰府東小学校区	38	42.1	23.7	39.5	2.6	26.3	-
	太宰府南小学校区	41	51.2	22.0	43.9	2.4	14.6	2.4
	水城小学校区	72	41.7	38.9	31.9	6.9	11.1	1.4
	水城西小学校区	64	39.1	43.8	37.5	3.1	12.5	3.1
	太宰府西小学校区	67	37.3	32.8	37.3	4.5	17.9	3.0
	国分小学校区	84	47.6	40.5	26.2	2.4	22.6	1.2
	わからない	71	33.8	25.4	25.4	4.2	31.0	5.6
	無回答	17	17.6	29.4	29.4	5.9	41.2	5.9

25. 国際交流・友好都市交流の推進

(1) 外国人との交流（問 55）

●市内在住の外国人との交流は約9割が「ほとんどしていない」。

市内在住の外国人との交流は、「ほぼ毎日交流している」1.0%、「週に1回程度交流している」1.2%、「月に数回程度交流している」1.8%、「年に数回程度交流している」3.0%となっており、「ほとんど交流していない」が91.6%と大半を占めている。

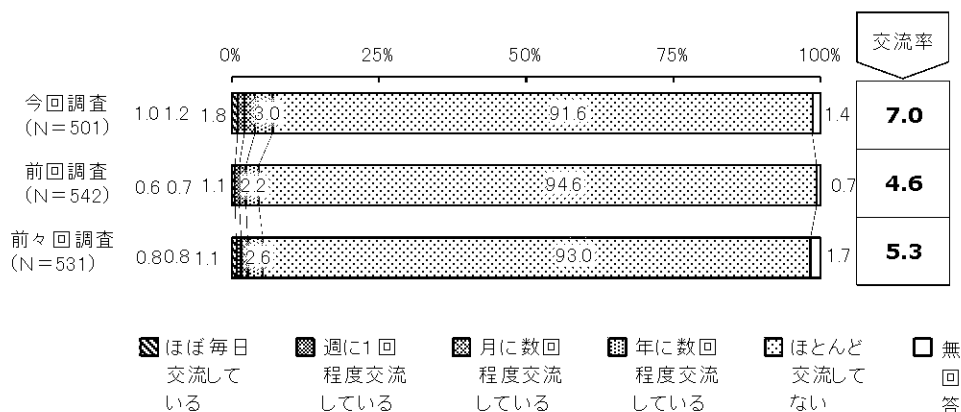
経年比較でみると、前回調査と比べると『交流率』は2.4ポイント増加している。

性別でみると、頻度に関わらず「交流している」と回答した人は、男性9.3%、女性5.3%で、男性の方が4ポイント高くなっている。

年代別でみると、30歳以上では「ほとんど交流していない」が9割を超えて多い。20歳代で『交流率』は20.5%と高くなっている。

小学校区別にみると、太宰府小学校区では『交流率』が12.8%と他の小学校区よりも高い値となっている。

問 55. あなたは日頃から市内在住の外国人と交流していますか。(○は1つ)



		標本数	ほぼ毎日交流している (%)	週に1回程度交流している (%)	月に数回程度交流している (%)	年に数回程度交流している (%)	ほとんど交流していない (%)	無回答 (%)	交流率 (%)
全体		501	1.0	1.2	1.8	3.0	91.6	1.4	7.0
性別	男性	227	2.2	2.2	1.8	3.1	89.0	1.8	9.3
	女性	264	-	0.4	1.9	3.0	93.6	1.1	5.3
	無回答	10	-	-	-	-	100.0	-	-
年代別	20歳代	44	2.3	-	9.1	9.1	77.3	2.3	20.5
	30歳代	93	-	1.1	-	2.2	96.8	-	3.2
	40歳代	75	1.3	2.7	1.3	2.7	92.0	-	8.0
	50歳代	75	1.3	1.3	4.0	2.7	90.7	-	9.3
	60歳代	128	1.6	0.8	-	2.3	93.8	1.6	4.7
	70歳以上	82	-	1.2	1.2	2.4	90.2	4.9	4.9
無回答	4	-	-	-	-	100.0	-	-	
小学校区別	太宰府小学校区	47	4.3	-	2.1	6.4	87.2	-	12.8
	太宰府東小学校区	38	-	-	2.6	-	94.7	2.6	2.6
	太宰府南小学校区	41	-	2.4	-	2.4	95.1	-	4.9
	水城小学校区	72	-	1.4	1.4	2.8	90.3	4.2	5.6
	水城西小学校区	64	1.6	1.6	3.1	3.1	87.5	3.1	9.4
	太宰府西小学校区	67	1.5	-	-	4.5	94.0	-	6.0
	国分小学校区	84	1.2	2.4	2.4	2.4	90.5	1.2	8.3
	わからない	71	-	-	1.4	2.8	95.8	-	4.2
	無回答	17	-	5.9	5.9	-	88.2	-	11.8

(2) 姉妹都市・友好都市の認識 (問 56)

●太宰府市の姉妹都市・友好都市締結については約6割が「どれも知らなかった」。

太宰府市の姉妹都市・友好都市締結の認知については、「扶餘邑との姉妹都市締結は知っていた」が14.0%、「奈良市との友好都市締結は知っていた」が14.2%、「多賀城市との友好都市締結は知っていた」が31.9%となっている。「どれも知らなかった」が57.5%でほぼ約6割を占めている。

経年比較でみると、「扶餘邑との姉妹都市締結は知っていた」、「どれも知らなかった」の回答は減少しているが、その他の回答は増加している。

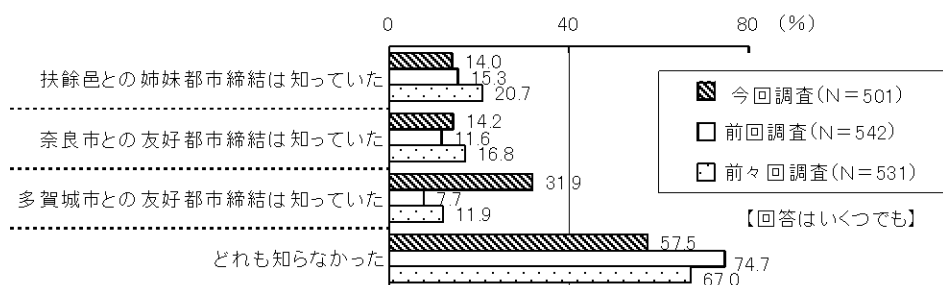
性別でみると、「扶餘邑との姉妹都市締結は知っていた」は男性で84.6%、女性で87.1%となっており、2.5ポイントの差がある。

年代別にみると、姉妹都市・友好都市についても60歳以上で認知度が高い傾向がみられ、20歳代では「どれも知らなかった」という回答が81.8%と高くなっている。

小学校区別にみると、「どれも知らなかった」が太宰府西小学校区と太宰府東小学校区で他の校区に比べて低い。

問 56. あなたは太宰府市では大韓民国の扶餘邑と姉妹都市を、奈良県奈良市と宮城県多賀城市とは友好都市をそれぞれ締結していることをご存知でしたか。

(○はいくつでも)



		標本数	い結姉扶 たは妹餘 知都邑 つ市と て締の	い結友奈 たは好良 知都市 つ市と て締の	て締の多 い結友賀 たは好城 知都市 つ市と	な だ か れ つ も た 知 ら
全体		501	70	71	160	288
		100.0	14.0	14.2	31.9	57.5
性別	男性	227	84.6	14.5	31.3	56.8
	女性	264	87.1	14.0	33.0	57.2
	無回答	10	90.0	10.0	20.0	80.0
年代別	20歳代	44	4.5	4.5	13.6	81.8
	30歳代	93	6.5	6.5	24.7	67.7
	40歳代	75	14.7	10.7	34.7	53.3
	50歳代	75	13.3	8.0	29.3	61.3
	60歳代	128	19.5	23.4	43.0	45.3
	70歳以上	82	19.5	23.2	32.9	51.2
	無回答	4	-	-	25.0	75.0
小学校区別	太宰府小学校区	47	10.6	12.8	29.8	57.4
	太宰府東小学校区	38	15.8	18.4	39.5	47.4
	太宰府南小学校区	41	9.8	17.1	31.7	56.1
	水城小学校区	72	13.9	19.4	34.7	55.6
	水城西小学校区	64	15.6	7.8	39.1	54.7
	太宰府西小学校区	67	31.3	13.4	37.3	43.3
	国分小学校区	84	13.1	20.2	34.5	53.6
	わからない	71	4.2	5.6	14.1	83.1
	無回答	17	-	11.8	23.5	70.6

(3) 姉妹都市・友好都市との交流頻度 (問 57)

●姉妹・友好都市の人と交流している人は約2%であり交流はなされていない。

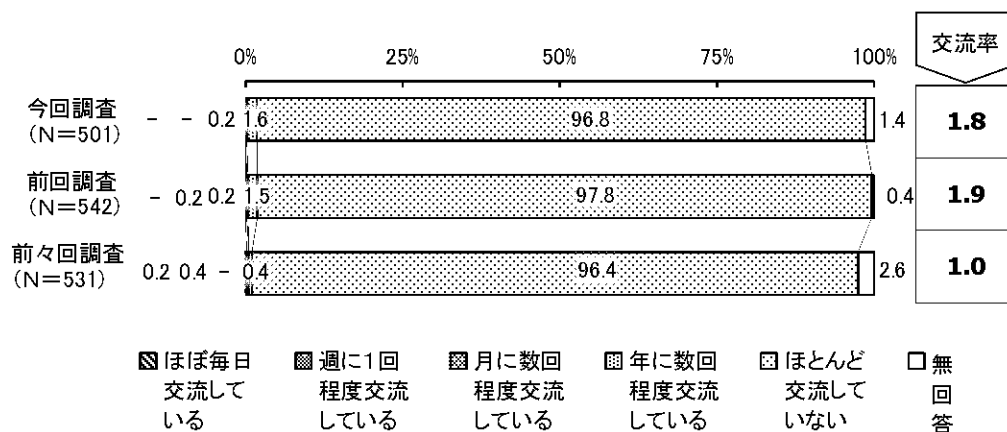
太宰府市の姉妹都市・友好都市の人との交流については、「ほとんど交流していない」が96.8%で大半を占めている。「年に数回交流している」は1.6%、「月に数回程度交流している」0.2%となっている。

性別で見ると、女性の方が男性よりも交流率が高く2.3%となっている。

年代別にみると、20歳代では『交流率』が0%となっている。50歳代では『交流率』が4.0%と他の年代に比べて多い。

小学校区別にみると、国分小学校区の『交流率』が3.6%と他の小学校区と比較して高くなっている。

問 57. あなたは日頃から市の姉妹都市である大韓民国の扶餘邑や友好都市である奈良市、多賀城市の人たちと交流をしていますか。(○は1つ)



		標本数	ほぼ毎日交流している	週に1回程度交流している	月に数回程度交流している	年に数回程度交流している	ほとんど交流していない	無回答	交流率 (%)
全体		501	-	-	1	8	485	7	9
		100.0	-	-	0.2	1.6	96.8	1.4	1.8
性別	男性	227	-	-	0.4	0.9	97.4	1.3	1.3
	女性	264	-	-	-	2.3	96.2	1.5	2.3
	無回答	10	-	-	-	-	100.0	-	-
年代別	20歳代	44	-	-	-	-	97.7	2.3	-
	30歳代	93	-	-	-	1.1	98.9	-	1.1
	40歳代	75	-	-	-	2.7	97.3	-	2.7
	50歳代	75	-	-	-	4.0	94.7	1.3	4.0
	60歳代	128	-	-	0.8	0.8	98.4	-	1.6
	70歳以上	82	-	-	-	1.2	92.7	6.1	1.2
	無回答	4	-	-	-	-	100.0	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	47	-	-	-	2.1	95.7	2.1	2.1
	太宰府東小学校区	38	-	-	-	2.6	94.7	2.6	2.6
	太宰府南小学校区	41	-	-	-	2.4	95.1	2.4	2.4
	水城小学校区	72	-	-	1.4	1.4	94.4	2.8	2.8
	水城西小学校区	64	-	-	-	-	100.0	-	-
	太宰府西小学校区	67	-	-	-	1.5	98.5	-	1.5
	国分小学校区	84	-	-	-	3.6	94.0	2.4	3.6
	わからない	71	-	-	-	-	100.0	-	-
	無回答	17	-	-	-	-	100.0	-	-

(4) 外国人や留学生との交流方法 (問 58)

●外国人や留学生としたい交流は「語学講座」。続いて「意見交換会」「スポーツ交流」

外国人や留学生としてみたい交流の内容については、「語学講座」が31.1%で最も多い。続いて「意見交換会」が18.0%、「スポーツ交流」が16.4%、「ホームステイ」が9.8%、「その他」15.6%となっている。

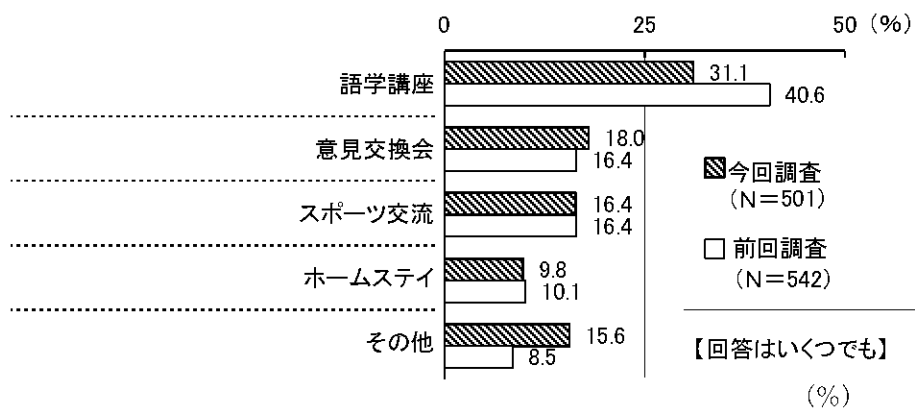
経年比較でみると、「語学講座」が前回調査に比べ9.5ポイント減少している。

性別でみると、男女ともに「語学講座」の割合が高いが、女性は36.7%と男性(25.6%)に比べて高くなっている。

年代別では、20歳代で「語学講座」が5割台、「スポーツ交流」「意見交換会」が約3割となっている。

小学校区別にみると、どの校区でも「語学講座」が高くなっているが、太宰府西小学校区では「意見交換会」の割合が32.8%と他の小学校区と比較しても高くなっている。

問 58. あなたは外国人や留学生とどのような交流をしたいですか。(〇はいくつでも)



		標本数	意見交換	スポーツ交流	語学講座	ホームステイ	その他
全体		501	90	82	156	49	78
		100.0	18.0	16.4	31.1	9.8	15.6
性別	男性	227	21.6	13.7	25.6	10.1	17.2
	女性	264	15.2	18.9	36.7	9.1	14.4
	無回答	10	10.0	10.0	10.0	20.0	10.0
年代別	20歳代	44	34.1	34.1	54.5	25.0	4.5
	30歳代	93	12.9	24.7	43.0	12.9	15.1
	40歳代	75	16.0	24.0	37.3	10.7	14.7
	50歳代	75	29.3	12.0	29.3	10.7	14.7
	60歳代	128	18.8	10.2	28.1	6.3	15.6
	70歳以上	82	6.1	4.9	4.9	2.4	24.4
	無回答	4	-	-	50.0	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	47	21.3	10.6	40.4	8.5	10.6
	太宰府東小学校区	38	10.5	13.2	34.2	10.5	15.8
	太宰府南小学校区	41	17.1	12.2	29.3	7.3	9.8
	水城小学校区	72	15.3	18.1	36.1	6.9	15.3
	水城西小学校区	64	23.4	21.9	34.4	10.9	17.2
	太宰府西小学校区	67	32.8	10.4	23.9	13.4	16.4
	国分小学校区	84	13.1	20.2	23.8	14.3	15.5
	わからない	71	9.9	19.7	36.6	7.0	21.1
	無回答	17	17.6	11.8	11.8	-	11.8

26. 市民参画の推進

(1) 自治会活動への参加（問59）

- 自治会活動に参加しているのは約3割。
- 20歳代、30歳代は他の年代に比べて参加率が低い。

自治会活動について、「積極的に参加している」は8.2%、「どちらかと言えば参加している」は23.6%で、『参加派』は31.8%である。「参加していない」は47.5%、「どちらかと言えば参加していない」は19.6%で、『不参加派』は67.1%となっている。

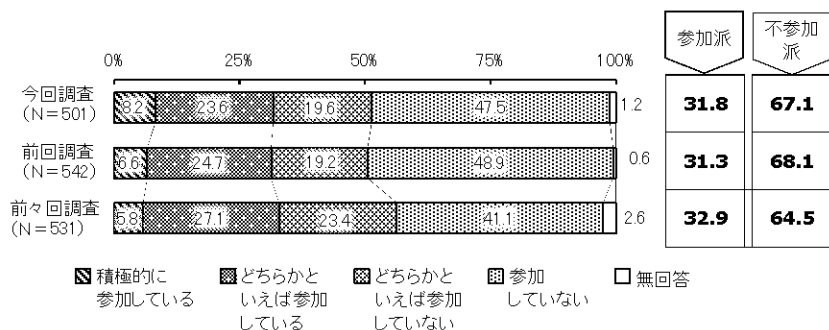
前回調査からは大きな変化はみられない。

性別にみると、『参加派』は女性が34.8%であるのに対して、男性は28.2%となっている。

年代別にみると、60歳代で『参加派』の割合が49.2%と最も高く、20歳代では『不参加派』が97.7%と最も高い。

小学校区別では、水城西小学校区で『不参加派』が70.3%と高くなっている。

問59. あなたは自治会活動に参加していますか。（○は1つ）



		標本数	積極的に参加している (%)	どちらかと言えば参加している (%)	どちらかと言えば参加していない (%)	参加していない (%)	無回答 (%)	参加派 (%)	不参加派 (%)
全体		501	8.2	23.6	19.6	47.5	1.2	31.8	67.1
性別	男性	227	7.5	20.7	19.4	51.1	1.3	28.2	70.5
	女性	264	8.7	26.1	19.7	44.3	1.1	34.8	64.0
	無回答	10	10.0	20.0	20.0	50.0	-	30.0	70.0
年代別	20歳代	44	2.3	-	13.6	84.1	-	2.3	97.7
	30歳代	93	1.1	16.1	17.2	65.6	-	17.2	82.8
	40歳代	75	10.7	29.3	22.7	37.3	-	40.0	60.0
	50歳代	75	8.0	21.3	26.7	42.7	1.3	29.3	69.3
	60歳代	128	12.5	36.7	19.5	28.9	2.3	49.2	48.4
	70歳以上	82	11.0	20.7	15.9	50.0	2.4	31.7	65.9
	無回答	4	-	25.0	25.0	50.0	-	25.0	75.0
小学校区別	太宰府小学校区	47	6.4	25.5	19.1	46.8	2.1	31.9	66.0
	太宰府東小学校区	38	13.2	31.6	7.9	44.7	2.6	44.7	52.6
	太宰府南小学校区	41	9.8	24.4	22.0	41.5	2.4	34.1	63.4
	水城西小学校区	72	11.1	27.8	19.4	41.7	-	38.9	61.1
	水城西小学校区	64	7.8	21.9	26.6	43.8	-	29.7	70.3
	太宰府西小学校区	67	11.9	26.9	20.9	40.3	-	38.8	61.2
	国分小学校区	84	6.0	33.3	22.6	35.7	2.4	39.3	58.3
	わからない	71	1.4	4.2	16.9	76.1	1.4	5.6	93.0
	無回答	17	11.8	5.9	5.9	76.5	-	17.6	82.4

(2) ボランティア活動への参加 (問 60)

●ボランティア活動に参加しているのは14.4%。『不参加派』が約85%を占める。
 ●60歳代以上では2割前後がボランティア活動に参加。

ボランティア活動に「積極的に参加している」は4.4%、「どちらかと言えば参加している」は10.0%で、『参加派』は14.4%、「参加していない」は71.5%、「どちらかと言えば参加していない」は13.4%で、『不参加派』は84.9%である。

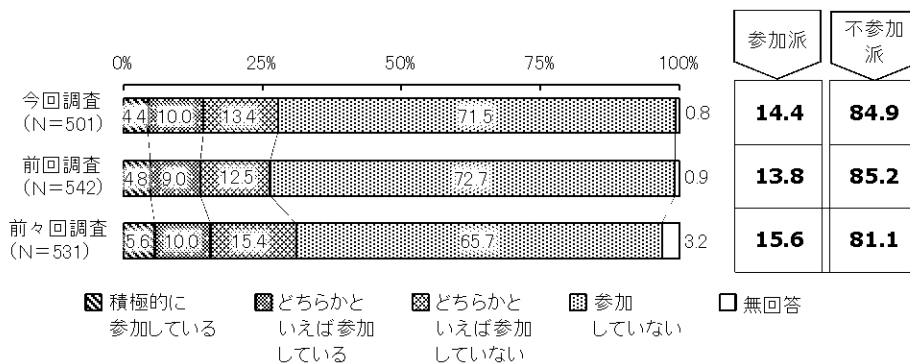
前回調査と比較すると、『参加派』は0.6ポイント増加し、『不参加派』が0.3ポイント減少している。

性別で見ると、『参加派』は女性の方が1.5ポイント高く15.2%である。

年代別にみると、年齢が高い層で『参加派』の割合が高く、60歳以上では2割近くが参加している。一方、20歳代、30歳代は『参加派』の割合がそれぞれ0%、5.4%と低くなっている。

小学校区別では、太宰府小学校区と水城小学校区で『参加派』の割合が比較的高くなっている。

問 60. あなたは自治会活動以外のボランティア活動に参加していますか。(○は1つ)



		標本数	積極的に参加している (%)	どちらかと言えば参加している (%)	どちらかと言えば参加していない (%)	参加していない (%)	無回答 (%)	参加派 (%)	不参加派 (%)
全体		501	4.4	10.0	13.4	71.5	0.8	14.4	84.9
性別	男性	227	5.3	8.4	15.0	70.5	0.9	13.7	85.5
	女性	264	3.8	11.4	12.1	72.0	0.8	15.2	84.1
	無回答	10	-	10.0	10.0	80.0	-	10.0	90.0
年代別	20歳代	44	-	-	9.1	90.9	-	-	100.0
	30歳代	93	2.2	3.2	7.5	87.1	-	5.4	94.6
	40歳代	75	4.0	10.7	14.7	70.7	-	14.7	85.3
	50歳代	75	6.7	10.7	10.7	70.7	1.3	17.3	81.3
	60歳代	128	6.3	13.3	18.8	61.7	-	19.5	80.5
	70歳以上	82	3.7	17.1	15.9	59.8	3.7	20.7	75.6
	無回答	4	25.0	-	-	75.0	-	25.0	75.0
小学校区別	太宰府小学校区	47	6.4	12.8	14.9	63.8	2.1	19.1	78.7
	太宰府東小学校区	38	-	15.8	13.2	71.1	-	15.8	84.2
	太宰府南小学校区	41	7.3	7.3	19.5	63.4	2.4	14.6	82.9
	水城小学校区	72	2.8	15.3	11.1	70.8	-	18.1	81.9
	水城西小学校区	64	7.8	4.7	18.8	68.8	-	12.5	87.5
	太宰府西小学校区	67	6.0	9.0	17.9	67.2	-	14.9	85.1
	国分小学校区	84	4.8	11.9	13.1	67.9	2.4	16.7	81.0
	わからない	71	1.4	5.6	5.6	87.3	-	7.0	93.0
	無回答	17	-	5.9	-	94.1	-	5.9	94.1

第4節 行政サービスについて

1. 情報の共有化と活用

(1) 市民と行政の情報の共有（問 61）

- 市民と行政の情報の共有ができていないかについて半数以上は否定的。
- 前回調査より『否定派』の割合が減少。

市民と行政の情報の共有ができていないかについては、「そう思う」が 5.2%、「どちらかと言えばそう思う」が 27.5%で、『肯定派』は 32.7%である。一方、「そう思わない」は 24.8%、「どちらかと言えばそう思わない」は 36.3%で、『否定派』が 61.1%に上る。

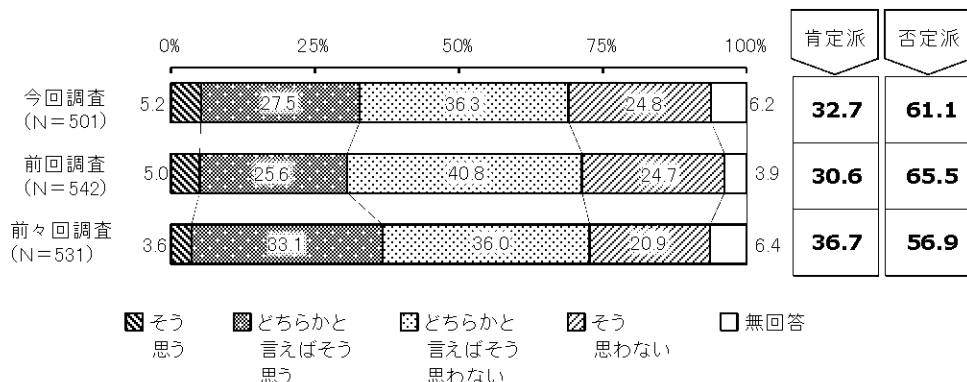
経年比較でみると、前回調査より『肯定派』が 2.1 ポイント増加している。

性別では、女性は『否定派』の割合が男性より 4.8 ポイント低い。

年代別にみると、40 歳代では『肯定派』が 22.7%と最も低くなっている。

小学校区別にみると、水城小学校区は『肯定派』が約 4 割で比較的高く、一方、太宰府東小学校区と水城西小学校区は『否定派』が 7 割近い。

問 61. あなたは市民と行政とがお互いに情報を共有できていると思いますか。（○は 1 つ）



		標本数	そう思う	思言ど うえち らばそ うと	思言ど わえち らばそ うと	いそ う思 わな	無 回 答	肯 定 派	否 定 派
全体		501	26	138	182	124	31	164	306
		100.0	5.2	27.5	36.3	24.8	6.2	32.7	61.1
性別	男性	227	6.6	25.6	36.6	27.3	4.0	32.2	63.9
	女性	264	4.2	29.2	36.4	22.7	7.6	33.3	59.1
	無回答	10	-	30.0	30.0	20.0	20.0	30.0	50.0
年代別	20歳代	44	-	31.8	40.9	27.3	-	31.8	68.2
	30歳代	93	3.2	29.0	36.6	30.1	1.1	32.3	66.7
	40歳代	75	4.0	18.7	52.0	25.3	-	22.7	77.3
	50歳代	75	2.7	28.0	38.7	28.0	2.7	30.7	66.7
	60歳代	128	7.8	32.8	30.5	20.3	8.6	40.6	50.8
	70歳以上	82	9.8	22.0	26.8	22.0	19.5	31.7	48.8
	無回答	4	-	50.0	25.0	-	25.0	50.0	25.0
小学校区別	太宰府小学校区	47	2.1	29.8	34.0	25.5	8.5	31.9	59.6
	太宰府東小学校区	38	5.3	23.7	42.1	26.3	2.6	28.9	68.4
	太宰府南小学校区	41	12.2	19.5	39.0	19.5	9.8	31.7	58.5
	水城小学校区	72	5.6	34.7	34.7	20.8	4.2	40.3	55.6
	水城西小学校区	64	1.6	28.1	39.1	28.1	3.1	29.7	67.2
	太宰府西小学校区	67	4.5	31.3	46.3	9.0	9.0	35.8	55.2
	国分小学校区	84	6.0	27.4	32.1	27.4	7.1	33.3	59.5
	わからない	71	7.0	22.5	32.4	35.2	2.8	29.6	67.6
	無回答	17	-	23.5	17.6	41.2	17.6	23.5	58.8

(2) 広報広聴機能の充実 (問 62)

「広報だざいふ」

- 「広報だざいふ」の閲読率は8割以上。
- 20歳代の閲読率が目立って低い。

「広報だざいふ」について、「いつも読んでいる」が55.1%、「たまに読んでいる」が28.9%で、これらを合わせた『閲読率』は84.0%と8割を超えている。「ほとんど読まない」は6.8%と「読まない」を合わせた『非閲読率』は14.6%である。

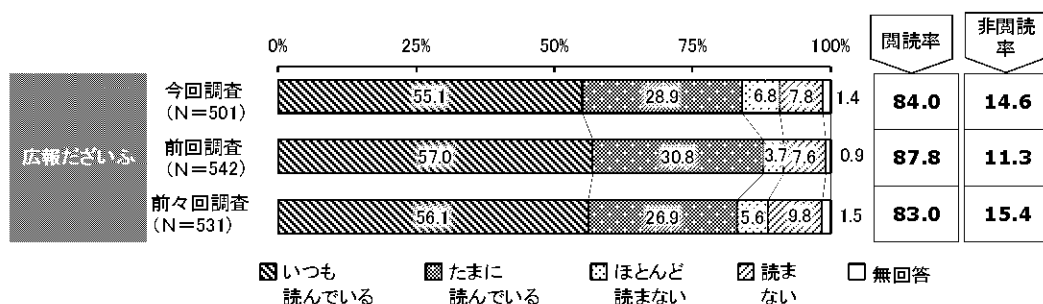
経年比較でみると、前回調査に比べ『閲読率』が3.8ポイント減少している。

性別でみると、女性は「いつも読んでいる」が65.9%で、男性の43.2%を大幅に上回っている。なお、「たまに読んでいる」を合わせた『閲読率』は女性91.7%、男性76.2%に上る。

年代別にみると、『閲読率』は30歳代以上ではいずれも8割以上に上っているが、20歳代は『閲読率』が約6割、「いつも読んでいる」も22.7%と、他の年代に比べて目立って低くなっている。

小学校区別にみると、太宰府小学校は『閲読率』が76.6%と低くなっている。

問 62. あなたは「広報だざいふ」を読んでいますか。(○は1つ)



		標本数	いつも読んでいる (%)	たまに読んでいる (%)	ほとんど読まない (%)	読まない (%)	無回答 (%)	閲読率 (%)	非閲読率 (%)
全体		501	55.1	28.9	6.8	7.8	1.4	84.0	14.6
性別	男性	227	43.2	33.0	10.6	11.9	1.3	76.2	22.5
	女性	264	65.9	25.8	3.8	3.4	1.1	91.7	7.2
	無回答	10	40.0	20.0	-	30.0	10.0	60.0	30.0
年代別	20歳代	44	22.7	40.9	11.4	25.0	-	63.6	36.4
	30歳代	93	59.1	24.7	6.5	8.6	1.1	83.9	15.1
	40歳代	75	46.7	33.3	9.3	10.7	-	80.0	20.0
	50歳代	75	54.7	29.3	6.7	8.0	1.3	84.0	14.7
	60歳代	128	65.6	27.3	3.9	1.6	1.6	93.0	5.5
	70歳以上	82	58.5	26.8	7.3	3.7	3.7	85.4	11.0
	無回答	4	75.0	-	-	25.0	-	75.0	25.0
小学校区別	太宰府小学校区	47	44.7	31.9	12.8	8.5	2.1	76.6	21.3
	太宰府東小学校区	38	57.9	34.2	-	7.9	-	92.1	7.9
	太宰府南小学校区	41	56.1	34.1	4.9	2.4	2.4	90.2	7.3
	水城小学校区	72	65.3	23.6	2.8	8.3	-	88.9	11.1
	水城西小学校区	64	57.8	28.1	6.3	4.7	3.1	85.9	10.9
	太宰府西小学校区	67	67.2	14.9	7.5	10.4	-	82.1	17.9
	国分小学校区	84	52.4	36.9	3.6	6.0	1.2	89.3	9.5
	わからない	71	40.8	31.0	14.1	12.7	1.4	71.8	26.8
	無回答	17	47.1	29.4	11.8	5.9	5.9	76.5	17.6

「議会だより」

- 「議会だより」の閲読率は6割弱。
- 60歳以上の閲読率が高い。

「議会だより」については、「いつも読んでいる」は24.6%、「たまに読んでいる」は34.9%で、『閲読率』は59.5%である。「ほとんど読まない」は19.8%、「読まない」は17.6%である。

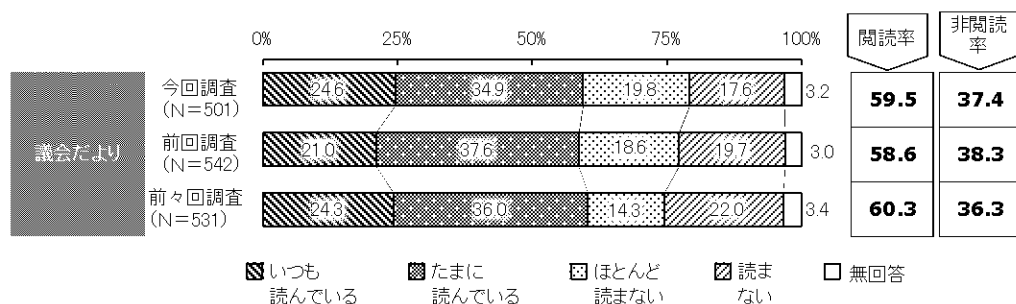
経年比較でみると、大きな変化はない。

性別でみると、全体の『閲読率』では男女で大きな差はないが、「いつも読んでいる」は男性が女性より3.8ポイント高くなっている。

年代別では、60歳以上は「いつも読んでいる」が3割以上を占めており、『閲読率』は60歳代で72.7%と最も高くなっている。

小学校区別では、太宰府東小学校区、太宰府南小学校区、太宰府西小学校区で『閲読率』が7割を超えている。

問 62. あなたは「太宰府市議会だより」を読んでいますか。(○は1つ)



		標本数	いつも読んでいる	たまに読んでいる	ほとんど読まない	読まない	無回答	閲読率 (%)	非閲読率 (%)
全体		501	123	175	99	88	16	298	187
		100.0	24.6	34.9	19.8	17.6	3.2	59.5	37.4
性別	男性	227	26.9	31.3	18.9	19.4	3.5	58.1	38.3
	女性	264	23.1	37.9	20.8	15.5	2.7	61.0	36.4
	無回答	10	10.0	40.0	10.0	30.0	10.0	50.0	40.0
年代別	20歳代	44	6.8	15.9	22.7	54.5	-	22.7	77.3
	30歳代	93	22.6	32.3	26.9	16.1	2.2	54.8	43.0
	40歳代	75	16.0	40.0	24.0	20.0	-	56.0	44.0
	50歳代	75	22.7	36.0	24.0	14.7	2.7	58.7	38.7
	60歳代	128	33.6	39.1	13.3	10.2	3.9	72.7	23.4
	70歳以上	82	31.7	36.6	12.2	11.0	8.5	68.3	23.2
無回答	4	25.0	25.0	25.0	25.0	-	50.0	50.0	
小学校区別	太宰府小学校区	47	19.1	31.9	21.3	23.4	4.3	51.1	44.7
	太宰府東小学校区	38	26.3	47.4	7.9	18.4	-	73.7	26.3
	太宰府南小学校区	41	24.4	46.3	22.0	4.9	2.4	70.7	26.8
	水城小学校区	72	18.1	40.3	19.4	20.8	1.4	58.3	40.3
	水城西小学校区	64	29.7	28.1	18.8	18.8	4.7	57.8	37.5
	太宰府西小学校区	67	38.8	32.8	10.4	16.4	1.5	71.6	26.9
	国分小学校区	84	21.4	44.0	17.9	13.1	3.6	65.5	31.0
	わからない	71	18.3	18.3	38.0	23.9	1.4	36.6	62.0
	無回答	17	29.4	23.5	11.8	11.8	23.5	52.9	23.5

「太宰府市ホームページ」

- 「太宰府市ホームページ」の閲覧率は32.6%。
- 年代による閲覧率の差がある。

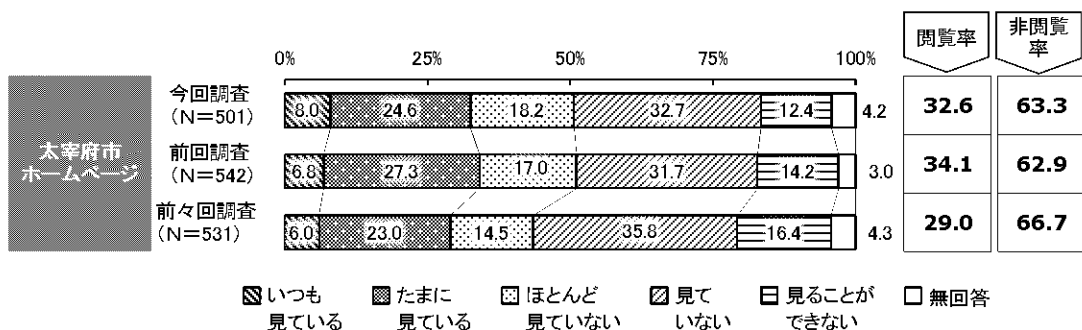
「太宰府市ホームページ」については、「いつも見ている」は8.0%、「たまに見ている」は24.6%で、閲覧しているのは約3人に1人で、紙媒体に比べると閲覧率は低くなっている。「ほとんど見ていない」は18.2%、「見ていない」は32.7%、「見ることはできない」は12.4%である。

経年比較でみると、前回調査より『閲覧率』が1.5ポイント減少している。

年代別では、50歳代、70歳以上の閲覧率が比較的高くなっているが、他の年代は3割に届かず、年代により閲覧率の差がある。なお、60歳以上では「見ることはできない」が約2割で、他の年代に比べてやや高くなっている。

小学校区別にみると、太宰府南小学校区では『閲覧率』が46.3%と最も高くなっている。

問 62. あなたは「太宰府市ホームページ」を見ていますか。(○は1つ)



		標本数	いつも見ている	たまに見ている	ほとんど見ていない	見ていない	見ることはできない	無回答	閲覧率	非閲覧率
全体		501	40	123	91	164	62	21	163	317
		100.0	8.0	24.6	18.2	32.7	12.4	4.2	32.6	63.3
性別	男性	227	9.3	21.1	21.1	33.0	11.0	4.4	30.4	65.2
	女性	264	6.8	27.3	16.3	32.2	13.3	4.2	34.1	61.7
	無回答	10	10.0	30.0	-	40.0	20.0	-	40.0	60.0
年代別	20歳代	44	-	22.7	18.2	50.0	9.1	-	22.7	77.3
	30歳代	93	3.2	23.7	28.0	37.6	5.4	2.2	26.9	71.0
	40歳代	75	4.0	24.0	29.3	33.3	9.3	-	28.0	72.0
	50歳代	75	5.3	32.0	18.7	32.0	9.3	2.7	37.3	60.0
	60歳代	128	10.2	19.5	10.9	35.2	18.8	5.5	29.7	64.8
	70歳以上	82	19.5	26.8	8.5	14.6	18.3	12.2	46.3	41.5
	無回答	4	25.0	50.0	-	25.0	-	-	75.0	25.0
小学校区別	太宰府小学校区	47	2.1	25.5	12.8	40.4	14.9	4.3	27.7	68.1
	太宰府東小学校区	38	13.2	23.7	10.5	39.5	10.5	2.6	36.8	60.5
	太宰府南小学校区	41	9.8	36.6	29.3	17.1	4.9	2.4	46.3	51.2
	水城小学校区	72	8.3	18.1	16.7	40.3	12.5	4.2	26.4	69.4
	水城西小学校区	64	9.4	18.8	21.9	35.9	6.3	7.8	28.1	64.1
	太宰府西小学校区	67	6.0	25.4	14.9	32.8	16.4	4.5	31.3	64.2
	国分小学校区	84	8.3	25.0	16.7	31.0	15.5	3.6	33.3	63.1
	わからない	71	4.2	26.8	25.4	26.8	15.5	1.4	31.0	67.6
	無回答	17	23.5	29.4	5.9	23.5	5.9	11.8	52.9	35.3

(3) 情報公開・提供に対する意識 (問 63)

- 約6割が市の情報公開について肯定的に評価。
- 男性は女性に比べて『肯定派』の割合が低い。

市が積極的に情報公開をしているかという質問に対しては、「そう思う」7.8%、「どちらかと言えばそう思う」48.9%で、これらを合わせた『肯定派』が56.7%となる。「そう思わない」は10.2%、「どちらかと言えばそう思わない」は26.9%で、これらを合わせた『否定派』は37.1%である。

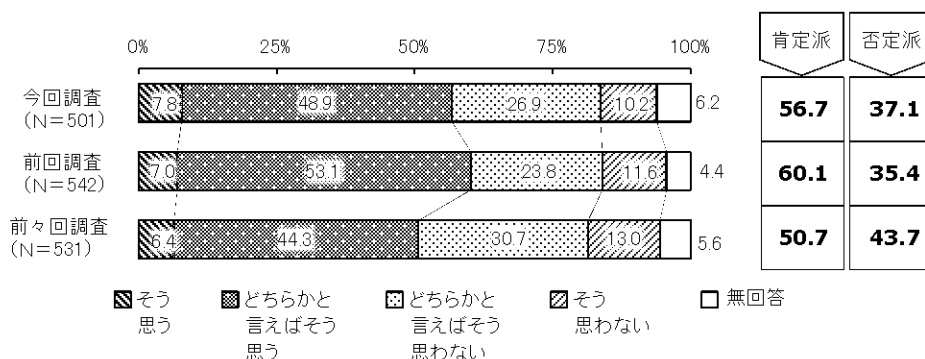
経年比較でみると、前回調査に比べ『肯定派』が3.4ポイント減少している。

性別でみると、『肯定派』は男性52.0%、女性62.1%、一方『否定派』は男性42.7%、女性31.8%となっており、男性の方が厳しい評価となっている。

年代別にみると、30歳以下の年齢層では『肯定派』が6割台を占めるが、40歳以上では5割台となっており、年齢の低い層の方がやや肯定的な見方をしている。

小学校区別では、太宰府東小学校区と国分小学校区で『肯定派』が5割を下回っている。

問 63. あなたは市が積極的に情報を公開・提供していると思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派	否定派
全体		501	39	245	135	51	31	284	186
		100.0	7.8	48.9	26.9	10.2	6.2	56.7	37.1
性別	男性	227	7.0	44.9	30.4	12.3	5.3	52.0	42.7
	女性	264	8.7	53.4	23.9	8.0	6.1	62.1	31.8
	無回答	10	-	20.0	30.0	20.0	30.0	20.0	50.0
年代別	20歳代	44	2.3	61.4	13.6	18.2	4.5	63.6	31.8
	30歳代	93	9.7	52.7	28.0	7.5	2.2	62.4	35.5
	40歳代	75	2.7	50.7	28.0	13.3	5.3	53.3	41.3
	50歳代	75	8.0	45.3	32.0	12.0	2.7	53.3	44.0
	60歳代	128	10.9	46.9	28.1	7.0	7.0	57.8	35.2
	70歳以上	82	8.5	41.5	26.8	9.8	13.4	50.0	36.6
	無回答	4	-	75.0	-	-	25.0	75.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	47	4.3	53.2	23.4	14.9	4.3	57.4	38.3
	太宰府東小学校区	38	5.3	42.1	42.1	7.9	2.6	47.4	50.0
	太宰府南小学校区	41	7.3	53.7	31.7	2.4	4.9	61.0	34.1
	水城小学校区	72	11.1	56.9	16.7	11.1	4.2	68.1	27.8
	水城西小学校区	64	4.7	53.1	28.1	7.8	6.3	57.8	35.9
	太宰府西小学校区	67	10.4	53.7	28.4	1.5	6.0	64.2	29.9
	国分小学校区	84	6.0	41.7	32.1	14.3	6.0	47.6	46.4
	わからない	71	11.3	40.8	22.5	16.9	8.5	52.1	39.4
	無回答	17	5.9	41.2	17.6	11.8	23.5	47.1	29.4

(4) パソコンの有無 (問 64)

●パソコンの本人または家族の所有率は7割台。
 ●年齢が高いほど所有率が低くなる傾向にあり、70歳以上は5割弱が「持っていない」。

パソコンの所有については、「持っている」が57.7%、「家族が持っている」が18.0%で、本人または家族がパソコンを所有している人が7割台となっている。「ない」は23.6%である。

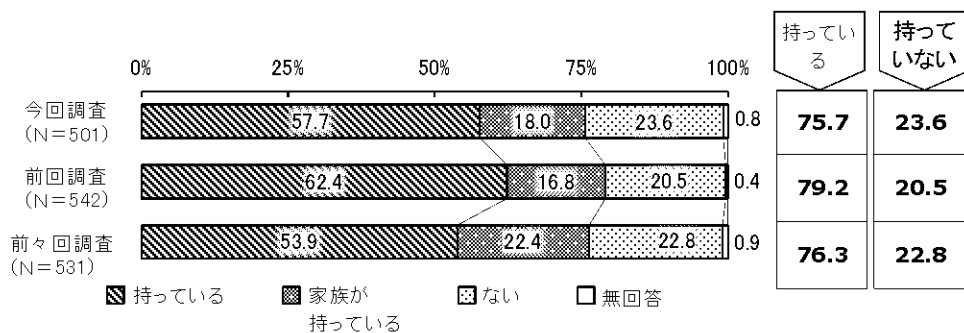
経年比較でみると、前回調査より「持っている」が4.7ポイント減少している。一方で、「家族が持っている」が1.2ポイント増加しており、全体の所有率は減少している。

性別にみると、「持っている」は男性68.3%、女性49.2%で、性別による所有率の差が大きい。なお、「家族が持っている」は男性8.4%に対し、女性26.1%となっている。

年代別にみると、30歳から50歳代は7割以上が「持っている」と回答しているが、年齢が高くなるほど所有率が低下する。60歳代では「家族が持っている」が29.7%と高くなっており、本人または家族による所有の合計は約4分3に上るが、70歳以上では「ない」が47.6%と高くなっている。

小学校区別では、太宰府小学校区では「持っている」が70.2%と他の小学校区と比べて特に高い。一方、国分小学校区では「ない」が27.4%と他の小学校区に比べ最も高い。

問 64. あなたはパソコンを持っていますか。(○は1つ)



		標本数	持っている	家族が持っている	ない	無回答
全体		501	289	90	118	4
		100.0	57.7	18.0	23.6	0.8
性別	男性	227	68.3	8.4	22.0	1.3
	女性	264	49.2	26.1	24.2	0.4
	無回答	10	40.0	20.0	40.0	-
年代別	20歳代	44	61.4	22.7	15.9	-
	30歳代	93	74.2	10.8	15.1	-
	40歳代	75	80.0	9.3	10.7	-
	50歳代	75	73.3	9.3	16.0	1.3
	60歳代	128	41.4	29.7	28.1	0.8
	70歳以上	82	28.0	22.0	47.6	2.4
	無回答	4	50.0	-	50.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	47	70.2	8.5	19.1	2.1
	太宰府東小学校区	38	57.9	26.3	15.8	-
	太宰府南小学校区	41	58.5	22.0	17.1	2.4
	水城小学校区	72	56.9	16.7	26.4	-
	水城西小学校区	64	59.4	26.6	14.1	-
	太宰府西小学校区	67	53.7	19.4	25.4	1.5
	国分小学校区	84	56.0	15.5	27.4	1.2
	わからない	71	57.7	14.1	28.2	-
	無回答	17	41.2	11.8	47.1	-

(5) パソコンのインターネット利用の有無 (問 64 付問 1)

- パソコンでのインターネット利用率は8割以上で前回調査よりも増。
- 年齢が高くなるほど利用率が低下する。

パソコンでのインターネットは、「利用している」が86.3%、「利用していない」が13.2%で、約9割が利用している。

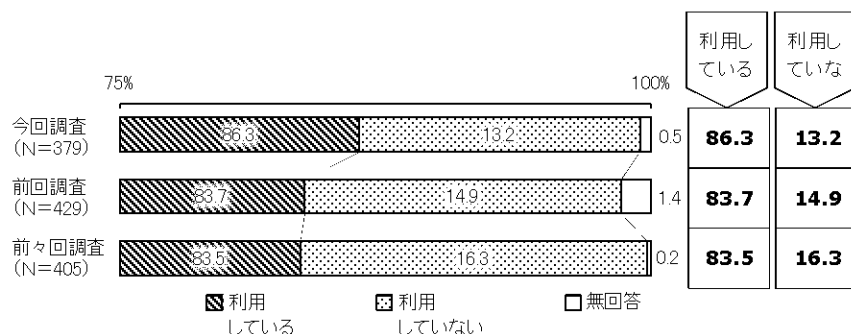
経年比較でみると、前回調査から「利用している」という人が2.6ポイント増加している。

性別では大きな差はない。

年代別にみると、いずれの年代も「利用している」が8割以上となり高くなっている。

小学校区別では、どの小学校区でも「利用している」が高くなっているが、太宰府小学校区では100.0%となっている。

問 64 付問 1【持っている・家族が持っていると答えた方】におたずねします。そのパソコンを使ってインターネットを利用していますか。(○は1つ)



		標本数	利用している (%)	利用していない (%)	無回答 (%)
全体		379	86.3	13.2	0.5
性別	男性	174	85.6	14.4	-
	女性	199	86.4	12.6	1.0
	無回答	6	100.0	-	-
年代別	20歳代	37	89.2	10.8	-
	30歳代	79	92.4	7.6	-
	40歳代	67	98.5	1.5	-
	50歳代	62	85.5	12.9	1.6
	60歳代	91	81.3	17.6	1.1
	70歳以上	41	63.4	36.6	-
小学校区別	太宰府小学校区	2	100.0	-	-
	太宰府東小学校区	32	90.6	9.4	-
	太宰府南小学校区	33	87.9	12.1	-
	水城小学校区	53	84.9	15.1	-
	水城西小学校区	55	87.3	12.7	-
	太宰府西小学校区	49	85.7	14.3	-
	国分小学校区	60	81.7	16.7	1.7
	わからない	51	92.2	5.9	2.0
	無回答	9	66.7	33.3	-

(6) 携帯電話の有無 (問 65)

●約9割が携帯電話を所有している。
 ●40歳代以下ではほぼ100%が所有。

携帯電話を「持っている」は90.0%、「持っていない」は9.2%で、9割以上が携帯電話を所有している。

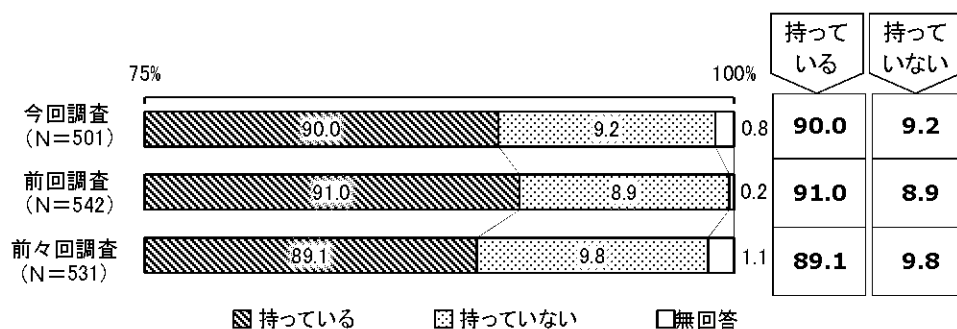
経年比較でみると大きな変化はない。

性別では、男女ともに約9割が携帯電話を所有しており差はみられない。

年代別でみると、70歳以上を除く年代で9割を超えている。70歳代では、58.5%と低くなっている。

小学校区別では、太宰府東小学校区と太宰府南小学校区で「ない」と回答する人が1割を超えている。

問 65. あなたは携帯電話を持っていますか。(○は1つ)



		標本数	持っている (%)	持っていない (%)	無回答 (%)
全体		501	90.0	9.2	0.8
性別	男性	227	89.9	9.3	0.9
	女性	264	90.9	8.3	0.8
	無回答	10	70.0	30.0	-
年代別	20歳代	44	97.7	2.3	-
	30歳代	93	100.0	-	-
	40歳代	75	98.7	1.3	-
	50歳代	75	96.0	2.7	1.3
	60歳代	128	91.4	7.8	0.8
	70歳以上	82	58.5	39.0	2.4
	無回答	4	100.0	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	47	91.5	6.4	2.1
	太宰府東小学校区	38	86.8	13.2	-
	太宰府南小学校区	41	80.5	17.1	2.4
	水城小学校区	72	91.7	8.3	-
	水城西小学校区	64	95.3	4.7	-
	太宰府西小学校区	67	95.5	4.5	-
	国分小学校区	84	88.1	9.5	2.4
	わからない	71	94.4	5.6	-
	無回答	17	58.8	41.2	-

(7) 携帯電話によるインターネット利用の有無 (問 65 付問 1)

- 携帯電話でのインターネットを「利用している」は約4割。
- 20歳代では8割以上、30・40歳代では6割以上が利用している。

携帯電話でのインターネットの利用については、「利用している」が43.5%、「利用していない」が56.1%で、パソコンでの利用に比べると、利用率は低い。

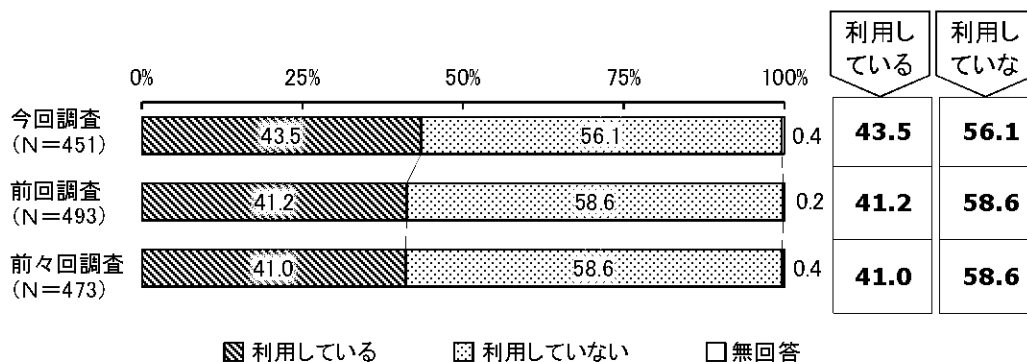
経年比較でみると、前回調査から利用率が2.3ポイント増加している。

性別では、男性が50.0%であるのに対し、女性は38.3%となっている。

年代別にみると、年齢が低くなるほど利用率が高くなる傾向が顕著にみられ、20歳代では83.7%、30歳代では69.9%、40歳代でも60.8%が利用しているが、60歳代以上では利用率が大幅に低下している。

小学校区別では、水城西小学校区で「利用している」人が5割を超えている。一方、太宰府南小学校区では「利用していない」が63.6%と最も高くなっている。

問 65 付問 1. 【持っていると答えた方】におたずねします。その携帯電話を使ってインターネットを利用していますか。(○は1つ)



		標本数	利用している (%)	利用していない (%)	無回答 (%)
全体		451	43.5	56.1	0.4
性別	男性	204	50.0	49.5	0.5
	女性	240	38.3	61.3	0.4
	無回答	7	28.6	71.4	-
年代別	20歳代	43	83.7	16.3	-
	30歳代	93	69.9	30.1	-
	40歳代	74	60.8	39.2	-
	50歳代	72	31.9	66.7	1.4
	60歳代	117	16.2	83.8	-
	70歳以上	48	12.5	85.4	2.1
	無回答	4	50.0	50.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	43	41.9	58.1	-
	太宰府東小学校区	33	39.4	60.6	-
	太宰府南小学校区	33	36.4	63.6	-
	水城西小学校区	66	42.4	57.6	-
	水城西小学校区	61	50.8	49.2	-
	太宰府西小学校区	64	39.1	59.4	1.6
	国分小学校区	74	39.2	59.5	1.4
	わからない	67	56.7	43.3	-
	無回答	10	20.0	80.0	-

2. 市民のための行政運営

(1) 行財政改革 (問 66)

●効果的な行政運営については『肯定派』(47.5%)と『否定派』(42.7%)。

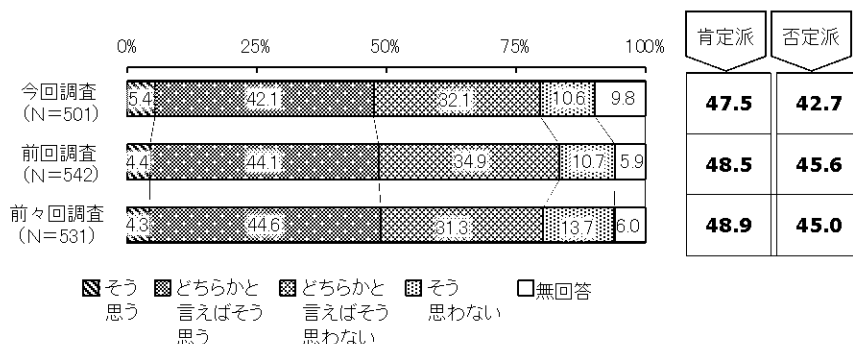
太宰府市が効果的に行政運営を行っているかについては、「そう思う」が 5.4%、「どちらかと言えばそう思う」が 42.1%で、これらを合わせた『肯定派』が 47.5%、「そう思わない」が 10.6%、「どちらかと言えばそう思わない」が 32.1%で、これらを合わせた『否定派』が 42.7%であり、『肯定派』が上回っている。

性別でみると、『肯定派』の割合には男女で大きな差はないが、『否定派』は男性(45.8%)が女性(39.8%)よりも6ポイント高くなっている。

年代別にみると、50歳以上で『肯定派』の割合が低くなっており、4割台にとどまっている。

小学校区別にみると、太宰府東小学校区では『肯定派』が34.2%と目立って低くなっている。一方、太宰府西小学校区では『肯定派』が58.2%と6割近くとなっている。

問 66. あなたは太宰府市が効果的に行政運営を行っていると思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派 (%)	否定派 (%)
全体		501	5.4	42.1	32.1	10.6	9.8	47.5	42.7
性別	男性	227	4.4	42.3	33.9	11.9	7.5	46.7	45.8
	女性	264	6.4	42.8	30.7	9.1	11.0	49.2	39.8
	無回答	10	-	20.0	30.0	20.0	30.0	20.0	50.0
年代別	20歳代	44	-	52.3	34.1	9.1	4.5	52.3	43.2
	30歳代	93	5.4	45.2	35.5	8.6	5.4	50.5	44.1
	40歳代	75	5.3	48.0	34.7	8.0	4.0	53.3	42.7
	50歳代	75	4.0	37.3	38.7	12.0	8.0	41.3	50.7
	60歳代	128	6.3	40.6	28.9	12.5	11.7	46.9	41.4
	70歳以上	82	8.5	35.4	24.4	12.2	19.5	43.9	36.6
	無回答	4	-	25.0	25.0	-	50.0	25.0	25.0
小学校区別	太宰府小学校区	47	6.4	34.0	36.2	14.9	8.5	40.4	51.1
	太宰府東小学校区	38	2.6	31.6	42.1	13.2	10.5	34.2	55.3
	太宰府南小学校区	41	2.4	53.7	29.3	7.3	7.3	56.1	36.6
	水城小学校区	72	6.9	40.3	36.1	9.7	6.9	47.2	45.8
	水城西小学校区	64	4.7	46.9	25.0	14.1	9.4	51.6	39.1
	太宰府西小学校区	67	9.0	49.3	32.8	3.0	6.0	58.2	35.8
	国分小学校区	84	4.8	39.3	33.3	13.1	9.5	44.0	46.4
	わからない	71	5.6	45.1	26.8	9.9	12.7	50.7	36.6
	無回答	17	-	23.5	29.4	11.8	35.3	23.5	41.2

(2) 市職員の応対や行動に対する意識 (問 67)

- 市職員の仕事への取り組みについては約6割が満足。
- 『満足派』が減少傾向にある。

市職員の応対や行動などの仕事への取り組みに対しては、「満足している」が9.6%、「ある程度満足している」が47.7%で、この2つを合わせた『満足派』は57.3%である。「満足していない」は12.8%、「あまり満足していない」は24.8%で、これらを合わせた『不満派』の割合は37.6%となっており、『満足派』が『不満派』を19.7ポイント上回っている。

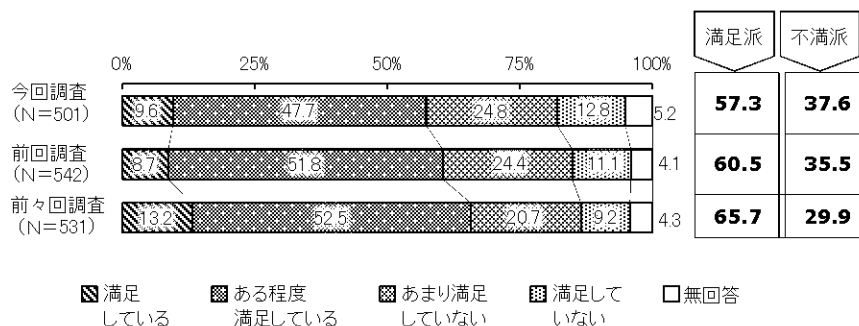
経年比較でみると、『満足派』が減少傾向にある。

性別でみると、『満足派』の割合には男女で大きな差はみられない。

年代別でみると、50歳代で『満足派』が46.7%と目立って低くなっている。

小学校区別にみると、『満足派』の割合が高いのは太宰府南小学校区(78.0%)である。

問 67. あなたは市職員の応対や行動などの仕事に対する取り組みについて、満足していますか。(○は1つ)



		標本数	い満足して	い満あるし程度	な足あ いしま りてり い満	い満 な足 ない して	無回答	満足派 (%)	不満派 (%)
全体		501	48	239	124	64	26	287	188
		100.0	9.6	47.7	24.8	12.8	5.2	57.3	37.6
性別	男性	227	8.8	48.0	23.3	13.7	6.2	56.8	37.0
	女性	264	10.6	48.1	26.1	11.7	3.4	58.7	37.9
	無回答	10	-	30.0	20.0	20.0	30.0	30.0	40.0
年代別	20歳代	44	9.1	54.5	20.5	11.4	4.5	63.6	31.8
	30歳代	93	9.7	49.5	22.6	16.1	2.2	59.1	38.7
	40歳代	75	5.3	52.0	28.0	12.0	2.7	57.3	40.0
	50歳代	75	4.0	42.7	34.7	14.7	4.0	46.7	49.3
	60歳代	128	12.5	48.4	21.9	10.9	6.3	60.9	32.8
	70歳以上	82	14.6	42.7	22.0	12.2	8.5	57.3	34.1
	無回答	4	-	25.0	25.0	-	50.0	25.0	25.0
小学校区別	太宰府小学校区	47	10.6	42.6	29.8	12.8	4.3	53.2	42.6
	太宰府東小学校区	38	2.6	57.9	18.4	21.1	-	60.5	39.5
	太宰府南小学校区	41	17.1	61.0	12.2	7.3	2.4	78.0	19.5
	水城小学校区	72	13.9	45.8	23.6	11.1	5.6	59.7	34.7
	水城西小学校区	64	7.8	45.3	28.1	14.1	4.7	53.1	42.2
	太宰府西小学校区	67	9.0	52.2	29.9	3.0	6.0	61.2	32.8
	国分小学校区	84	6.0	47.6	23.8	17.9	4.8	53.6	41.7
	わからない	71	8.5	43.7	28.2	15.5	4.2	52.1	43.7
	無回答	17	17.6	23.5	17.6	11.8	29.4	41.2	29.4

(3) 市役所窓口の利用の有無 (問 68)

●過去1年間の市役所窓口の利用率は約8割。

過去1年間で市の役所の窓口の利用の有無については、「利用した」が78.8%、「利用していない」が19.6%で、約8割がこの1年に窓口を利用している。

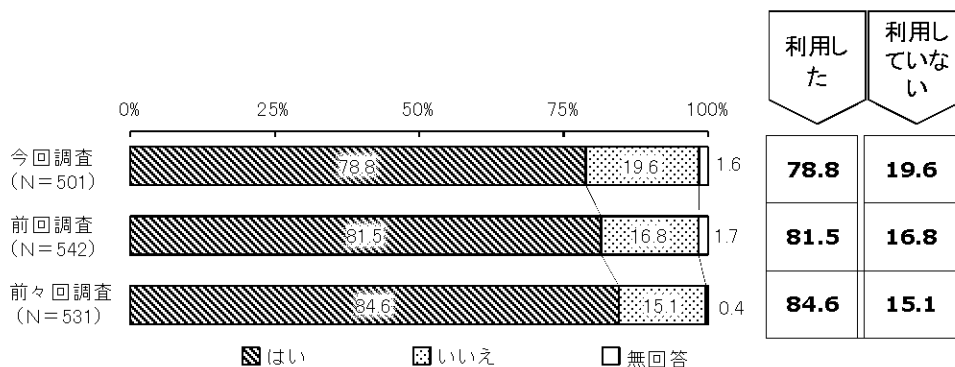
経年比較でみると、窓口利用は減少傾向にある。

性別でみると、男女ともに「利用した」が約8割となり、大きな差はみられない。

年代別にみると、利用率が相対的に低いのは40歳代(66.7%)と70歳以上(75.6%)となっている。

小学校区別にみると、太宰府西小学校区は「利用していない」が26.9%で、市役所窓口の利用率が他の校区に比べて低くなっている。

問 68. あなたは過去1年間で、市役所の窓口を利用したことがありますか。(○は1つ)



		標本数	はい (%)	いいえ (%)	無回答 (%)
全体		501	78.8	19.6	1.6
性別	男性	227	79.3	18.5	2.2
	女性	264	79.2	20.1	0.8
	無回答	10	60.0	30.0	10.0
年代別	20歳代	44	81.8	18.2	-
	30歳代	93	80.6	18.3	1.1
	40歳代	75	66.7	33.3	-
	50歳代	75	81.3	18.7	-
	60歳代	128	85.2	11.7	3.1
	70歳以上	82	75.6	20.7	3.7
	無回答	4	50.0	50.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	47	85.1	14.9	-
	太宰府東小学校区	38	78.9	21.1	-
	太宰府南小学校区	41	87.8	9.8	2.4
	水城小学校区	72	75.0	23.6	1.4
	水城西小学校区	64	75.0	21.9	3.1
	太宰府西小学校区	67	70.1	26.9	3.0
	国分小学校区	84	79.8	17.9	2.4
	わからない	71	85.9	14.1	-
	無回答	17	70.6	29.4	-

(4) 事務処理の迅速性に対する意識 (問 68 付問 1)

●窓口の事務処理は『満足派』が8割以上を占めている。

市役所を利用した人(395人)に窓口の事務処理についてたずねたところ、「とても迅速だった」(22.0%)、「どちらかと言えば迅速だった」(60.0%)を合わせた『満足派』は82.0%で、8割以上の人々が窓口での事務処理が迅速だったと感じている。一方、「とても遅かった」(4.1%)、「どちらかと言えば遅かった」(10.6%)を合わせた『不満派』は14.7%であった。

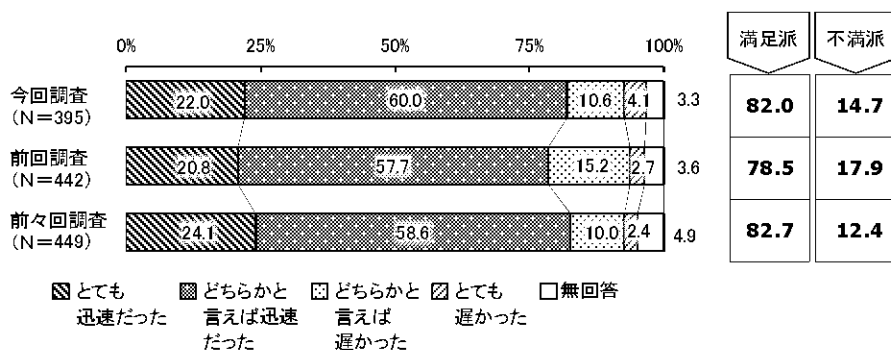
経年比較でみると、前回調査に比べて『満足派』が3.5ポイント増加し、『不満派』が3.2ポイント減少しており、満足の度合いが増加している。

性別にみると、『満足派』は男性の方が6.7ポイント高くなっている。

年代別にみると、『満足派』は50歳代(68.9%)と低くなっている。

小学校区別にみると、『満足派』は太宰府東小学校区(70.0%)、太宰府西小学校区(74.5%)と他の小学校区と比べて低くなっている。

問 68 付問 1. 【はいと答えた方】におたずねします。窓口での事務処理は迅速でしたか。(〇は1つ)



		標本数	とても迅速だった	どちらかと言えば迅速だった	どちらかと言えば遅かった	とても遅かった	無回答	満足派	不満派
全体		395	22.0	60.0	10.6	4.1	3.3	82.0	14.7
性別	男性	180	20.6	65.0	7.8	2.8	3.9	85.6	10.6
	女性	209	23.0	56.0	13.4	5.3	2.4	78.9	18.7
	無回答	6	33.3	50.0	-	-	16.7	83.3	-
年代別	20歳代	36	13.9	75.0	11.1	-	-	88.9	11.1
	30歳代	75	21.3	64.0	12.0	1.3	1.3	85.3	13.3
	40歳代	50	26.0	58.0	10.0	2.0	4.0	84.0	12.0
	50歳代	61	18.0	50.8	14.8	13.1	3.3	68.9	27.9
	60歳代	109	20.2	61.5	11.0	3.7	3.7	81.7	14.7
	70歳以上	62	30.6	54.8	4.8	3.2	6.5	85.5	8.1
無回答	2	50.0	50.0	-	-	-	100.0	-	
小学校区別	太宰府小学校区	40	27.5	57.5	5.0	5.0	5.0	85.0	10.0
	太宰府東小学校区	30	20.0	50.0	23.3	3.3	3.3	70.0	26.7
	太宰府南小学校区	36	36.1	52.8	8.3	-	2.8	88.9	8.3
	水城小学校区	54	18.5	63.0	13.0	1.9	3.7	81.5	14.8
	水城西小学校区	48	16.7	70.8	8.3	4.2	-	87.5	12.5
	太宰府西小学校区	47	23.4	51.1	17.0	6.4	2.1	74.5	23.4
	国分小学校区	67	16.4	67.2	7.5	6.0	3.0	83.6	13.4
	わからない	61	23.0	57.4	9.8	4.9	4.9	80.3	14.8
	無回答	12	25.0	66.7	-	-	-	91.7	-

(5) 職員の対応・姿勢に対する満足度 (問 68 付問 2)

●窓口での職員の対応に『満足』が約8割を占める。

窓口での職員の対応について、「とても満足した」が21.0%で、「どちらかと言えば満足した」(56.2%)を合わせた『満足派』は77.2%に上る。「とても不満だった」(5.1%)、「どちらかと言えば不満だった」(13.4%)を合わせた『不満派』は18.5%である。

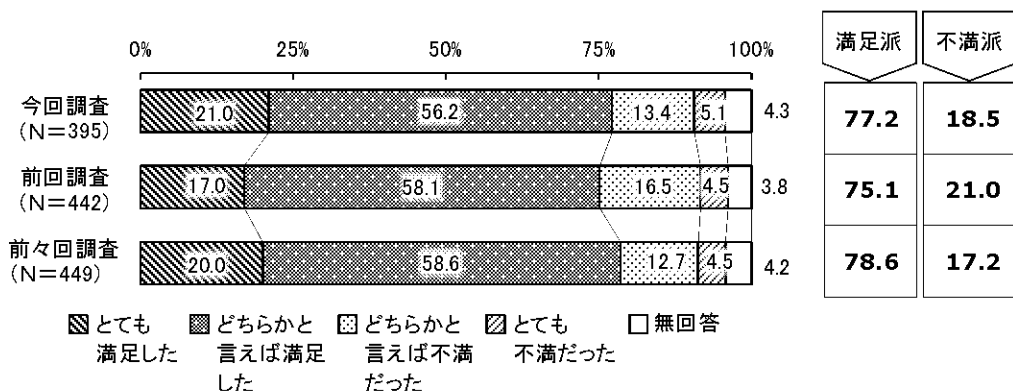
経年比較でみると、前回調査より『満足派』がわずかに増加している。

性別でみると、男性は『満足派』(81.7%)の割合が女性(72.7%)に比べて高い。

年代別でみると、『不満派』の割合が50歳代(21.3%)と60歳代(22.9%)で比較的高くなっている。

小学校区別にみると、『満足派』の割合が相対的に高いのは太宰府南小学校区(91.7%)である。

問 68 付問 2. 【はいと答えた方】におたずねします。窓口での職員の対応や姿勢に満足しましたか。(○は1つ)



		標本数	とても満足	どちらかと言えば満足	どちらかと言えば不満	とても不満	無回答	満足派 (%)	不満派 (%)
全体		395	83	222	53	20	17	305	73
性別	男性	180	20.0	61.7	11.1	5.0	2.2	81.7	16.1
	女性	209	22.0	50.7	15.8	5.3	6.2	72.7	21.1
	無回答	6	16.7	83.3	-	-	-	100.0	-
年代別	20歳代	36	27.8	61.1	11.1	-	-	88.9	11.1
	30歳代	75	18.7	58.7	12.0	6.7	4.0	77.3	18.7
	40歳代	50	20.0	60.0	12.0	2.0	6.0	80.0	14.0
	50歳代	61	9.8	54.1	13.1	8.2	14.8	63.9	21.3
	60歳代	109	23.9	51.4	16.5	6.4	1.8	75.2	22.9
	70歳以上	62	25.8	58.1	12.9	3.2	-	83.9	16.1
	無回答	2	50.0	50.0	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	40	25.0	57.5	15.0	-	2.5	82.5	15.0
	太宰府東小学校区	30	20.0	53.3	16.7	6.7	3.3	73.3	23.3
	太宰府南小学校区	36	33.3	58.3	8.3	-	-	91.7	8.3
	水城小学校区	54	24.1	53.7	13.0	3.7	5.6	77.8	16.7
	水城西小学校区	48	16.7	60.4	10.4	8.3	4.2	77.1	18.8
	太宰府西小学校区	47	14.9	51.1	23.4	-	10.6	66.0	23.4
	国分小学校区	67	16.4	62.7	6.0	11.9	3.0	79.1	17.9
	わからない	61	23.0	50.8	16.4	6.6	3.3	73.8	23.0
	無回答	12	16.7	58.3	16.7	-	8.3	75.0	16.7

3. 広域連携の推進（問 69）

●住民サービスの向上について、『肯定派』が4割弱、『否定派』は2割強。前回調査より『肯定派』が増加。

広域的な取り組みによる住民サービスの向上については、「そう思う」が10.8%、「どちらかと言えばそう思う」が27.1%で、これらを合わせた『肯定派』は37.9%である。一方、「そう思わない」(9.8%)と「どちらかと言えばそう思わない」(16.2%)を合わせた『否定派』は26.0%となっており、『肯定派』が『否定派』を11.9ポイント上回っている。なお、この質問に対しては「わからない」が31.7%と多くなっている。

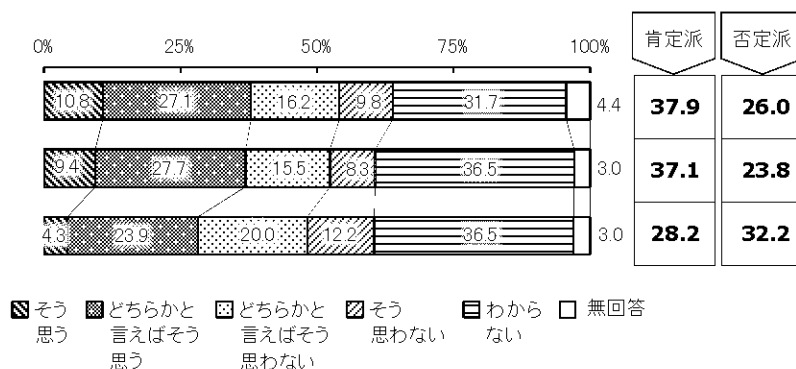
経年比較でみると、前回調査に比べ『肯定派』が微増し、一方『否定派』は2.2ポイント増加している。

性別にみると、『肯定派』は男女で大きな差がみられないが、『否定派』の割合は男性の方が高くなっている。

年代別にみると、40歳代と70歳以上で『肯定派』の割合が相対的に高い。

小学校区別では、『肯定派』は太宰府南小学校区が58.5%と最も高く、『否定派』は太宰府東小学校区が39.5%と最も高い。

問 69. 福岡都市圏では道路等交通基盤整備や水資源の確保、図書館や体育館の広域利用による生涯学習の体制づくりなど、都市圏に共通する課題に対し、圏域全体の一体的な発展と、魅力と活力にあふれた住みよい都市圏の形成に向けて取組を進めています。あなたは福岡都市圏の広域的な取組によって住民サービスが向上したと思いますか。（○は1つ）



	標本数	回答内容					無回答	肯定派	否定派
		そう思う	思言ど うえち ばら そか うと	思言ど わえち なばら いそか うと	い そう 思わ な	わ から ない			
全体	501	54	136	81	49	159	22	190	130
	100.0	10.8	27.1	16.2	9.8	31.7	4.4	37.9	26.0
性別									
男性	227	12.3	24.2	18.1	11.5	29.5	4.4	36.6	29.5
女性	264	9.8	29.5	14.4	8.3	34.1	3.8	39.4	22.7
無回答	10	-	30.0	20.0	10.0	20.0	20.0	30.0	30.0
年代別									
20歳代	44	6.8	25.0	18.2	6.8	43.2	-	31.8	25.0
30歳代	93	10.8	26.9	18.3	5.4	37.6	1.1	37.6	23.7
40歳代	75	14.7	28.0	16.0	12.0	28.0	1.3	42.7	28.0
50歳代	75	10.7	18.7	24.0	10.7	32.0	4.0	29.3	34.7
60歳代	128	10.2	28.9	18.0	10.9	25.0	7.0	39.1	28.9
70歳以上	82	11.0	31.7	2.4	12.2	32.9	9.8	42.7	14.6
無回答	4	-	50.0	25.0	-	25.0	-	50.0	25.0
小学校区別									
太宰府小学校区	47	8.5	19.1	19.1	14.9	36.2	2.1	27.7	34.0
太宰府東小学校区	38	5.3	15.8	15.8	23.7	36.8	2.6	21.1	39.5
太宰府南小学校区	41	14.6	43.9	17.1	-	19.5	4.9	58.5	17.1
水城小学校区	72	9.7	29.2	15.3	8.3	36.1	1.4	38.9	23.6
水城西小学校区	64	12.5	31.3	21.9	3.1	25.0	6.3	43.8	25.0
太宰府西小学校区	67	10.4	25.4	17.9	7.5	34.3	4.5	35.8	25.4
国分小学校区	84	14.3	27.4	15.5	14.3	23.8	4.8	41.7	29.8
わからない	71	9.9	25.4	8.5	8.5	43.7	4.2	35.2	16.9
無回答	17	5.9	23.5	17.6	11.8	23.5	17.6	29.4	29.4

第5節 まちづくりに対する自由意見

小学校区	性別	年代	自由意見	分類番号
水城	女性	30歳代	乳幼児の定期健診が、集団検診の場合があり困った。個別健診より待ち時間がはるかに長く、病気の子も居て、移らないか心配になった。担当医が流れ作業的で、診断内容に疑問。月に1回しかないので、用事で都合の悪い日と重なっても、検診を優先せざるをえない。全て個別健診にして、自由度を高めて欲しい。	1
水城西	女性	30歳代	子供と遊ぶことのできる公園が近所にはないため、いつも車で公園に行っています。近所に公園が欲しいのと、遠い公園でも駐車場がもっと欲しいです。	1
わからない	女性	30歳代	図書館をいつも利用させてもらっていますが、もう少しだけすべての人に使いやすい環境へ作り変えることは不可能でしょうか。大人にとっては落ち着ける空間ではありませんが、小さい子供を連れて行く場所としては、もう少し明るく、広々としてなおかつ使いやすい図書館になってくれたらなぁと勝手ながら思います。	1
太宰府	女性	60歳代	“子育て支援の推進”を特に望みます。相変わらず保育園に入れないうちの子供さんたちがおられるようで、福岡市で今1校が小学校の空いた教室を保育所にして、小学生と幼児がお互いに交流し、触れ合える場を作って成功していると聞きました。夢のような話ですが、ケアハウスの方々との交流や地域全体で子供たちを育てていければ良いなと思っています。そのことによって若い世代の家族が増えれば元気な太宰府になるのでは。	1
太宰府	男性	30歳代	保育所の待機児童を減らせるよう体制を整えてほしい。	1
水城	女性	20歳代	子育て支援等、いろいろあっているようだが、そちら側からのアピールが弱いと思う。一人では行く気になれない。	1
水城	女性	30歳代	太宰府市の待機児童の多さに驚きました。働きたい、働かなければいけない状況下で、保育園に入れないうちの子供さんたちは、若い共働き世代にはとても住みやすい環境とは言えません。子育て支援の充実こそが、住みやすいまちづくり、安心できるまちづくりにつながるのではないのでしょうか。	1
水城西	女性	30歳代	子どもが乳幼児なのですが、市の施設に授乳室やおむつ替えシートなどがなく（少なく）、不便を感じることがあります。小さな子どもがいても出かけやすいまちにすることも、子育て支援の一環ではないのでしょうか？市長をはじめ市議も年配の男性が多いので、そういったことへの考え（意識）がないのだろうなと感じています。「（それぞれの）施設に来て（利用して）ください」と言われても、設備がなければ「行ってみようかな」と思う気持ちも萎えてしまいます。	1
太宰府西	女性	20歳代	小さい子供を育てるには少し不便だと思います。（医療費など）	1
太宰府西	女性	20歳代	子どもを持つ身としては、少子化なのは理解できますが、やはり待機児童の問題をどうにかしたい。働きたくても働けない、認可外では高すぎてやはり難しいなど。保育園が新しく出来ましたが、兄弟一緒に入れない等、友人も悩んでいます。	1
太宰府西	女性	30歳代	出前保育を月1でなく、もっとふやしてもらえないのでしょうか？	1
太宰府西	女性	30歳代	公民館を週1で、子育て支援の場として開放していただけないものでしょうか？いきいきまでは遠いです。	1
太宰府西	女性	30歳代	いきいきでの催し（子どもとの遊び）を増やしてください。	1
太宰府東	女性	40歳代	坂が多く高齢者には生活しにくい街であると思うが、当の高齢者はこの街を大変気に入っているようである。しかし病院や買い物に行くにも車がないと大変そうです。まはろば号のようなバスが、今のよう大きな通りを走るのではなく、小さくても地域に入っていけるバスになればよいと思う。今後もっともっと高齢化は進んでいくと思うので、例えば大牟田のように、認知症の方が迷ったときに街全体で救おうとするような流れを作ったり、高齢者が住みやすい、太宰府に住んでいてよかった、と思うような街にしてください。	2
わからない	女性	60歳代	シルバー人材センター等市と関係の薄い公共機関の、土・日の対応を月に一度でよいので希望します。	2
水城西	女性	30歳代	太宰府に転居してきて、未だに障がいのある方が働く店や会社を見たことがありませんが…。	3
太宰府	女性	40歳代	障がい者福祉が、春日市・福岡市に比べても悪い。	3
水城	女性	30歳代	市内放送があっても、全く聞き取れず、何を言っていたのか理解できない。工夫をしてほしい。	4
わからない	女性	30歳代	見通しの悪い道路沿いにミラーの設置（住宅街の曲がり角、小道から主要道路へ出るような場所）があるとより便利に。周囲に高齢者が多いので、より住みやすい街になるのではと思います。	4
国分	女性	30歳代	下大利駅をよく利用しますが、階段しかないの、赤ちゃんを連れてお母さんや足の悪い方、お年寄りの方が階段でつまづいて転倒されたので、お声をかけたことがあります。エレベーターがない駅はもう少ないのではないのでしょうか。工事はお金もかかり大変だと思いますが、エレベーターは絶対必要だと思います。（東口、西口二か所に）	4
太宰府西	女性	40歳代	防災面でも警固断層があり、大きな地震が起きたら…と思うと不安を感じます。	7

国分	女性	40歳代	災害時の各自治体の放送設備の点検・充実を図ってほしいです。広範囲にまで聞こえるようにスピーカーを点在させるなど、万が一の時に備えてほしいと思います。	7
水城西	女性	40歳代	暗い道が多い。	8
国分	女性	70歳代	悪質業者が実に堂々と商売をしている。5,000円で物干しを設置すると言いながら、6万円以上請求する業者や、点検してやると屋根に上がりながら自分で瓦を動かし、修理代を請求する業者。その都度警察を呼んでいるが、数か月するとまた市内で見かける。法的に規制はできないのか？	8
太宰府西	男性	40歳代	県道31号線沿いに住んでいますが、24時間営業などの店舗が建ち並び、ごみのポイ捨てや騒音がひどく、毎朝のごみの片づけが欠かせません。空き巣被害にもあったことから、今後も不安を感じます。	8
わからない	男性	50歳代	防犯に力を入れてほしい。	8
国分	男性	20歳代	水城1丁目の交差点から老松神社までの歩道を歩きやすくしてほしい。	9
太宰府東	女性	30歳代	五条駅入口の交差点付近の道路が狭く子どもと手をつないで歩くスペースもありません。危険なので何とかありませんか。	9
太宰府	男性	30歳代	学校が多すぎるため自転車と歩行者のマナーが悪い。	9
わからない	男性	30歳代	歩道の整備をして欲しい。まほろば号に乗車すると、若い者は歩けという年寄がいるが、若い人でも湯の谷地区などは歩いて五条駅に行くには、2～3回危なく感じる車との遭遇がある。側溝に歩道を整備してくれるだけで、かなり生活がしやすくなると思う。	9
水城	女性	20歳代	都府楼大橋の下、脇道に入るところが、車でも歩いていても危ないと思う。狭いうえに車がスピードを出すし。特に公園側のラーメン屋の通りの方。	9
太宰府東	女性	60歳代	学園通りに住んでおりますが、歩道もなく学生は横に並んで歩き、自転車に乗る私は困ります。「自転車は左側通行」を守るよう広報なりで知らせてください。学園通りと名をうつからにはそれなりの整備が必要です。また、五条駅近く的一方通行は、出来るだけ早く整備してください。歩行が困難です。車が我がもの顔で走り、老人は大変危険です。	9
太宰府	女性	50歳代	三条に住み始めて3年程ですが、太宰府駅から内山方面の道路両側の歩道幅があまりに狭く、常に危険を感じています。観光地であり、遠方からの来客や駐車場等から参道への道すがら、必要上利用する人、高齢者や障がい者、子ども等安心して利用できるように希望します。	9
水城西	女性	30歳代	広い道路沿いは街灯がたくさんで、夜明るいけど、一歩小道に入ると街灯が少なく、結構暗くて少し怖く感じたことがあるので、小道にももう少し街灯が増えるといいと思います。	9
わからない	女性	30歳代	段差のないバリアフリーな歩道。	9
太宰府西	女性	60歳代	家の近くに街灯がないので設置してほしい。	9
太宰府西	女性	60歳代	小道にスピードを出して車が進入してくるので、子どもたちの通学が危険ですので、交通標識を立ててほしい。	9
国分	女性	30歳代	太宰府は盆地なので冬は大変寒く、歩道など雪がとけずしばらく残り、車道を歩くことが多いです。他の地区の方もきっとそういうところが多いと思います。雪がたくさん降るなど積雪が予想される時は、歩道に石灰をまくなどの対策をしていただけると大変助かります。	9
太宰府	女性	70歳代	バリアフリーをとっても気にした街づくり案がなされている様ですが、それにはお金がかかります。先日パリに一週間ほど滞在し、地下鉄を毎日利用して移動をしました。駅の構内はエスカレーターもエレベーターもない駅がほとんど。日本人から見ると身体の不自由な人（老人）には決してやさしいハード（駅）ではありませんでした。パリの人にバリアフリーの話をすると、返答は「フランス人は心がバリアフリーですから」と。そう言えば大きな荷物を持って階段を使っている時、若い男性が手伝ってくれました。“普通にいつもしてるよ”といった気負いのない動作にうらやましさと心の豊かさを感じました。ハードだけではなく、ソフト（心）の教育を希望します。	11
国分	男性	70歳代	町づくりについては住民が自分本位ではなく、お互いの思いやりがあればよい町が出来ると思います。	11
太宰府南	男性	40歳代	学校施設はある程度あるが、せっきく他の地域から若い世代の人たちが毎年大学等に入学し流入しているのに、そのような人たちと地域交流があれば、もっといい町づくり、防犯が出来ると思う。	13
太宰府西	男性	60歳代	65歳で街に貢献できるものがあれば参加していきたい。	2
太宰府	男性	50歳代	偽りのない古きを重んじて、教養のある地域づくりをしてほしい。	31
水城	男性	60歳代	孫達に週三回学院院中で柔道を習わせているけど、市内の中学に柔道の部活がないため、全国大会へ行く程のレベルの高い子供たちが他県の中学へ通うほどです。ぜひ学院院中に柔道部を作って、正義感の強い、心の強い子供たちを育てたいと願います。教育委員会にも言いましたが、指導員がいないとかで断られました。指導員は優秀な人材がたくさんいらっしゃいます。	16
国分	男性	20歳代	人材は資源であり、その充実した教育は不可欠。したがって教育者の教育に限らず、学生が芸術・スポーツ等において活躍できる機会を大切に、支援していただきたいと思っています。	16

第2章 調査結果の分析

水城西	男性	50歳代	アンケートの中にも関連する質問がありましたが、今後節電や環境問題についても国民の意識が高まってくると思います。現在の勤務地がある筑紫野市では、太陽光発電の設置にあたって補助金が交付されていますが、太宰府市でも検討していただけたらと思います。当初の設置費用がかなり高額なので…。	19
太宰府	女性	60歳代	ごみ減量を推進している割には今の（小）のごみ袋は大きく、太宰府は単身者の方も多く、ごみ減量を心がけているので、小より小さいごみ袋があってもいいと思います。（夏場はこまめに捨てたいので）	19
国分	女性	60歳代	先を考慮しての開発を望みます。今をみると、思い付きで取り入れ、現在は無駄なものもあるように感じます。箱ものなど多すぎるのでは？維持費等かかりすぎでは…。	33
太宰府西	女性	20歳代	ごみなどの分別は、スーパーや公民館などで回収（古紙など）してもらえるのでありがたい。	19
国分	男性	60歳代	太宰府は文化・歴史の街であるにも拘らず、3号線、水城周辺の状況は景観を損ねるものであり、美化への取り組みをすべきである。	22
国分	男性	60歳代	私は毎日散歩していますが、犬のフンが多いのががっかりしています。犬のフンの処理を飼い主に徹底させてほしい。観光都市としての景観を損なっていると思います。	22
太宰府南	男性	50歳代	生活道路の犬のフンが多く、条例で規制してもらいたい。	17
わからない	女性	30歳代	景観について、太宰府天満宮周辺だけでなく、太宰府のあちこちに歴史にゆかりのある場所があるので、街全体に統一感があるとより魅力的になるのではと思います。（道案内の表示等設備は現代的な技術を取り入れつつ）	22
国分	男性	50歳代	太宰府新駅の設置。九州新幹線が開通したのに、JRの玄関がないのは大変寂しい感じがいたします。5号線沿いは発展していますし大佐野のベスト電器のある交差点から洗出までの道路を整備し、洗出から政庁跡へ抜ける道路を新設すると共に、高速と交わる地点に新駅を設置する。都府楼前駅の建替。改札が二箇所あり、駅員の配置等不経済であるので、駅舎を建替える。コンビニがなくなり、大変不便であり、駅舎内にコンビニや店を設置する。ロータリーが一つしかないので、駐輪場を廃止し、ロータリーを設置する。新3号線ガード下を整備し、雨の日でも濡れない歩道を設置する。西鉄新駅の設置。幸都二丁目の大東建託付近に新駅を設置する。水城駅（JR）と連絡に適していると思われるので、新駅と水城駅までの道路を整備。駅連絡コミュニティバスの運行。都府楼前駅と水城駅間を結ぶルートの新設する。	23
太宰府西	女性	40歳代	天満宮や史跡、国立博物館で知名度はありますが、中央公民館、図書館、体育館、公民館などの施設がもっと充実してほしいし、大型商業施設も市内にはなく、市が潤っていると感じられないです。総合病院もありませんよね。コミュニティや大型体育館を作るには何とか市が潤うすべを見出してほしいと思います。	23
太宰府西	女性	30歳代	太宰府市は住みやすい町だと思いますので、便利の良い場所や環境のよい土地などに住宅街や分譲マンションが来ると、人が定住するのではないのでしょうか。私は30代で子供（未就学児）がいるのですが、上記のような住宅がほとんどないため、近隣の市に引っ越しを決めました。	23
水城	女性	20歳代	公園が多いのは良いと思うが、何も遊具がないところもあるので、何か置いてほしい。	23
水城	女性	30歳代	公園をきれいに保ってほしい。トイレや雑草処理。たまに遊べないくらい草が生えているときがある。	23
水城	男性	40歳代	朱雀2丁目の桜町公園はあまりにも不衛生で、子どもが遊ぶ場所ではない。猫のフンが多く、防犯上も問題があると思う。去年くらいに改修工事をしたらいいが、ほとんど何も変わっていない。こういうのが税金の無駄遣いというのでは…。前向きな対応をしてもらいたい。お願いします。	23
太宰府西	男性	60歳代	市が運営管理する施設（公園、市民農園等）の運営・管理が杜撰で、既得権化しているように思われる。こういうことが市役所の動きが鈍いすべての原点のようにも感ずる。確かに人員削減で手が回らないのかもしれないが、こういうこまかいことを改めないと、市民の不公平感は払しょくされない。民間やボランティアで対処すれば市役所職員の複雑な立場も解消されると思う。街づくりについても既得権化しないように、不公平感が発生しないような手法と、市の毅然とした態度を切に望みます。	23
太宰府西	女性	60歳代	公園には時計を設置してほしい。	23
国分	男性	20歳代	下大利駅行きまほろば号を通して欲しい。	24
国分	女性	60歳代	道路の渋滞がひどいのは、まいってしまいます。梅大路や太宰府郵便局近くの信号には⇒矢印の信号をつけてもらわないと、先がつかまって身動きが出来ません。それと、ゆめ畑の角の信号で、お正月、駐車場が満車で入れず、信号ですっと止まったままで後の車が前に進まず、太宰府カントリーの所から大渋滞でした。交通整備を太宰府が一番に考えなくてはいけないのではないのでしょうか。	24
太宰府	男性	50歳代	道路環境整備・ベビーカー・手押し車（高齢者）の利用しやすい歩道の整備、サイクルゾーンの整備、市内移動における車移動を減らすような施策を。バリアフリーの促進を（車利用優先でない）人に優しい街に。	24
太宰府南	男性	60歳代	市役所より車で出るとき、信号がないため出入りしにくいし危ない。五条の交差点は時差式か矢印信号にしてほしい。	24

第5節 まちづくりに対する自由意見

太宰府南	男性	60歳代	太宰府天満宮参拝客の交通渋滞が気になる。駐車場を整備して、ある区画は車両進入禁止にしてもらいたい。駐車場利用客の呼び込みの姿はみつともないので、共同で駐車場管理をするシステムを開発してもらいたい。	24
太宰府	男性	30歳代	正月の渋滞をどうにかしてほしい。抜け道じゃないのに夜中車が通ってうるさくて眠れない。太宰府線の電車の本数が少ない。道路の狭いところが多い。	24
太宰府	男性	40歳代	石坂1丁目に住んでおりますが、近隣の主道路（太宰府ゴルフ場前～梅大路交差点間）の渋滞により、石坂1丁目～五条間の住宅街を抜け道として利用する車が多く、騒音問題、通学路での危険性等で大変迷惑しております。本来であれば閑静な住宅街のはずが、そうでなくなっております。狭い道を抜け道として利用するのは何も良いことはありません。何とか規制をしていただきたい。夢畑～西鉄五条駅間付近です。	24
太宰府	男性	30歳代	梅大路の交差点で踏切に右折する方はほとんど進まないで時差式にしてほしい。	24
太宰府	男性	30歳代	天満宮周辺が生活で使用する道路だが、2011年年初に参拝客に加えて国立博物館がゴッホ展を開催していたため、終了するまでは毎週日曜日は渋滞がひどく買い物に非常に困ったので、参拝客の増える時期に合わせて国立博物館でも集客の多くなりそうな催しは避けてほしい。	24
水城	女性	60歳代	市民の森はなぜ通行止めになっているのですか。	24
太宰府西	女性	20歳代	市役所までの交通の便が不便で、太宰府市に来てまだ慣れていないとわかりづらい。	24
太宰府西	女性	20歳代	コミュニティバスはとても助かっています。出来たら本数を増やしてほしいと思います。	24
わからない	女性	40歳代	太宰府は太宰府天満宮をはじめとして、多くの史跡や文化財に恵まれて、ととても素晴らしい町だと思う。国立博物館もできたことによって、最近は観光客も増え、とてもにぎわっていると思う。しかし、特にお正月、また土曜、日曜、祝日などは車の渋滞などで、住民は大迷惑している。専用の道路整備など対応策を取ってほしい！西鉄太宰府駅周辺の環境整備も必要だと思う。自転車置き場を別に確保して、歩道をもっと広くすることも必要だと思う。今後の太宰府市に期待します。	24
太宰府西	女性	20歳代	水道代が高いと思います。	25
水城西	男性	30歳代	上下水道代が高すぎるので、早急な値下げをしてほしい。	25
水城西	女性	60歳代	町全体に活気がないように思います。企業・商店の活性化を推進して、人をもっと動かしていくと、町が生きていくと思います。	27
国分	男性	30歳代	住環境としては、ベッドタウンとして立地等気に入っているが、夜間になると寂しさも感じてしまう雰囲気がある。駅周辺のにぎやかさがあまり感じられないのもあるかもしれない。	27
太宰府	男性	70歳代	私は県外から太宰府市にやって来ましたので、友人に太宰府をPRして観光に来てもらうのですが、友人・知人（特に外国人）を天満宮に連れて行くと、「ここは学問の神様ではなく、商売の神様でしょう。」と云われ恥ずかしい思いをします。	29
国分	男性	60歳代	太宰府政庁を復元してもらいたい。熊本城の例のごとく、寄付を募り、国からも補助金を得て、観光都市太宰府のシンボルにしてもらいたい。	28
水城	女性	60歳代	都府楼跡や市民の森を整備して市民が楽しく利用できるようにしてください。	28
水城	女性	60歳代	都府楼跡の裏側は空地が多いのはなぜですか。	28
水城	男性	70歳代	観世音寺並びに戒壇院において、年1～2回の大法会等を催す等して、天満宮はもとよりもっともっと多くの人に知ってもらおう（歴史的、文化的に）とよいと思います。ライトアップは大変結構です。	28
わからない	男性	30歳代	住み始めて2年ですが、街の雰囲気がとても好きです。もっと「九州の都」としての歴史の町をアピール出来たらいいのにとおもいます。天満宮だけでなく、政庁跡を有効活用できるのではないかと思います。	28
水城	女性	50歳代	政庁通りは観光バスが通りますが、空き地の雑草が景観を悪くしていると思います。多くの人々がバスの中から景色を見られているのに、政庁跡は整備されていますが少し行ったら雑草があつたりして恥ずかしいです。歴史のあるまちづくりを考えてほしいと思います。	28
水城	女性	40歳代	太宰府は天満宮しか知らない人が多いので、観世音寺辺りのピーアールがもっと上手に出来ればいいのにと思う。（もったいない）	29
水城西	男性	50歳代	観光・文化的な都市として発展してもらいたいです。しかし、駅周辺等整備が悪く、印象が非常に悪くなっています。太宰府市の観光の良し悪しは、入り口である駅周辺の「カンキョウ」にあると思ひ、書かせていただきました。	29
太宰府東	女性	60歳代	天満宮だけでなく、春の森、秋の森への散歩道を充実させ、もう少し案内板を増やし、観光客を誘うような標示が必要です。たとえば一周すると何分位とか、花や樹の名前を示すとか、詳しくです。	29
国分	女性	70歳代	九州国立博物館から空港へ、道路公園前を通る直行バスを走らせてほしいと願っています。きっと大きな道が開けるとおもっています。	29
水城	男性	20歳代	だざいふ検定はとていいことだと思った。	29
太宰府東	女性	40歳代	市内在住の外国人との交流について、そのような「ふれあいの場」があるのなら参加したいです。（広報やHPでお知らせしてあったなら申し訳ありません。見ていませんでした。）小学生・中学生の子供たちも外国人と友達になりたいがっています。	30

第2章 調査結果の分析

水城	男性	20歳代	留学生や外国人の人と、もっといろいろな形で交流することができると思う。スポーツ大会、ホームステイを募る、小・中学校に行ってお学生と交流する、市役所とか働けそうところで働かせてみる、国際センターみたいななのをつくる、など。	30
水城	男性	50歳代	古くから住んでいる住民の意見が取り上げられやすいが、他市町村から転勤してきた人から積極的に当市の良いところ、悪いところを指摘してもらおうと思う。	31
太宰府西	男性	60歳代	市にとって都合の良いことは情報公開し、都合の悪いことは公開していない。都合の悪いことも積極的に公開してこそ真の情報公開ではないか。であれば、市民も本気で協力することが出来る。	32
水城西	男性	40歳代	太宰府市の行事は一部のの人たちだけで行われていないか？	31
太宰府	女性	50歳代	こちらに居住して2年足らずで、市の取り組んでいること等ほとんど知らないで、アンケートにも答えられない箇所がありました。基本計画について、具体的にそれぞれどういう活動がなされ、現在それがどのようになっているか、広報等で知らせてほしいと思います。	32
太宰府西	女性	30歳代	アパートに住んでいて、家の前が田んぼで、急に野焼きや農薬の散布が行われるので、洗濯物やふとんを干していると迷惑です。市の方で、月の第何日に野焼きをします、薬をまきますなど、規制をしていただけないのでしょうか？今も環境は気に入っていますが、他の市へ引っ越すか悩んでいます。太宰府は本当にいいところなので、自分の両親も呼んで住ませたいくらいです。	17
水城	男性	20歳代	HPはやや見にくい。いろいろな情報をのせるのはいいが、ごちゃごちゃしている。	32
不明	男性	50歳代	「20世紀後半のやり方※」はやめて、お金をかけず人力と知恵、汗をかいて住みよいまちづくりをやりましょう！※借金をして公共事業をする。経済成長とかいって不要なダムや河川工事をする。公共事業とかいって公園に不要なモニュメントを設置する。借金をして市の事業をする。⇒なぜこうなったかを一度検証したほうが良い。すべて知恵のない安易なやり方だったと私は思う。	33
国分	男性	60歳代	端末自治会が好きなように運営しているが、もっと市が指導してどこも変わらないような方針にしてほしい。我が自治会は、組織の人々はボランティアの感覚は全く見られず、報酬のみ多くもらっている（年間150万以上）。自治会運営について指導の必要があると思われる。	31
太宰府西	男性	60歳代	公務員の上から目線は古代から変わっていない。もう目覚めるべきではないか。	33
国分	女性	50歳代	観光地としての整備は第一に取り組んでいるのに、市民のための道路整備、草刈りなどほとんど後回しで、何のために高い税金を払っているのか疑問に思う。市民のために予算は有効に使ってほしいです。	33
水城西	男性	60歳代	自治会の本部事務所としての機能が整備されていない。自治会長以下が公民館を本部として勤務できるように整備する必要がある。（電話・事務員の常駐）防災計画や自治会の行事を計画するのに活動できる場所を準備することが自治会の成長になる。市は支援をし、市民を参画しやすくすること、各市を見て太宰府は遅れている。又各自治会が機能バラバラであり、春日市等は参考になると思う。	31
太宰府東	女性	50歳代	行政がとても努力していると思います。数年前とは大きく違います。ただ、道は狭く危険（五条周辺）、下品な看板が多く、とても観光地として恥ずかしいと思います。また観世音寺の施設も風化に任せるといった感じ。なのに石碑や公園、土木工事ばかりがすすめられるのは何故でしょうか？お金の使い方のバランスがとても悪いように思います。住み続けたいというより、住むしかない状況です。ぜひいい街にしていきたい。	33
わからない	女性	60歳代	市民から聞くよりも他の自治体に研修に行ったら（近くの市町村で良いところもある。大都市は良くない）。身近にあると思うよ。太宰府市は職員におごりがあると思う。鼻が高い感じがある。男子も女子も職員も。	34
わからない	男性	30歳代	議員削減が必要。	その他
太宰府東	男性	60歳代	市議会議員の人数も多いし（10名くらいでよい）、給料・ボーナス・退職金も高すぎる。もっとボランティア精神のゼロベースで働いてほしい。	その他
水城	女性	40歳代	市役所や中央公民館etcは、休みの日でも駐車場利用出来るのに、国分のふれあい館駐車場は5時で閉まります。近くは道路が狭く、客人の時には道にしか止められず、とても不便です。市民は税金払っているのに、どうして「どうぞ、個人の責任でお使い下さい。」ということが出来ないのでしょうか。分かりません。何とかして下さい！！	その他
水城	女性	60歳代	中央公民館が使いづらいし、他の市は市民ホールとして広く活用されている。太宰府市も市民ホールとしてリフォームできないのか？ルミナス、いきいき情報センター、太宰府館、ふれあい館など小規模の施設が点在し、その施設が住民のために活用されない状態です。中央公民館をリニューアルし、中央ホールとしてほしい。	その他
太宰府	男性	30歳代	水道代が他の市町村と比べかなり高いので改善してほしい。	25
国分	男性	70歳代	色々な事態に関し窓口がわからない。市役所に行けばすべて対応、アドバイスが受けられるのでしょうか。悩み相談ごとのいわゆる駆け込み寺のような、気軽に話のできる窓口があって欲しい。	33
わからない	女性	30歳代	太宰府市の図書館内に学習室を。	13

第5節 まちづくりに対する自由意見

水城	男性	40歳代	西鉄都府楼前駅の利用者はとても多いのに、急行が止まらないことがいつも不思議に思っています。まちづくりとは少し違うかもしれませんが、JR都府楼南駅の駐輪場（新しくなってから）を以前娘が利用していたのですが、出す際にお金を入れても開かないことが何度もあり、そのたびに管理会社にTELしていたそうなのですが（時には見知らぬおば様のためにも一度TELしたことがあるそうです）、不正を働いているような印象を持たれてしまったことがイヤになっただけで、今はJR水城駅からの利用になりました。出庫利用者の多い18時以降は、一人係の方を配置されるようお願いしたいのです。イヤな思いをしなくてすむように。	24
不明	女性	50歳代	ここに住んで3～4年なのでよく分かりません。すみませんでした。少しずつ活動に参加していきたいと思います。アンケートを見て良かったです。	その他
国分	男性	70歳代	空地の管理を義務化してほしい。	その他
不明	女性	70歳代	まほろば…出来良くなりました。ありがたいと思います。良い市だと思っています。	その他
水城西	男性	60歳代	JR太宰府駅設置構想の早期実現を望みます。	23
わからない	女性	40歳代	JR水城駅と都府楼南駅の間には太宰府駅ができるという構想があったと思いますが…。九博、太宰府天満宮の基点となる市内の駅がないのは残念だなと思う。	23
水城	女性	20歳代	銀行（ATMも含めて）が遠いので不便。	その他
水城	男性	70歳代	都市計画区域内の建築物の敷地は、幅4m以上の道路に2m以上の道路に2m以上接する必要がある（接道要件42条1項）があるにもかかわらず、太宰府市内道路4mに満たない道路に両側に家が建ったりビルが建っているのを調べるがよい。都市計画課の職員は上がってきた建物の図面を1チェックで那珂土木事務所に送っている。このような職員は税金をむしばむ白蟻だ。駆除したほうがよい。市長・議会が思いつかねば、その者をなくしたほうがよい。	33
太宰府東	女性	40歳代	青山地区に住んでいます。高齢者が多いのにバスの本数がとても少ないです。100円バスも五条までしかありません。同じ税金を払っているのに不公平だと思います。私自身福岡市内まで通勤していますが、西鉄五条や二日市へ行くバスの本数が少ないために、通勤時間がとてもかかります。朝と夕方の時間だけでも増やしてほしいです。	24
水城	男性	60歳代	近隣市町村と合併して〇〇市太宰府区とすべきで、財政豊かな町になりたい。	33
国分	男性	70歳代	仕事の都合で転々とし、太宰府に落ち着いて4年あまり。様子がわからずアンケートに正確に答えることが出来ませんでしたことをお詫びいたします。	その他
太宰府東	女性	60歳代	春の森、秋の森をよく散歩しますが、犬を放し飼いにしている人を見かけます。犬が好きな人ばかりではありません。飼い主が犬を叱るのはポーズとしか思えません。	17
太宰府西	男性	60歳代	住所変更を行っていただきましたが、決まるまで数年もかかり、その後の処理が大変でした。（遠くの方はまだ手を付けていません）新規の区画作成から新住所が決まっているといいと思います。	33
国分	男性	30歳代	観光地に居住しているが、外部からの観光客は多いものの、地元の住民はそれらの観光地を利用しているのかと思うことがある。他の地域でも居住したことはあるが、それらの地域では地元施設の優待等があり、それを利用して地元住民が訪れたり、又知人を同伴して訪れたりといった波及効果も生んでいたような気がする。太宰府市に居住しているメリットのようなものが実感できない気がする。	29
太宰府西	男性	50歳代	総合病院がないので建設をお願いしたい。	その他
太宰府西	男性	50歳代	新太宰府駅の建設はどうなったのでしょうか？早期の建設を希望します。	23
太宰府東	女性	60歳代	図書館の本が少ないので残念です。	13
わからない	女性	30歳代	西鉄二日市から天神への直行バスの運行。坂の多い住宅街等を細やかに巡る小型乗り合いバス。	24
太宰府西	女性	60歳代	太宰府は天神にも近いし、海・山にも近いし、緑も多く住みやすいところだと思います。しかし、家から西鉄駅までの距離が、歩いていくのに少し不便だと思います。	24
水城西	男性	40歳代	仕事がない40代に仕事を与えてほしい。	その他
水城西	男性	40歳代	日本経済大などという犯罪を行うたびに名前を変えている大学と一緒に行政が動くのはおかしい。手を切るべき。	その他
国分	女性	70歳代	水城ヶ丘の住民は福岡市に出るには大野城の西鉄電車もJRも利用して出かけています。	24
太宰府西	女性	50歳代	まほろば号の便数をもう少し増やしてほしい。	24
太宰府西	女性	50歳代	JR太宰府駅の構想は？実現可能なのですか？	23

平成23年度太宰府まちづくり市民意識調査 自由意見の分類

目 標	分類番号	施 策 名	意見数
健やかで安らぎのある 福祉のまちづくり	01	子育て支援の推進	13
	02	高齢者福祉の推進	3
	03	障がい福祉の推進	2
	04	地域福祉の推進	3
	05	生涯健康づくりの推進	0
	06	社会保障の適正な運営	0
安全で安心して暮らせる まちづくり	07	防災・消防体制の整備充実	2
	08	防犯・暴力追放運動の推進	4
	09	交通安全対策の推進	12
	10	安全な消費生活の推進	0
豊かな心を育みふれあいを 大切にするまちづくり	11	人権を尊重するまちづくりの推進	2
	12	男女共同参画の推進	0
	13	生涯学習の推進	3
	14	社会教育の推進	0
	15	学校教育の充実	0
	16	文化芸術の振興	2
人と自然が共生する 環境にやさしいまちづくり	17	生活環境の向上	3
	18	自然共生社会の構築	0
	19	環境型社会の構築	3
	20	低炭素社会の構築	0
	21	環境教育・学習の推進	0
魅力的な生活空間が整い 産業が活気づくまちづくり	22	未来に伝える景観づくり	3
	23	計画的なまちづくりの推進	12
	24	地域交通体系の整備	19
	25	良質な水道水の安定供給	3
	26	下水道の整備と普及促進	0
	27	産業の振興	2
歴史を活かし文化を守り 育てるまちづくり	28	文化遺産の保存と活用	6
	29	観光基盤の整備充実	7
	30	国際交流・友好都市交流の推進	2
市民と共に考え共に創る まちづくり	31	市民参画の推進	5
	32	情報の共有化と活用	3
	33	市民のための行政運営	9
	34	広域連携の推進	1
その他			12
合計			136

附属資料 使用した調査票

太宰府まちづくり市民意識調査

アンケートご協力をお願い

太宰府市では、「歴史とみどり豊かな文化のまち」を将来像として掲げた第五次太宰府市総合計画（計画期間：平成23年度～平成32年度）を平成23年3月に策定し、まちづくりに取り組んでいます。その実施にあたり、市民の皆様のご意見や市の取組についての考えをお聞きして、これを今後のまちづくりに反映させていきたいと考えています。

そこでお忙しい中恐縮ですが、調査票の質問に○印でご回答いただき、3月22日（木）までに同封の返信用封筒によりポストに投函してください。（切手は不要です）

設問数が多くお手数をおかけしますが、これからのまちづくりにとって非常に重要なものですので、ぜひご協力をお願いいたします。

※このアンケートは、太宰府市にお住まいの20歳以上の方1,000人を無作為に抽出し、お願いしています。

※アンケート結果は数字で統計処理いたします。回答結果をそのまま公表することはありませんので個人情報の観点でご迷惑をおかけすることはありません。

※氏名や住所などの記入の必要はありません。

※この調査は、グローバル・ライフ・サポート(株)に委託して実施しています。

平成24年3月

太宰府市長 井上保廣

ご記入にあたって

① あて名のご本人がお答えください。

※ご本人が回答できない場合は、ご家族の方がお答えいただいても結構です。

② お答えは、あてはまる回答の番号に○印をつけてください。

③ たとえば、「1つ選んで」や「3つまで」と回答の数が指定されている質問がありますので、それぞれ指定の数を選んでください。

④ ご記入は鉛筆またはボールペンでお願いします。

◎この調査に関してのお問い合わせは、次のところをお願いします。

太宰府市 総務部 経営企画課 企画政策係

電話 921-2121（内線548）

(まず、あなた自身についておたずねします)

問1. あなたの性別についてお選びください。

1. 男
2. 女

問2. あなたの年齢を次の中からお選びください。(平成24年3月末時点で)

- | | | |
|-----------|------------|------------|
| 1. 20～24歳 | 6. 45～49歳 | 11. 70～74歳 |
| 2. 25～29歳 | 7. 50～54歳 | 12. 75～79歳 |
| 3. 30～34歳 | 8. 55～59歳 | 13. 80歳以上 |
| 4. 35～39歳 | 9. 60～64歳 | |
| 5. 40～44歳 | 10. 65～69歳 | |

問3. あなたの世帯構成について次の中からお選びください。

1. 単身世帯
2. 夫婦のみ
3. 2世代世帯(親と子)
4. 3世代世帯(親と子と孫)
5. 4世代以上
6. 兄弟姉妹のみ
7. その他()

問4. あなたのご職業を次の中からお選びください。(2つ以上あるときは主なもの1つ)

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 会社員 | 6. パート・アルバイトなど |
| 2. 農林水産業 | 7. 学生 |
| 3. 自営業(農林水産業以外) | 8. 無職 |
| 4. 団体職員・公務員 | 9. その他() |
| 5. 家事専業 | |

付問1. 【問4で5・8・9と答えた方以外で】通勤先または通学先の所在地を次の中から
お選びください。

- | | |
|---------|-------------------|
| 1. 太宰府市 | 5. 大野城市 |
| 2. 福岡市 | 6. 那珂川町 |
| 3. 筑紫野市 | 7. 1から6以外の福岡県内市町村 |
| 4. 春日市 | 8. 福岡県外 |

問5. あなたの住んでいる小学校区を次の中から選びください。

1. 太宰府小学校区
2. 太宰府東小学校区
3. 太宰府南小学校区
4. 水城小学校区
5. 水城西小学校区
6. 太宰府西小学校区
7. 国分小学校区
8. わからない

問6. あなたは太宰府市に住んで何年になりますか。(平成24年3月末時点で)
次の中から選びください。

1. 3年未満
2. 3年以上～5年未満
3. 5年以上～10年未満
4. 10年以上～15年未満
5. 15年以上～20年未満
6. 20年以上～25年未満
7. 25年以上

問7. あなたのお住まいを次の中から選びください。

1. 持ち家・分譲マンション
2. 賃貸住宅・アパート
3. 社宅・寮
4. 間借り・下宿
5. その他()

(あなた自身のお考えや日頃の暮らし、行動についておたずねします)

問 10. あなたは第五次太宰府市総合計画前期基本計画に掲げた次の34の施策について、今後どのように取り組むべきだと思いますか。

(○は施策ごとに1つ)

	1. 最優先で力を掛けて取り組むべきである	2. どちらかと言えば今までより力を掛けて取り組むべきである	3. 今までどおりでよい	4. どちらかと言えば今までより力を掛けないで取り組むべきである	5. 今までより力を掛けずに取り組むべきである	6. わからない
施策01 子育て支援の推進(子育て家庭への支援や保育サービスの充実、児童虐待の防止など)	1	2	3	4	5	6
施策02 高齢者福祉の推進(高齢者の介護予防や在宅支援の充実、生きがいづくりの推進など)	1	2	3	4	5	6
施策03 障がい福祉の推進(障がい者の生活支援や就労支援、相談体制の充実など)	1	2	3	4	5	6
施策04 地域福祉の推進(地域での福祉活動の推進や災害の被災者への援護、雇用・労働対策など)	1	2	3	4	5	6
施策05 生涯健康づくりの推進(健康づくりの支援や人材の育成、環境の整備など)	1	2	3	4	5	6
施策06 社会保障の適正な運営(国民健康保険、後期高齢者医療、国民年金、介護保険、生活保護など)	1	2	3	4	5	6
施策07 防災・消防体制の整備充実(防災体制や消防・救急体制の整備充実など)	1	2	3	4	5	6
施策08 防犯・暴力追放運動の推進(防犯体制の充実や暴力追放運動の推進など)	1	2	3	4	5	6
施策09 交通安全対策の推進(交通安全啓発の推進や交通安全施設の整備など)	1	2	3	4	5	6
施策10 安全な消費生活の推進(消費生活相談の充実や消費者意識の啓発など)	1	2	3	4	5	6
施策11 人権を尊重するまちづくりの推進(人権教育・啓発の推進や同和問題の解決など)	1	2	3	4	5	6
施策12 男女共同参画の推進(男女共同参画の啓発や女性の支援・相談・参画など)	1	2	3	4	5	6
施策13 生涯学習の推進(生涯学習・スポーツの推進や公民館・図書館・スポーツ施設の充実など)	1	2	3	4	5	6
施策14 社会教育の推進(社会教育の充実や関係団体の育成、青少年の健全育成など)	1	2	3	4	5	6
施策15 学校教育の充実(学校教育の内容や教育環境の向上、生徒指導の拡充など)	1	2	3	4	5	6
施策16 文化芸術の振興(文化芸術活動の育成・支援や市史の活用など)	1	2	3	4	5	6

	1. 最優先で力を掛けて取り組むべきである	2. どちらかと言えば今までより力を掛けて取り組むべきである	3. 今までとおりでよい	4. どちらかと言えば今までより力を掛けないで取り組むべきである	5. 今までより力を掛けずに取り組むべきである	6. わからない
施策17 生活環境の向上（生活環境の保全や環境マナーの向上、環境美化の推進など）	1	2	3	4	5	6
施策18 自然共生社会の構築（みどりや水環境の保全と創造、水とみどりのネットワークづくりなど）	1	2	3	4	5	6
施策19 循環型社会の構築（ごみの減量やリサイクルの推進、廃棄物の適正処理など）	1	2	3	4	5	6
施策20 低炭素社会の構築（省エネ対策や新エネルギー導入の促進、温室効果ガスの排出抑制など）	1	2	3	4	5	6
施策21 環境教育・学習の推進（環境教育・学習の推進や環境に優しいライフスタイルの推進など）	1	2	3	4	5	6
施策22 未来に伝える景観づくり（景観形成のための仕組みづくりや個性ある地域景観の保全など）	1	2	3	4	5	6
施策23 計画的なまちづくり（秩序ある土地利用の推進や市街地の整備、公園機能の向上など）	1	2	3	4	5	6
施策24 地域交通体系の整備（幹線道路や生活道路の整備や公共交通の利便性の向上など）	1	2	3	4	5	6
施策25 良質な水道水の安定供給（水道施設の整備・維持や健全経営など）	1	2	3	4	5	6
施策26 下水道の整備と普及促進（下水道施設の整備・維持や健全経営など）	1	2	3	4	5	6
施策27 産業の振興（商工業の振興や都市近郊農業の推進など）	1	2	3	4	5	6
施策28 文化遺産の保存と活用（史跡地の公有化や文化財の調査・保護・整備、市民遺産の活用など）	1	2	3	4	5	6
施策29 観光基盤の整備充実（観光宣伝の充実や観光資源の整備、太宰府ブランドの展開など）	1	2	3	4	5	6
施策30 国際交流・友好都市交流の推進（国際交流活動の推進や友好都市交流の推進など）	1	2	3	4	5	6
施策31 市民参画の推進（自治基本条例の制定や地域コミュニティ活動、NPO・ボランティア支援など）	1	2	3	4	5	6
施策32 情報の共有化と活用（行政情報の開示や情報セキュリティの確保、広聴・広報の充実など）	1	2	3	4	5	6
施策33 市民のための行政運営（行政改革や財政健全化の推進、行政職員の能力開発資質向上など）	1	2	3	4	5	6
施策34 広域連携の推進（広域行政の推進や道州制・市町村合併の調査・研究など）	1	2	3	4	5	6

各施策について
具体的におたずねします

子育て支援の推進

【次の2問は、中学生までのお子さまをお持ちの保護者の方だけにおたずねします。】

問 11. あなたは太宰府市では子育てがしやすいと思いますか。(○は1つ)

1. 子育てがしやすい
2. どちらかと言えば子育てがしやすい
3. どちらかと言えば子育てがしにくい
4. 子育てがしにくい

問 12. あなたは子育てに関して不安や負担感を感じますか。(○は1つ)

1. 不安や負担感がある
2. どちらかと言えば不安や負担感がある
3. どちらかと言えば不安や負担感はない
4. 全く不安や負担感はない

高齢者福祉の推進

問 13. 【65歳以上の方だけにおたずねします】

あなたは日頃から生きがいを感じて生活していますか。(○は1つ)

1. とても感じている
2. どちらかと言えば感じている
3. どちらかと言えば感じていない
4. 全く感じていない

問 14. あなたは太宰府市の高齢者福祉サービスは充実していると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない

障がい福祉の推進

問 15. あなたは太宰府市の障がい者福祉サービスは充実していると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない

問 16. あなたは市内の公共施設（駅、市役所等）が高齢者や障がい者などに配慮されていると思いますか。（○は1つ）

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない

問 17. あなたは市内の民間施設（商業施設等）が高齢者や障がい者などに配慮されていると思いますか。（○は1つ）

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない

地域福祉の推進

問 18. あなたがお住まいの地域では、地域での住民相互の支え合いなどによる福祉活動が活発に行われていると思いますか。（○は1つ）

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない

生涯健康づくりの推進

問 19. あなたのここ数週間の健康状態はいかがですか。（○は1つ）

1. とても健康である
2. 健康な方である
3. あまり健康ではない
4. 健康ではない

問 20. あなたは健康増進のために日頃から取り組んでいるものがありますか。（○は1つ）

1. ある
2. ない

問 21. あなたはこの一年間に、1回以上健康診査を受けましたか。（○は1つ）

1. 受けている
2. 受けていない

防災・消防体制の整備充実

問 22. あなたは日頃から災害に対する備えをしていますか。以下の項目について、「はい」か「いいえ」のいずれかを選んでください。(○はそれぞれ1つ)

- ① 2日分程度の食料・飲料の備蓄をしている。
1. はい 2. いいえ
- ② 避難場所を知っている。
1. はい 2. いいえ
- ③ 避難勧告などの災害情報がどこから来るかを知っている。
1. はい 2. いいえ
- ④ 家具の転落防止策をとっている。
1. はい 2. いいえ
- ⑤ 避難時に身近に手助けできる方がいますか。
1. はい 2. いいえ

防犯・暴力追放運動の推進

問 23. あなたは市内に住むことに対して防犯の面で安心していただけますか。(○は1つ)

1. とても安心してている
2. どちらかと言えば安心してている
3. どちらかと言えば不安である
4. とても不安である

付問 1. あなたの家の周囲や市内において、防犯上危険と思われるような場所がありましたら、具体的に記述してください。

()

安全な消費生活の推進

問 24. あなたやあなたの家族が、この1年間に架空・不当請求や不適正な取引行為(点検商法やキャッチセールス等)の被害を受けたり、被害にあいそうな不安を感じたことがありますか。(○は1つ)

1. 被害を受けた
2. 直接の被害はないが不安を感じた
3. 特になかった

→付問 1. 【被害を受けた・直接の被害はないが不安を感じたと答えた方】におたずねします。具体的には、どのような被害や不安ですか。(○はいくつでも)

1. 架空請求・不当請求
2. 点検商法、訪問販売(消火器・浄水器・シロアリ駆除等)
3. キャッチセールス・催眠商法による被害
4. 振り込め詐欺
5. その他(具体的に

)

問 30. あなたは普段の生活の中で、男女間の地位の平等について、どのように思いますか。
(○は1つ)

1. 女性の方が優位である
2. どちらかといえば、女性の方が優位である
3. 平等である
4. どちらかといえば、男性の方が優位である
5. 男性の方が優位である
6. わからない

生涯学習の推進

問 31. あなたは日頃から学習テーマを持って生涯学習活動に取り組んでいますか。
(○は1つ)

1. ほぼ毎日取り組んでいる
2. 週に1回程度取り組んでいる
3. 月に数回程度取り組んでいる
4. 年に数回程度取り組んでいる
5. ほとんど取り組んでいない

問 32. あなたは運動・スポーツをどれくらいの頻度で行っていますか。(○は1つ)

1. ほぼ毎日行っている
2. 週に2回程度行っている
3. 週に1回程度行っている
4. 月に数回程度行っている
5. 年に数回程度行っている
6. ほとんど行っていない

文化芸術の振興

問 33. あなたは日頃から文化芸術活動（鑑賞、参加等を含む）をしていますか。(○は1つ)

1. ほぼ毎日行っている
2. 週に1回程度行っている
3. 月に数回程度行っている
4. 年に数回程度行っている
5. ほとんど行っていない

生活環境の向上

問 34. あなたは自宅周辺的环境は清潔で衛生的だと思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない

問 35. あなたがお住まいの地域では環境マナー（ごみ出しのマナー、ごみのポイ捨て、犬・猫の飼い方、雑草など空き地の管理、近隣騒音など）が守られていると思いますか。（○は1つ）

1. かなり守られている
2. ある程度守られている
3. あまり守られていない
4. ほとんど守られていない

問 36. あなたは地域一斉清掃活動などの地域の美化活動に参加していますか。（○は1つ）

1. いつも参加している
2. たまに参加している
3. 参加していない

自然共生社会の構築

問 37. あなたは太宰府市の自然は豊かであると感じますか。（○は1つ）

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない

循環型社会の構築

問 38. あなたは日頃から、生ごみの堆肥化に取り組んでいますか。（○は1つ）

1. 取り組んでいる
2. ときどき取り組んでいる
3. あまり取り組んでいない
4. 取り組んでいない

低炭素社会の構築

問 39. あなたは日頃から、省エネルギー・省資源の活動（節電・節水や、エコバックや簡易包装をこころがけるなど）を行っていますか。（○は1つ）

1. 行っている
2. ある程度行っている
3. あまり行っていない
4. ほとんど行っていない

問 40. あなたは日頃からアイドリングストップや節電など、二酸化炭素排出削減や大気汚染防止のための活動を行っていますか。（○は1つ）

1. ほぼ毎日行っている
2. 週に1回程度行っている
3. 月に数回程度行っている
4. 年に数回程度行っている
5. ほとんど行っていない

環境教育・学習の推進

- 問 41. あなたはこの1年間で、環境に関する学習会や講演会等に参加したことがありますか。(○は1つ)
1. 年に2回以上参加している
 2. 年に1回程度は参加している
 3. 参加したことはない

未来に伝える景観づくり

- 問 42. あなたは市内の自然は美しいと思いますか。(○は1つ)
1. そう思う
 2. どちらかと言えばそう思う
 3. どちらかと言えばそう思わない
 4. そう思わない

- 問 43. あなたは史跡地・神社仏閣及びその周辺など、市内の歴史的な景観は美しいと思いますか。(○は1つ)
1. そう思う
 2. どちらかと言えばそう思う
 3. どちらかと言えばそう思わない
 4. そう思わない

- 問 44. あなたが住んでいる地区は、良好なまちなみだと思えますか。(○は1つ)
1. そう思う
 2. どちらかと言えばそう思う
 3. どちらかと言えばそう思わない
 4. そう思わない

計画的なまちづくりの推進

- 問 45. あなたのお住まいの周辺地域は、道路や公園などの都市基盤が整えられるなど、快適で住環境がよいところだと思えますか。(○は1つ)
1. そう思う
 2. どちらかと言えばそう思う
 3. どちらかと言えばそう思わない
 4. そう思わない

問 46. あなたは商店や学校、病院等が周辺にあり、生活するうえで便利だと思いますか。
(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない

地域交通体系の整備

問 47. あなたは市内のバスは便利だと思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない
5. バスを利用しないのでわからない

問 48. あなたは市内の鉄道は便利だと思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない
5. 鉄道を利用しないのでわからない

問 49. あなたは市内の道路全般について、渋滞もなく円滑に移動できると思いますか。
(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

問 50. あなたは日頃、どのような手段で外出しますか。(○は1つ)

- | | |
|---------|---------------------|
| 1. 徒歩 | 5. コミュニティバス (まほろば号) |
| 2. 自転車 | 6. 路線バス |
| 3. 自家用車 | 7. タクシー |
| 4. 鉄道 | 8. その他 () |

産業の振興

問 51. あなたは日頃、主にどこで買い物していますか。(○は1つ)

- | | |
|---------|---------------|
| 1. 太宰府市 | 5. 大野城市 |
| 2. 福岡市 | 6. 那珂川町 |
| 3. 筑紫野市 | 7. 宇美町 |
| 4. 春日市 | 8. 1から7以外の市町村 |

文化遺産の保存と活用

問 52. あなたは市内の歴史文化遺産を誇りに思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない

観光基盤の整備充実

問 53. あなたは太宰府市内に多くの観光客が訪れることについて、どのように思いますか。
(○は1つ)

1. 地域の活気や発展につながり、好ましいと思う
2. どちらかと言えば好ましいと思う
3. どちらかと言えば好ましくないと思う
4. ごみや渋滞などが発生し、好ましくないと思う
5. その他()

問 54. 太宰府市内を訪れた観光客との交流やおもてなしのために、あなた自身ができると思うことがありますか。(○はいくつでも)

1. 観光客に笑顔で接する
2. まちの美観づくりに努める
3. 市外・県外の友人・知人に太宰府市をPRする
4. 観光ガイドなどのボランティア活動に取り組む
5. できることはない
6. その他()

国際交流・友好都市交流の推進

問 55. あなたは日頃から市内在住の外国人と交流していますか。(○は1つ)

1. ほぼ毎日交流している
2. 週に1回程度交流している
3. 月に数回程度交流している
4. 年に数回程度交流している
5. ほとんど交流していない

- 問 56. あなたは太宰府市では大韓民国の扶餘邑フヨユウと姉妹都市を、奈良県奈良市と宮城県多賀城市とは友好都市をそれぞれ締結していることをご存じでしたか。(○はいくつでも)
1. 扶餘邑との姉妹都市締結は知っていた
 2. 奈良市との友好都市締結は知っていた
 3. 多賀城市との友好都市締結は知っていた
 4. どれも知らなかった

- 問 57. あなたは日頃から市の姉妹都市である大韓民国の扶餘邑フヨユウや友好都市である奈良市、多賀城市の人たちと交流をしていますか。(○は1つ)
1. ほぼ毎日交流している
 2. 週に1回程度交流している
 3. 月に数回程度交流している
 4. 年に数回程度交流している
 5. ほとんど交流していない

- 問 58. あなたは外国人や留学生とどのような交流をしたいと思いますか。(○はいくつでも)
1. 意見交換会
 2. スポーツ交流
 3. 語学講座
 4. ホームステイ
 5. その他 ()

市民参画の推進

- 問 59. あなたは自治会活動に参加していますか。(○は1つ)
1. 積極的に参加している
 2. どちらかといえば参加している
 3. どちらかといえば参加していない
 4. 参加していない
- 問 60. あなたは自治会活動以外のボランティア活動に参加していますか。(○は1つ)
1. 積極的に参加している
 2. どちらかといえば参加している
 3. どちらかといえば参加していない
 4. 参加していない

情報の共有化と活用

問 61. あなたは市民と行政とがお互いに情報を共有できていると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない

問 62. あなたは「広報だざいふ」「太宰府市議会だより」を読んだり、「太宰府市ホームページ」を見ていますか。(○はそれぞれ1つ)

広報だざいふ	議会だより	太宰府市ホームページ
1. いつも読んでいる	1. いつも読んでいる	1. いつも見ている
2. たまに読んでいる	2. たまに読んでいる	2. たまに見ている
3. ほとんど読まない	3. ほとんど読まない	3. ほとんど見ていない
4. 読まない	4. 読まない	4. 見ていない
		5. 見ることができない

問 63. あなたは市が積極的に情報を公開・提供していると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない

問 64. あなたはパソコンを持っていますか。(○は1つ)

1. 持っている
2. 家族が持っている
3. ない

→付問 1. 【持っている・家族が持っていると答えた方】におたずねします。そのパソコンを使ってインターネットを利用していますか。(○は1つ)

1. 利用している
2. 利用していない

問 65. あなたは携帯電話を持っていますか。(○は1つ)

1. 持っている
2. 持っていない

→付問 1. 【持っていると答えた方】におたずねします。その携帯電話を使ってインターネットを利用していますか。(○は1つ)

1. 利用している
2. 利用していない

市民のための行政運営

問 66. あなたは太宰府市が効果的に行政運営を行っていると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない

問 67. あなたは市職員の対応や行動などの仕事に対する取組について、満足していますか。
(○は1つ)

1. 満足している
2. ある程度満足している
3. あまり満足していない
4. 満足していない

問 68. あなたは過去1年間で、市役所の窓口を利用したことがありますか。(○は1つ)

1. はい
2. いいえ

→付問1. 【はいと答えた方】におたずねします。窓口での事務処理は迅速でしたか。
(○は1つ)

1. とても迅速だった
2. どちらかと言えば迅速だった
3. どちらかと言えば遅かった
4. とても遅かった

→付問2. 【はいと答えた方】におたずねします。窓口での職員の対応や姿勢に満足しましたか。(○は1つ)

1. とても満足した
2. どちらかと言えば満足した
3. どちらかと言えば不満だった
4. とても不満だった

広域連携の推進

問 69. 福岡都市圏では道路等交通基盤整備や水資源の確保、図書館や体育館の広域利用による生涯学習の体制づくりなど、都市圏に共通する課題に対し、圏域全体の一体的発展と、魅力と活力にあふれた住みよい都市圏の形成に向けて取組を進めています。

あなたは福岡都市圏の広域的な取組によって住民サービスが向上したと思いますか。(○は1つ)

【福岡都市圏の概要】

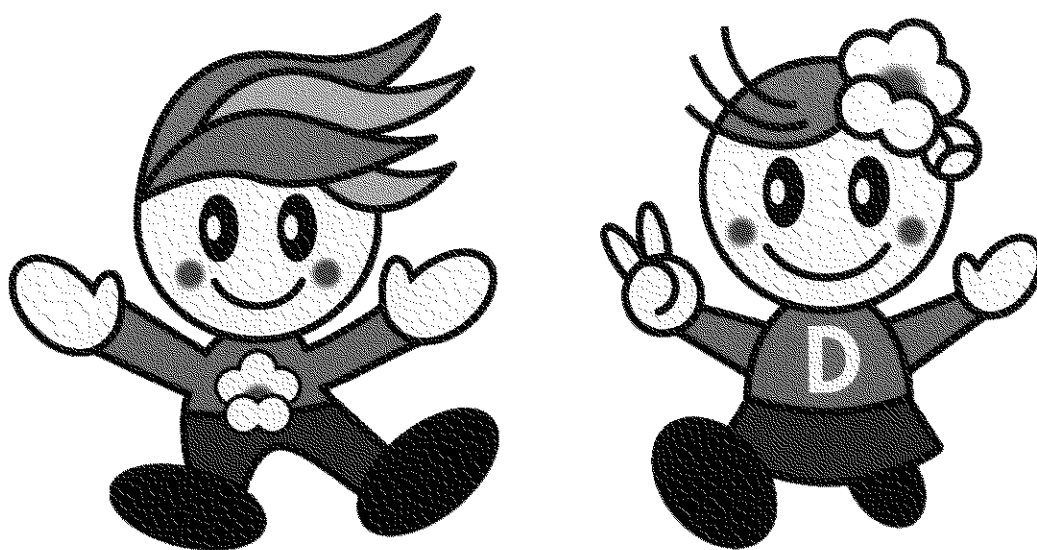
福岡都市圏は福岡市とその周辺 16市町（筑紫野市・春日市・大野城市・太宰府市・那珂川町・古賀市・宇美町・篠栗町・志免町・須恵町・新宮町・久山町・粕屋町・宗像市・福津市・糸島市）を圏域とし、これら 17市町で構成する福岡都市圏広域行政推進協議会を設置しています。

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない
5. わか

(最後にまちづくりについてご意見などがありましたら、お聞かせください)

《自由意見欄》

貴重なご意見をありがとうございました。
今後も、市政へのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。



◎ご記入が済みましたら、同封の返信用封筒（切手は不要です）
に入れて、3月22日（木）までに投函してください。

太宰府まちづくり市民意識調査 報告書

発行年月日 平成 24 年 3 月
編集・発行 太宰府市 総務部 経営企画課
〒818-0198
福岡県太宰府市観世音寺一丁目 1 番 1 号
TEL 092-921-2121
FAX 092-921-1601